

Dell™ Vostro™ 1000 オーナーズマニュアル

モデル PP23LB

メモ、注意、警告



メモ：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。



注意：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。



警告：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

略語について

略語の一覧表は、175 ページの「用語集」を参照してください。

この文書の情報は、事前の通知なく変更されることがあります。

© 2007 すべての著作権は Dell Inc. にあります。

Dell Inc. の書面による許可のない複写は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書に使用されている商標：Dell、DELL のロゴ、Vostro、および Strike Zone は Dell Inc. の商標です。Microsoft、Outlook、Vista、および Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。AMD、Sempron、Turion、およびそのコンピネーションは Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。ENERGY STAR は U.S. Environmental Protection Agency の登録商標です。

本書では、上記記載以外の商標および会社名が使用されている場合がありますが、これらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に帰属するものではありません。

モデル PP23LB

2007 年 10 月

P/N JN388

Rev. A01

目次

| | | |
|---|--------------------------|-----------|
| 1 | 情報の検索方法 | 11 |
| 2 | お使いのコンピュータについて | 17 |
| | お使いのコンピュータの構成確認 | 17 |
| | 正面図 | 18 |
| | 左側面図 | 22 |
| | 右側面図 | 23 |
| | 背面図 | 25 |
| | 底面図 | 27 |
| 3 | コンピュータのセットアップ | 29 |
| | インターネットへの接続 | 29 |
| | インターネット接続のセットアップ | 29 |
| | 新しいコンピュータへの情報の転送 | 31 |
| | Microsoft® Windows® XP | 31 |
| | Microsoft Windows Vista® | 34 |
| | プリンタのセットアップ | 35 |
| | プリンタケーブル | 35 |
| | USB プリンタの接続 | 35 |
| | 電源保護装置 | 37 |
| | サージプロテクタ | 37 |
| | ラインコンディショナ | 37 |
| | 無停電電源装置 (UPS) | 37 |

| | |
|--|----|
| 4 ディスプレイの使い方 | 39 |
| 輝度の調節 | 39 |
| プロジェクタの使い方 | 39 |
| イメージとテキストを拡大する、またははっきり表示する | 39 |
| Microsoft® Windows® XP | 40 |
| Windows Vista® | 40 |
| モニタおよびコンピュータディスプレイ両方の使い方 | 41 |
| Microsoft® Windows® XP | 41 |
| Windows Vista® | 42 |
| モニタをプライマリディスプレイとしての使い方 | 42 |
| Microsoft Windows XP | 42 |
| Windows Vista | 43 |
| Catalyst® Control Center の使い方 | 43 |
| Catalyst Control Center の起動 | 43 |
| 5 キーボードとタッチパッドの使い方 | 45 |
| テンキーパッド | 45 |
| キーの組み合わせ | 46 |
| システム関連 | 46 |
| バッテリー | 46 |
| CD または DVD トレイ | 46 |
| ディスプレイ関連 | 46 |
| 電源管理 | 46 |
| スピーカ関連 | 47 |
| Microsoft® Windows® ログキー関連 | 47 |
| キーボード設定の調整 | 47 |
| タッチパッド | 48 |
| タッチパッドのカスタマイズ | 49 |

| | | |
|---|----------------------------|-----------|
| 6 | バッテリーの使い方 | 51 |
| | バッテリーの性能 | 51 |
| | バッテリーの充電チェック | 52 |
| | Dell™ QuickSet バッテリメーター | 52 |
| | Microsoft® Windows® 電源メーター | 52 |
| | 充電ゲージ | 53 |
| | バッテリーの低下を知らせる警告 | 53 |
| | バッテリー電力の節約 | 54 |
| | 省電力モード | 54 |
| | 電源管理の設定 | 55 |
| | 電源オプションプロパティへのアクセス | 56 |
| | バッテリーの充電 | 56 |
| | バッテリーの交換 | 56 |
| | バッテリーの保管 | 58 |
| 7 | マルチメディアの使い方 | 59 |
| | CD または DVD の再生 | 59 |
| | ボリュームの調整 | 60 |
| | 画像の調整 | 60 |
| | CD および DVD のコピー | 61 |
| | CD または DVD のコピーの仕方 | 61 |
| | 空の CD および DVD の使い方 | 62 |
| | 便利なヒント | 63 |
| | ボリュームの調整 | 64 |
| | 画像の調整 | 65 |

| | | |
|---|---|-----------|
| 8 | カードの使い方 | 67 |
| | ExpressCard | 67 |
| | ExpressCard のダミーカード | 67 |
| | ExpressCard の取り付け | 68 |
| | ExpressCard またはダミーカードの 取り外し | 69 |
| | メディアメモリカード | 70 |
| | メディアメモリカードの取り付け | 70 |
| | メディアメモリカードの取り外し | 71 |
| 9 | ネットワークのセットアップと使い方 | 73 |
| | ネットワークまたはブロードバンドモデムへの物理的な 接続 | 73 |
| | ネットワークまたはブロードバンドモデムケーブルの 接続 | 73 |
| | Microsoft® Windows® XP オペレーティング システムでのネットワークの設定 | 74 |
| | Microsoft Windows Vista® オペレーティング システムでのネットワークの設定 | 74 |
| | ワイヤレス LAN | 75 |
| | ワイヤレス LAN 接続の確立に必要なもの | 75 |
| | お使いのワイヤレスネットワークカードの 確認 | 75 |
| | ワイヤレスルーターとブロードバンドモデムを 使用した新しいワイヤレス LAN の セットアップ | 76 |
| | ワイヤレス LAN への接続 | 77 |
| | ワイヤレスネットワークカードの有効化および 無効化 | 79 |
| | モバイルブロードバンド/ワイヤレスワイド エリアネットワーク (WWAN) | 80 |
| | モバイルブロードバンドネットワーク接続の 設定に必要なもの | 80 |
| | Dell モバイルブロードバンドカードの確認 | 81 |
| | Microsoft® Windows® ファイアウォール | 81 |

| | |
|-----------------------------|-----|
| 10 コンピュータのセキュリティ保護 | 83 |
| セキュリティケーブルロック | 83 |
| パスワード | 84 |
| コンピュータ追跡ソフトウェア | 84 |
| コンピュータを紛失するか盗難に遭った場合 | 85 |
| 11 部品の増設および交換 | 87 |
| 作業を開始する前に | 87 |
| 奨励するツール | 87 |
| コンピュータの電源を切る | 87 |
| コンピュータ内部の作業を始める前に | 88 |
| 光学ドライブ | 90 |
| ハードディスクドライブ | 90 |
| ハードディスクドライブをデルに返品する 場合 | 92 |
| メモリ | 93 |
| モデム | 96 |
| ヒンジカバー | 98 |
| キーボード | 99 |
| ワイヤレスミニカード | 100 |
| コイン型電池 | 104 |
| ディスプレイ | 105 |
| 12 トラブルシューティング | 107 |
| Dell テクニカル Update Service | 107 |
| Dell Diagnostics (診断) プログラム | 107 |

| | |
|--|------------|
| Dell Support Center | 111 |
| デルサポート | 112 |
| Dell PC TuneUp (Dell PC のチューンアップ) | 113 |
| Dell PC Checkup (PC のチェックアップ) | 113 |
| Dell Network Assistant | 114 |
| DellConnect | 114 |
| ドライブの問題 | 115 |
| 光学ドライブの問題 | 115 |
| ハードディスクドライブの問題 | 116 |
| E-メール、モデム、およびインターネットの問題 | 117 |
| エラーメッセージ | 119 |
| ExpressCard の問題 | 124 |
| IEEE 1394 デバイスの問題 | 125 |
| キーボードの問題 | 125 |
| 外付けキーボードの問題 | 125 |
| 入力時の問題 | 126 |
| フリーズおよびソフトウェアの問題 | 127 |
| コンピュータが起動しない | 127 |
| コンピュータの応答が停止した | 127 |
| プログラムの応答が停止するか、プログラムがクラッシュを繰り返す | 127 |
| プログラムが以前の Microsoft® Windows® オペレーティングシステム向けに設計されている | 127 |
| 画面が青色 (ブルースクリーン) になった | 128 |
| Dell MediaDirect の問題 | 128 |
| その他のソフトウェアの問題 | 129 |
| メモリの問題 | 130 |
| ネットワークの問題 | 130 |
| モバイルブロードバンド (ワイヤレスワイドエリアネットワーク [WWAN]) | 131 |
| 電源の問題 | 131 |
| プリンタの問題 | 133 |
| スキャナの問題 | 134 |

| | |
|--|------------|
| サウンドおよびスピーカの問題 | 134 |
| 内蔵スピーカから音が出ない場合 | 134 |
| 外付けスピーカから音が出ない場合 | 135 |
| ヘッドフォンから音が出ない場合 | 135 |
| リモコンの問題 | 136 |
| タッチ패드またはマウスの問題 | 136 |
| ビデオおよびディスプレイの問題 | 137 |
| 画面に何も表示されない場合 | 137 |
| 画面が見にくい場合 | 137 |
| 画面の一部しか表示されない場合 | 138 |
| ドライバ | 139 |
| ドライバとは? | 139 |
| ドライバの識別 | 139 |
| Drivers and Utilities の再インストール | 140 |
| ソフトウェアとハードウェアの問題に関するトラブルシューティング | 143 |
| Microsoft® Windows Vista® オペレーティングシステムの復元 | 144 |
| Microsoft Windows Vista システムの復元の使い方 | 144 |
| コンピュータの工場出荷時の構成への復元 | 147 |
| オペレーティングシステムメディアの使い方 | 148 |
| Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムの復元 | 149 |
| Microsoft Windows システムの復元の使い方 | 149 |
| Dell™ PC リストアの使い方 | 151 |
| オペレーティングシステムメディアの使い方 | 153 |
| 13 Dell™ QuickSet 機能 | 155 |

| | |
|----------------------------|------------|
| 14 ノートブックコンピュータを携帯 するとき | 157 |
| コンピュータの識別 | 157 |
| コンピュータの梱包 | 157 |
| 携帯中のヒントとアドバイス | 158 |
| 飛行機内での利用 | 158 |
| 15 デルへのお問い合わせ | 159 |
| 16 仕様 | 161 |
| 17 付録 | 167 |
| セットアップユーティリティの使い方 | 167 |
| セットアップユーティリティ画面の表示 | 168 |
| 通常使用するオプション | 169 |
| コンピュータのクリーニング | 170 |
| コンピュータ、キーボード、および ディスプレイ | 170 |
| タッチパッド | 171 |
| マウス | 171 |
| フロッピードライブ | 172 |
| CD および DVD | 172 |
| FCC の通達 (アメリカ合衆国のみ) | 173 |
| FCC クラス B | 173 |
| Macrovision 製品通知 | 174 |
| 用語集 | 175 |
| 索引 | 195 |

情報の検索方法

-  **メモ**：一部の機能やメディアはオプションなので、出荷時にコンピュータに搭載されていない場合があります。特定の国では使用できない機能やメディアもあります。
-  **メモ**：その他の情報がコンピュータに同梱されている場合があります。

何をお探ですか？

- コンピュータの診断プログラム
- コンピュータのドライバ
- コンピュータのマニュアル
- デバイスのマニュアル
- ノートブックシステムソフトウェア (NSS)

こちらをご覧ください

Drivers and Utilities メディア

マニュアルおよびドライバは、本コンピュータにすでにインストールされています。メディアを使用して、ドライバを再インストールできます（140 ページの「Drivers and Utilities の再インストール」を参照）。Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行するには、107 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照してください。

メディア内に **Readme** ファイルが含まれる場合があります。この **Readme** ファイルでは、コンピュータの技術的な変更に関する最新アップデート情報や、技術者または専門知識をお持ちのユーザを対象とした高度な技術資料を参照できます。



メモ：ドライバおよびマニュアルのアップデート版は、support.jp.dell.com で入手できます。

何をお探しですか？

- 安全にお使いいただくための注意
- 認可機関の情報
- 作業姿勢に関する情報
- エンドユーザライセンス契約

こちらをご覧ください

Dell™ 製品情報ガイド



-
- コンピュータのセットアップ方法

セットアップ図

メモ：お使いのコンピュータに付属しているセットアップ図を参照してください。

何をお探しですか？

- サービスタグおよびエクスプレスサービスコード
- Microsoft Windows ライセンスラベル

こちらをご覧ください

サービスタグおよび Microsoft® Windows® ライセンス

メモ：お使いのコンピュータのサービスタグおよび Microsoft® Windows® ライセンスラベルはお使いのコンピュータに貼られています。

お使いのコンピュータのサービスタグはサービスタグナンバーおよびエクスプレスサービスコードがあります。

- サービスタグは、**support.jp.dell.com** をご使用の際に、またはサポートへのお問い合わせの際に、コンピュータの識別に使用します。
- エクスプレスサービスコードを利用すると、サポートに直接電話で問い合わせることができます。



- お使いのオペレーティングシステムを再インストールする場合、ライセンスラベル上の **Product Key** (プロダクトキー) 使用します。

メモ：セキュリティ対策の強化として、新たにデザインされた Microsoft Windows ライセンスラベルには、ラベルの一部が欠けている「穴」が組み込まれ、ラベルが剥がれにくくなっています。

-
- 技術情報 — トラブル解決ナビ、Q&A
 - サービスと保証 — 問い合わせ先、保証、および修理に関する情報
 - サービスおよびサポート — サービス契約
 - 参照資料 — コンピュータのマニュアル、コンピュータの設定の詳細、製品の仕様、およびホワイトペーパー
 - ダウンロード — 認定されたドライバ、パッチ、およびソフトウェアのアップデート

デルサポートサイト — support.jp.dell.com

メモ：適切なサポートサイトを表示するには、お住まいの地域または業務部門を選択します。

何をお探ですか？

- コンピュータおよびコンポーネントに関する情報の検索方法
- インターネットへの接続の仕方
- 他のユーザー用のユーザーアカウントの追加方法
- 別のコンピュータからのファイルおよび設定の転送方法
- ノートブックシステムソフトウェア (NSS) — お使いのコンピュータのオペレーティングシステムを再インストールする場合、NSS ユーティリティも再インストールする必要があります。NSS は、お使いのオペレーティングシステムのための重要な更新を提供し、プロセッサ、光学ドライブ、USB デバイスなどをサポートします。NSS はお使いのデルコンピュータが正しく動作するために必要なものです。ソフトウェアはお使いのコンピュータおよびオペレーティングシステムを自動的に検知して、設定に適した更新をインストールします。

- Windows オペレーティングシステムの使い方
- プログラムとファイルの操作方法
- デスクトップのカスタマイズ方法

こちらをご覧ください

Windows ウェルカムセンター (Microsoft Windows Vista®)

はじめてコンピュータを使用する際には、Windows ウェルカムセンターが自動的に表示されます。コンピュータの起動時にいつも表示されるようにするには、**Run at startup** (スタートアップで実行) のチェックボックスにチェックマークを入れます。ウェルカムセンターにアクセスする別の方法は、Windows Vista スタートボタン  をクリックし、次に **Welcome Center** (ウェルカムセンター) をクリックします。

ノートブックシステムソフトウェアは、support.jp.dell.com にてダウンロードできません。

メモ : support.jp.dell.com のユーザーインタフェースは、選択の仕方によって異なります。

Windows ヘルプとサポートセンター Microsoft Windows XP

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 リスト表示されているトピックのひとつを選択するか、または問題に関連する単語か語句を **検索** ボックスにタイプ入力して、矢印アイコンをクリックし、次に問題に関連するトピックをクリックします。
- 3 画面に表示される指示に従ってください。

Microsoft Windows Vista

- 1 Windows Vista スタートボタン  をクリックし、**Help and Support** (ヘルプとサポート) をクリックします。
- 2 **Search Help** (ヘルプの検索) で、問題に関連する単語または語句を入力して、<Enter> を押すか、虫メガネのアイコンをクリックします。
- 3 問題に関連するトピックをクリックします。
- 4 画面に表示される指示に従ってください。

何をお探しですか？

- オペレーティングシステムの再インストール方法

こちらをご覧ください

オペレーティングシステムメディア

オペレーティングシステムは、本コンピュータにすでにインストールされています。お使いのオペレーティングシステムを再インストールするには、次のいずれかの方法を使用します。

- **Microsoft Windows システムの復元** — **Microsoft Windows のシステムの復元** は、データファイルに影響を与えることなく、コンピュータを以前の動作状態に戻します。
- **Dell PC リストア** — **Dell PC リストア** は、コンピュータをオリジナルの動作状態に戻します。**Dell PC リストア**は、必ずしもお使いのコンピュータに付属しているとは限りません。
- 『オペレーティングシステム』メディア — コンピュータに『オペレーティングシステム』メディアが付属していた場合は、このメディアを使ってオペレーティングシステムを復元できます。

詳細に関しては、144 ページの「Microsoft® Windows Vista® オペレーティングシステムの復元」または 149 ページの「Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムの復元」を参照してください。

オペレーティングシステムを再インストールしたら、『Drivers and Utilities』メディア（139 ページの「ドライバ」を参照）を使用して、コンピュータに同梱のデバイスのドライバを再インストールします。



お使いのコンピュータについて

お使いのコンピュータの構成確認

お使いのコンピュータは、コンピュータ購入時の選択に基づいて、複数のビデオコントローラ構成のうちいずれか 1 つの構成で提供されています。お使いのコンピュータのビデオコントローラ構成を確認するには、次の手順を実行します。

- 1 **Microsoft® Windows® ヘルプとサポートセンター**にアクセスします。手順については、14 ページの「**Windows ヘルプとサポートセンター**」を参照してください。
- 2 **作業を選びます** で **ツールを使ってコンピュータ情報を表示し問題を診断する** をクリックします。
- 3 **マイコンピュータの情報** で **ハードウェア** を選択します。

マイコンピュータの情報 - ハードウェア 画面に、お使いのコンピュータに取り付けられたビデオコントローラのタイプとその他のハードウェアコンポーネントが表示されます。

正面図



- | | | |
|------------------------------|-----------------|----------|
| 1 ディスプレイリリース ラッチ | 2 ディスプレイラッチ (2) | 3 ディスプレイ |
| 4 電源ボタン | 5 デバイスステータスライト | 6 タッチパッド |
| 7 スピーカ (2) | 8 タッチパッドボタン | 9 キーボード |
| 10 キーボードおよびワイヤ レスステータスライト | | |

ディスプレイリリー斯拉ッチ — このボタンを押してディスプレイラッチを解除し、ディスプレイを開きます。

ディスプレイラッチ — ディスプレイを閉じておくために使用します。

ディスプレイ — ディスプレイの詳細に関しては、39 ページの「ディスプレイの使い方」を参照してください。

電源ボタン — コンピュータに電源を入れるか、もしくは省電力モードを終了するときに電源ボタンを押します。54 ページの「省電力モード」を参照してください。

デバイスステータスライト



 コンピュータの電源を入ると点灯し、コンピュータが省電力モードになっていると点滅します。

 コンピュータがデータを読み取ったり、書き込んだりしている場合に点灯します。

 **注意:** データの損失を防ぐため、 のライトが点滅している間は、絶対にコンピュータの電源を切らないでください。

 バッテリーが充電状態の場合、常時点灯、または点滅します。

コンピュータがコンセントに接続されている場合、 のライトは次のように動作します。

- 緑色の点灯 — バッテリーの充電中。
- 緑色の点滅 — バッテリーの充電完了。

コンピュータをバッテリーで作動している場合、 のライトは次のように動作します。

- 消灯 — バッテリーが十分に充電されている（または、コンピュータの電源が切れている）。
- 橙色の点滅 — バッテリーの充電残量が低下している。
- 橙色の点灯 — バッテリーの充電残量が非常に低下している。

タッチパッド — マウスの機能を提供します。タッチパッド上のシルクスクリーン印刷は、スクロール機能を示します。



スピーカー — 内蔵スピーカーの音量を調節するには、メディアコントロールボタンまたはスピーカー音量のキーボードショートカットを押します。詳細に関しては、47 ページの「スピーカー関連」を参照してください。

タッチパッドボタン — タッチパッドボタンは、マウスの機能と同じように使うことができます。

キーボード — キーボードには、テンキーパッドや Windows ログキーなどが含まれています。お使いのコンピュータがサポートするキーボードショートカットに関する情報は、46 ページの「キーの組み合わせ」を参照してください。

キーボードおよびワイヤレスステータスライト



キーボードの上にある緑色のライトの示す意味は、以下のとおりです。

| | |
|---|--|
|  | テンキーパッドが有効になると点灯します。 |
|  | 英字が常に大文字で入力される機能が有効になると点灯します。 |
|  | Scroll Lock 機能が有効になると点灯します。 |
|  | ワイヤレスネットワークが有効になると点灯します。ワイヤレスネットワークを有効にしたり無効にしたりするには、<Fn><F2> を押します。 |



光学ドライブベイ — DVD ドライブなどのデバイスやその他の光学ドライブは、光学ドライブベイに取り付けることができます。詳細は、90 ページの「光学ドライブ」を参照してください。

光学ドライブトレイ取り出しボタン — このボタンを押して、CD または DVD を光学ドライブから取り出します。

右側面図



- | | | | | | |
|---|---------------|---|---------------------|---|---------------------------|
| 1 | ハードディスクドライブ | 2 | ExpressCard スロット | 3 | 3-in-1 メディア メモ리카ードリーダー |
| 4 | オーディオコネクタ (2) | 5 | USB コネクタ (2) | | |

ハードディスクドライブ — ソフトウェアおよびデータを保存します。詳細に関しては、90 ページの「ハードディスクドライブ」および 116 ページの「ハードディスクドライブの問題」を参照してください。

EXPRESSCARD スロット — ExpressCard 1 枚をサポートします。コンピュータには、PC カードスロットにプラスチック製のダミーカードが取り付けられています。ExpressCard を取り付けると、お使いのコンピュータで WWAN 接続を有効にすることができます。詳細は、67 ページの「カードの使い方」を参照してください。

3-IN-1 メディアメモリカードリーダー — メディアメモリカードに保存されたデジタル写真、音楽、およびビデオを素早く手軽に表示、共有することができます。3-in-1 メディアメモリカードリーダーは、SD カード、SDIO および MultiMediaCard (MMC) デジタルメディアメモリカードを読み取ります。

オーディオコネクタ



 のコネクタにはヘッドフォンまたはスピーカを接続します。

 のコネクタにはマイクを接続します。

USB コネクタ



マウス、キーボード、またはプリンタなどの **USB** デバイスをコンピュータに接続します。オプションのフロッピードライブを、オプションのフロッピードライブケーブルを使って直接 USB コネクタに接続することもできます。

背面図



- | | | |
|----------------|----------------------|-------------------|
| 1 AC アダプタコネクタ | 2 ネットワークコネクタ (RJ-45) | 3 モデムコネクタ (RJ-11) |
| 4 USB コネクタ (2) | 5 ビデオコネクタ | |

AC アダプタコネクタ — AC アダプタをコンピュータに接続します。AC アダプタは AC 電力をコンピュータに必要な DC 電力へと変換します。AC アダプタは、コンピュータの電源のオンまたはオフにかかわらず接続できます。



⚠ 警告 : AC アダプタは世界各国のコンセントに適合しています。ただし、電源コネクタおよび電源タップは国によって異なります。互換性のないケーブルを使用したり、ケーブルを不適切に電源タップまたはコンセントに接続したりすると、火災の原因になったり、装置に損傷を与えたりする恐れがあります。

➡ 注意 : ケーブルの損傷を防ぐため、AC アダプタケーブルをコンピュータから外す場合は、コネクタを持ち (ケーブル自体を引っ張らないでください)、しっかりと、かつ慎重に引き抜いてください。

ネットワークコネクタ (RJ-45)



コンピュータをネットワークに接続します。コネクタの隣にある緑色と黄色のライトは、有線ネットワーク通信のアクティビティを示します。

ネットワークアダプタの使い方に関する詳細に関しては、システムに付属しているオンラインネットワークアダプタのマニュアルを参照してください。

モデムコネクタ (RJ-11)



内蔵モデムを使用するには、電話線をモデムコネクタに接続します。

モデムの使い方の詳細に関しては、コンピュータに付属のオンラインモデムのマニュアルを参照してください。



注意：ネットワークコネクタは、モデムコネクタよりも若干大きいです。コンピュータの損傷を防ぐため、電話線をネットワークコネクタに接続しないでください。

USB コネクタ



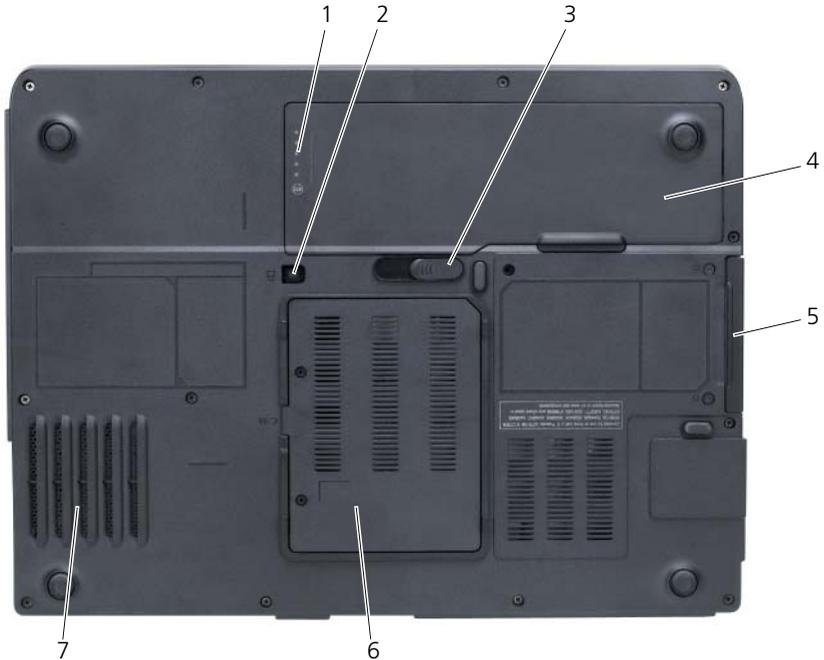
マウス、キーボード、またはプリンタなどの USB デバイスをコンピュータに接続します。オプションのフロッピードライブを、オプションのフロッピードライブケーブルを使って直接 USB コネクタに接続することもできます。

ビデオコネクタ



外付け VGA 対応モニタを接続します。

底面図



- | | | | | | |
|---|------------|---|-------------|---|------------------------|
| 1 | バッテリー充電ゲージ | 2 | デバイス固定ネジ | 3 | バッテリーベイ リリースラッチ |
| 4 | バッテリー | 5 | ハードディスクドライブ | 6 | モデムカバー/メモ リモジュールカバー |
| 7 | ファン | | | | |

バッテリー充電ゲージ—バッテリー充電ステータスの情報を示します。52 ページの「バッテリーの充電チェック」を参照してください。

デバイス固定ネジ—光学ドライブを光学ドライブベイに固定します。詳細は、90 ページの「光学ドライブ」を参照してください。

バッテリーベイリリースラッチ—バッテリーをバッテリーベイから取り外すために使用します。56 ページの「バッテリーの交換」を参照してください。

バッテリー—バッテリーを取り付けると、コンピュータをコンセントに接続しなくてもコンピュータを使用することができます。詳細に関しては、51 ページの「バッテリーの使い方」を参照してください。

ハードディスクドライブ — ソフトウェアおよびデータを保存します。詳細に関しては、90 ページの「ハードディスクドライブ」および 116 ページの「ハードディスクドライブの問題」を参照してください。

モデムカバー / メモリモジュールカバー — モデムとメモリモジュールの実装部のカバーです。詳細に関しては、96 ページの「モデム」および 93 ページの「メモリ」を参照してください。

ファン — コンピュータはファンを使って、通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、コンピュータがオーバーヒートすることを防ぎます。

コンピュータのセットアップ

インターネットへの接続

 **メモ:** ISP および ISP が提供するオプションは国によって異なります。

インターネットに接続するには、モデムまたはネットワーク接続、および ISP (インターネットサービスプロバイダ) が必要です。ISP は、1 つまたは複数の以下のインターネット接続オプションを提供します。

- 電話回線を経由してインターネットにアクセスできるダイヤルアップ接続。ダイヤルアップ接続は、DSL やケーブルモデム接続に比べて速度がかなり遅くなります。
- 既存の電話回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供する DSL 接続。DSL 接続では、インターネットにアクセスしながら同時に同じ回線で電話を使用することができます。
- お使いのケーブルテレビ回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供するケーブルモデム接続。

ダイヤルアップ接続をお使いの場合は、インターネット接続をセットアップする前に、コンピュータのモデムコネクタおよび壁の電話コンセントに電話線を接続します。DSL またはケーブルモデム接続をお使いの場合、セットアップ手順についてはご利用の ISP にお問い合わせください。

インターネット接続のセットアップ

デスクトップ上にある既存の ISP のショートカットを使用してインターネット接続をセットアップするには、次の手順を実行します。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 Microsoft® Windows® デスクトップで ISP のアイコンをダブルクリックします。
- 3 画面の手順に従ってセットアップを完了します。

デスクトップに ISP アイコンが存在しない場合、または別の ISP でインターネット接続をセットアップする場合、次の項にある、ご利用のオペレーティングシステムに対応する手順を実行してください。

 **メモ:** 過去にインターネットに正常に接続できていたのに接続できない場合、ISP のサービスが停止している可能性があります。サービスの状態について ISP に確認するか、後でもう一度接続してみてください。

Windows XP

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
 - 2 **スタート** → **インターネットエクスプローラ** をクリックします。
新しい接続ウィザード が表示されます。
 - 3 **インターネットに接続する** をクリックします。
 - 4 次のウィンドウで、該当する以下のオプションをクリックします。
 - ISP と契約しておらず、その 1 つを選びたい場合は、**インターネットサービスプロバイダ (ISP) の一覧から選択する** をクリックします。
 - ISP からセットアップ情報を入力済みではあるけれどもセットアップ CD をお持ちでない場合は、**接続を手動でセットアップする** をクリックします。
 - CD をお持ちの場合は、**ISP から提供された CD を使用する** をクリックします。
 - 5 **次へ** をクリックします。
接続を手動でセットアップする を選んだ場合、手順 6 に進みます。それ以外の場合は、画面の手順に従ってセットアップを完了してください。
-  **メモ**：どの種類の接続を選んだらよいかわからない場合は、ご契約の ISP にお問い合わせください。
- 6 **インターネットにどのように接続しますか？** で設定するオプションをクリックし、**次へ** をクリックします。
 - 7 ISP から提供されたセットアップ情報を使って、セットアップを完了します。

Windows Vista®

-  **メモ**：ご利用の ISP 情報が必要です。ISP 情報がわからない場合には、**Connect to the Internet** (インターネットの接続) ウィザードから情報を入手できます。
- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
 - 2 Windows Vista スタートボタン  をクリックし、**Control Panel** (コントロールパネル) をクリックします。
 - 3 **Network and Internet** (ネットワークとインターネット) で、**Connect to the Internet** (インターネットの接続) をクリックします。
Connect to the Internet (インターネットの接続) ウィンドウが表示されます。

- 4 接続方法により、**Broadband (PPPoE)** (ブロードバンド (PPPoE)) または **Dial-up** (ダイヤルアップ) のいずれかをクリックします。
- DSL、衛星モデム、ケーブルテレビモデム、または Bluetooth ワイヤレステクノロジー接続を利用する場合は、**Broadband** (ブロードバンド) を選択します。
 - ダイヤルアップモデムまたは ISDN を使用する場合は、**Dial-up** (ダイヤルアップ) を選択します。



メモ：選択する接続方法がわからない場合には、**Help me choose** (選択の援助) をクリックするか、ご利用の ISP にお問い合わせください。

画面の指示に従い、ご利用の ISP より提供されるセットアップ情報を使用してセットアップを完了します。

新しいコンピュータへの情報の転送

オペレーティングシステム「ウィザード」を使って、たとえば、古いコンピュータから新しいコンピュータへ転送する場合のように、元のコンピュータから別のコンピュータへファイルやその他のデータを転送することができます。その手順については、お使いのコンピュータに搭載されているオペレーティングシステムに該当する以下の項を参照してください。

Microsoft® Windows® XP

Microsoft Windows XP オペレーティングシステムには、データを元のコンピュータから新しいコンピュータに転送するためのファイルと設定の転送ウィザードがあります。下記のデータが転送できます。

- E-メールメッセージ
- ツールバーの設定
- ウィンドウのサイズ
- インターネットのブックマーク

新しいコンピュータにネットワークまたはシリアル接続を介してデータを転送したり、新しいコンピュータに転送するために書き込み可能 CD などのリムーバブルメディアにデータを保存したりすることができます。



メモ：情報を古いコンピュータから新しいコンピュータに転送するには、シリアルケーブルを 2 台のコンピュータの入力 / 出力 (I/O) ポートに直接接続します。データをシリアル接続を介して転送するには、コントロールパネルからネットワーク接続ユーティリティにアクセスして、詳細設定接続の設定、およびホストコンピュータやゲストコンピュータの指定など、追加の設定手順を実行する必要があります。

2 台のコンピュータで直接ケーブルを設置する手順に関しては、マイクロソフトのウェブサイトにて「直接ケーブル接続を構成する方法」という文書を参照してください。この情報は、特定の国では使用できない場合もあります。

新しいコンピュータに情報を転送するには、ファイルと設定の転送ウィザードを実行する必要があります。このプロセスを実行するには、オプションの『オペレーティングシステム』メディアを使用するか、またはファイルと設定の転送ウィザードでウィザードディスクを作成します。

オペレーティングシステムメディアを使用してファイルと設定の転送ウィザードを実行する場合



メモ：この手順では、『オペレーティングシステム』メディアが必要です。このメディアはオプションのため、一部のコンピュータには付属していない場合があります。

新しいコンピュータに情報を転送するには、次の手順を実行します。

- 1 ファイルと設定の転送ウィザードを開くには、以下の手順を実行します。**スタート** → **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** → **ファイルと設定の転送ウィザード** とクリックします。
- 2 **ファイルと設定の転送ウィザード** の開始画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。
- 3 **これはどちらのコンピュータですか？** 画面で、**転送先の新しいコンピュータ** → **次へ** をクリックします。
- 4 **Windows XP CD がありますか？** 画面で、**Windows XP CD からウィザードを使います** → **次へ** をクリックします。
- 5 **今、古いコンピュータに行ってください** 画面が表示されたら、古いコンピュータまたはソースコンピュータに行きます。このときに、**次へ** をクリックしないでください。

古いコンピュータからデータをコピーするには次の手順を実行します。

- 1 古いコンピュータで、Windows XP の『オペレーティングシステム』メディアを挿入します。
- 2 **Microsoft Windows XP へようこそ** 画面で、**追加のタスクを実行する** をクリックします。
- 3 **実行する操作の選択** で、**ファイルと設定の転送ウィザード** → **次へ** とクリックします。
- 4 **これはどちらのコンピュータですか？** 画面で **転送元の古いコンピュータ** → **次へ** をクリックします。
- 5 **転送方法を選択してください** 画面で希望の転送方法をクリックします。
- 6 **何を転送しますか？** 画面で転送する項目を選択し、**次へ** をクリックします。情報がコピーされた後、**ファイルと設定の収集フェーズを処理しています ...** 画面が表示されます。
- 7 **完了** をクリックします。

新しいコンピュータにデータを転送するには次の手順を実行します。

- 1 新しいコンピュータの **今、古いコンピュータに行ってください** 画面で、**次へ** をクリックします。
- 2 **ファイルと設定はどこにありますか？** 画面で設定とファイルの転送方法を選択し、**次へ** をクリックします。
ウィザードは収集されたファイルと設定を読み取り、それらを新しいコンピュータに適用します。
設定とファイルがすべて適用されると、**完了** 画面が表示されます。
- 3 **完了** をクリックして、新しいコンピュータを再起動します。

オペレーティングシステムメディアを使用せずにファイルと設定の転送ウィザードを実行する場合

『オペレーティングシステム』メディアを使用せずに、ファイルと設定の転送ウィザードを実行するには、バックアップイメージファイルをリムーバブルメディアに生成できるウィザードディスクを作成する必要があります。

ウィザードディスクを作成するには、Windows XP を搭載した新しいコンピュータを使用して、以下の手順を実行します。

- 1 ファイルと設定の転送ウィザードを開くには、次の手順を実行します。**スタート** → **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** → **ファイルと設定の転送ウィザード** とクリックします。
- 2 **ファイルと設定の転送ウィザード** の開始画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。
- 3 **これはどちらのコンピュータですか？** 画面で、**転送先の新しいコンピュータ** → **次へ** をクリックします。
- 4 **Windows XP CD がありますか？** 画面で、**ウィザードディスクを次のドライブに作成** → **次へ** をクリックします。
- 5 書き込み可能 CD などのリムーバブルメディアを挿入して、**OK** をクリックします。
- 6 ディスク作成が完了したら、**今、古いコンピュータに行ってください** というメッセージが表示されますが、**次へ** はクリックしないでください。
- 7 古いコンピュータに移動します。

古いコンピュータからデータをコピーするには次の手順を実行します。

- 1 古いコンピュータで、ウィザードディスクを挿入します。
- 2 **スタート** → **ファイル名を指定して実行** とクリックします。
- 3 **ファイル名を指定して実行** ウィンドウの **名前** フィールドで、**fastwiz** (該当するリムーバブルメディア) へのパスを参照して入力し **OK** をクリックします。

- 4 **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
- 5 **これはどちらのコンピュータですか？** 画面で **転送元の古いコンピュータ** → **次へ** をクリックします。
- 6 **転送方法を選択してください** 画面で希望の転送方法をクリックします。
- 7 **何を転送しますか？** 画面で転送する項目を選択し、**次へ** をクリックします。
情報がコピーされた後、**ファイルと設定の収集フェーズを処理していません ...** 画面が表示されます。
- 8 **完了** をクリックします。

新しいコンピュータにデータを転送するには次の手順を実行します。

- 1 新しいコンピュータの **今、古いコンピュータに行ってください** 画面で、**次へ** をクリックします。
- 2 **ファイルと設定はどこにありますか？** 画面で設定とファイルの転送方法を選択し、**次へ** をクリックします。画面に表示される指示に従ってください。ウィザードは収集されたファイルと設定を読み取り、それらを新しいコンピュータに適用します。
設定とファイルがすべて適用されると、**完了** 画面が表示されます。
- 3 **完了** をクリックして、新しいコンピュータを再起動します。

Microsoft Windows Vista[®]

- 1 Windows Vista スタートボタン  をクリックし、次に **Transfer files and settings** (ファイルと設定の転送) → **Start Windows Easy Transfer** (Windows 転送ツールの開始) とクリックします。
- 2 **User Account Control** (ユーザーアカウントの管理) ダイアログボックスで、**Continue** (続行) をクリックします。
- 3 **Start a new transfer** (新しい転送を開始する) あるいは **Continue a transfer in progress** (実行中の転送を続行する) をクリックします。



メモ : Windows Easy Transfer wizard (ファイルと設定の転送) ウィザードにより画面に示される手順に従います。

プリンタのセットアップ

 **注意:** オペレーティングシステムのセットアップを完了してから、プリンタをコンピュータに接続してください。

以下の手順を含むセットアップ情報については、プリンタに付属のマニュアルを参照してください。

- アップデートされたドライバの入手とインストール
- プリンタのコンピュータへの接続
- 給紙およびトナー、またはインクカートリッジの取り付け

テクニカルサポートが必要な場合、プリンタのオーナーズマニュアルを参照するか、プリンタの製造元にお問い合わせください。

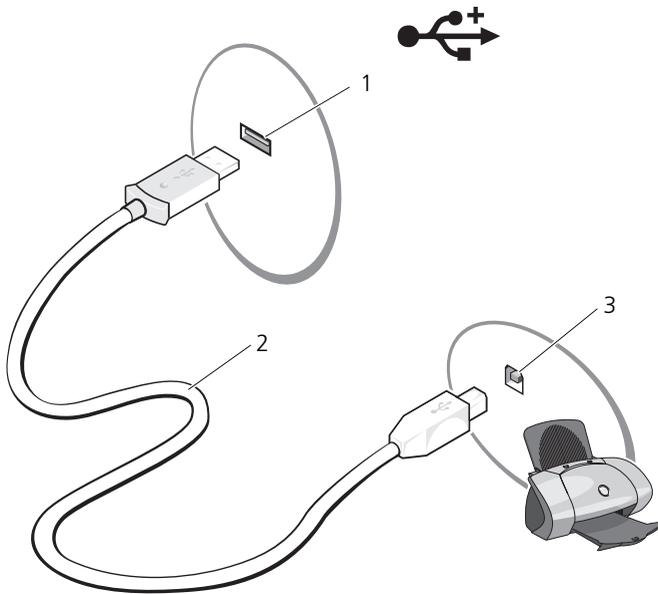
プリンタケーブル

お使いのプリンタは、USB ケーブルまたはパラレルケーブルを使用してコンピュータに接続します。プリンタにはプリンタケーブルが付属されていない場合があります。ケーブルを別に購入する際は、プリンタおよびコンピュータと互換性があることを確認してください。お使いのコンピュータと同時にプリンタケーブルをご購入された場合、ケーブルはコンピュータが梱包されている箱に同梱されていることがあります。

USB プリンタの接続

 **メモ:** USB デバイスは、コンピュータに電源が入っている状態でも、接続することができます。

- 1 オペレーティングシステムをまだセットアップしていない場合は、セットアップを完了します。
- 2 コンピュータとプリンタの USB コネクタに USB プリンタケーブルを差し込みます。USB コネクタは決まった方向にだけ差し込めるようになっています。



- 1 コンピュータの USB 2 USB プリンタケーブル 3 プリンタのコネクタ
コネクタ

- 3 プリンタの電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。
- 4 お使いのコンピュータのオペレーティングシステムによっては、プリンタドライバをインストールするプリンタウィザードを使用できます。
- 5 コンピュータが Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムを実行中で **ハードウェアの追加ウィザード** ウィンドウが表示される場合、**キャンセル** をクリックします。
お使いのコンピュータで Windows Vista® オペレーティングシステムを実行している場合、Windows Vista スタートボタン  をクリックし、**Network** (ネットワーク) → **Add a printer** (プリンタの追加) をクリックして **Add Printer Wizard** (プリンタの追加ウィザード) を起動します。
- 6 必要に応じて、プリンタドライバをインストールします。プリンタに付属のマニュアルを参照してください。

電源保護装置

電圧変動や電力障害の影響からシステムを保護するために、電源保護装置が利用できます。

- サージプロテクタ
- ラインコンディショナ
- 無停電電源装置（UPS）

サージプロテクタ

サージプロテクタやサージプロテクション機能付き電源タップは、雷雨中または停電の後に発生する恐れのある電圧スパイクによるコンピュータへの損傷を防ぐために役立ちます。サージプロテクタの製造業者によっては、特定の種類の損傷に対して保証範囲を設けています。サージプロテクタを選ぶ際は、装置の保証書をよくお読みください。ジュール定格が高いほど、デバイスをより保護できます。ほかの装置と比較して有効性を判断するには、ジュール定格を比較します。

 **注意：**ほとんどのサージプロテクタには、電力の変動または落雷による電撃に対する保護機能はありません。お住まいの地域で雷が発生した場合は、電話線を電話ジャックから抜いて、さらにコンピュータをコンセントから抜いてください。

サージプロテクタの多くは、モデムを保護するための電話ジャックを備えています。モデム接続の手順については、サージプロテクタのマニュアルを参照してください。

 **注意：**すべてのサージプロテクタが、ネットワークアダプタを保護できるわけではありません。雷雨時は、必ずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックから抜いてください。

ラインコンディショナ

 **注意：**ラインコンディショナには、停電に対する保護機能はありません。

ラインコンディショナは AC 電圧を適切に一定のレベルに保つよう設計されています。

無停電電源装置（UPS）

 **注意：**データをハードディスクドライブに保存している間に電力が低下すると、データを損失したりファイルが損傷したりする恐れがあります。

 **メモ：**バッテリーの最大駆動時間を確保するには、お使いのコンピュータのみを UPS に接続します。プリンタなどその他のデバイスは、サージプロテクションの付いた別の電源タップに接続します。

UPS は電圧変動および停電からの保護に役立ちます。UPS 装置は、AC 電源が切れた際に、接続されているデバイスへ一時的に電力を供給するバッテリーを備えています。バッテリーは AC 電源が利用できる間に充電されます。バッテリーの駆動時間についての情報、および装置が UL (Underwriters Laboratories) 規格に適合しているか確認するには、UPS 製造業者のマニュアルを参照してください。

ディスプレイの使い方

輝度の調節

Dell™ コンピュータがバッテリーで動作している場合、<Fn> と上下矢印キーを押して、輝度を快適に使用できる最低の設定にして節電することができます。

 **メモ:** 輝度キーの組み合わせは、お使いのノートブックコンピュータのディスプレイにのみ設定され、コンピュータ本体やドッキングデバイスに接続された外付けモニタまたはプロジェクタには有効ではありません。お使いのコンピュータに外付けモニターが接続されている場合に、輝度レベルの変更を行っても、輝度メーターは表示されますが、外付けデバイスの輝度レベルは変更されていません。

次のキーを押すと、ディスプレイの輝度を調節できます。

- <Fn> と上矢印キーを同時に押すと、内蔵ディスプレイのみ（外付けモニターは該当しません）の輝度が上がります。
- <Fn> と下矢印キーを押すと、内蔵ディスプレイのみ（外付けモニターは該当しません）の輝度が下がります。

プロジェクタの使い方

外付けデバイス（外付けモニタまたはプロジェクタなど）を取り付け、それらの電源を入れてコンピュータを起動すると、コンピュータのディスプレイまたは外付けデバイスのいずれかに画像が表示されます。

<Fn><F8> を押して画面モードの表示をディスプレイのみ、外付けデバイスのみ、またはディスプレイと外付けデバイスの同時表示に切り替えます。

イメージとテキストを拡大する、またははっきり表示する

 **メモ:** 画面解像度を現在の設定から変更する場合、お使いのコンピュータやディスプレイでサポートしていない設定に解像度を変更すると、イメージがぼやけたり、テキストが読みにくくなる場合があります。ディスプレイ設定を変更する前に、必要に応じて元の設定に戻すことができるように現在の設定を控えておいてください。

画面解像度を調整して、画面上のテキストを読みやすくしたり、イメージの表示を変更することが可能です。解像度を上げると、画面上のアイテムの表示が小さくなります。逆に、解像度を低くすると、テキストやイメージの表示が大きくなるので、視力に障害を持つ方には有用です。特定の解像度でプログラムを表示するには、ビデオカードとディスプレイの両方がプログラムをサポートしていて、さらに、必要なビデオドライバがインストールされている必要があります。

 **メモ**：プリインストールされているビデオドライバは、お使いのコンピュータの性能を最大限に活用できるように設計されています。

画面のサポートする範囲よりも高い解像度またはカラーパレットを選択した場合、サポートされている設定に最も近いものに自動的に調整されます。

ディスプレイの画面解像度とリフレッシュレートを設定する場合は、お使いのコンピュータが使用しているオペレーティングシステムに対応する次の項の手順を実行します。

Microsoft® Windows® XP

- 1 **スタート** → **設定** → **コントロールパネル** とクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** にある、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
- 3 **作業を選びます** で、変更したい項目をクリックします。または **コントロールパネルを選んで実行します** を選び、**画面** をクリックします。
- 4 **画面のプロパティ** ウィンドウの **設定** タブをクリックします。
- 5 **画面の解像度** と **画面の色** で、別の設定にしてみます。

 **メモ**：解像度を上げると、画面上のアイコンとテキストの表示が小さくなります。

Windows Vista®

- 1 Windows Vista スタートボタン 、**Control Panel** (コントロールパネル) の順にクリックします。
- 2 **Appearance and Personalization** (デザインとカスタマイズ) で、**Adjust screen resolution** (画面の解像度を調整) をクリックします。
- 3 **Display Settings** (ディスプレイの設定) ウィンドウの **Resolution** (解像度) で、スライドバーを左または右にスライドさせて画面の解像度を下げたり上げたりします。
- 4 さらに詳しい手順に関しては、**How do I get the best display?** (最高の表示にするには) をクリックします。

ビデオ解像度の設定が画面のサポートする範囲よりも高い場合、コンピュータはパンモードに入ります。パンモードでは、ビデオイメージ全体を一度に表示できません。通常デスクトップの下に表示されてるタスクバーが表示されない場合があります。ビデオイメージの見えない部分を表示するには、タッチパッドまたはトラックスティックを使用してイメージを上下左右に「パン」(または移動)します。

 **注意**：外付けモニターでサポートされていないリフレッシュレートをを使用すると、モニターに損傷を与える恐れがあります。外付けモニターのリフレッシュレートを調整する前に、モニターのユーザーズガイドを参照してください。

モニタおよびコンピュータディスプレイ両方の使い方

外付けモニタや 프로젝タをコンピュータに取り付けたり、お使いのディスプレイの拡張として使用できます（「デュアディスプレイ」または「拡張デスクトップ」モードとも呼ばれます）。このモードでは、両方の画面を独立して使用することができ、1つの画面からもう一方の画面へオブジェクトをドラッグできます。視覚作業スペースが事実上2倍になります。

拡張デスクトップモードを使用する場合は、お使いのコンピュータが使用しているオペレーティングシステムに対応する次の項の手順を実行します。

Microsoft® Windows® XP

- 1 外付けモニタ、テレビ、または 프로젝タをコンピュータに接続します。
- 2 **スタート** → **設定** → **コントロールパネル** とクリックします。
- 3 **作業する分野を選びます** にある、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
- 4 **作業を選びます** で、変更したい項目をクリックします。または**コントロールパネルを選んで実行します** で、**画面** をクリックします。
- 5 **画面のプロパティ** ウィンドウの **設定** タブをクリックします。



メモ：画面のサポートする範囲よりも高い解像度またはカラーパレットを選択した場合、サポートされている設定に最も近いものに自動的に調整されます。詳細については、お使いのオペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

- 6 モニタ 2 アイコン、**Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする ...** チェックボックス、**適用** の順にクリックします。
- 7 両方の画面の **画面の領域** を適切なサイズに変更し、**適用** をクリックします。
- 8 コンピュータを再起動するよう求められたら、**再起動せずに新しい表示設定を適用する** をクリックし、**OK** をクリックします。
- 9 プロンプトで要求されたら、**OK** をクリックしてデスクトップのサイズを変更します。
- 10 プロンプトで要求されたら、**はい** をクリックして設定を保存します。
- 11 **OK** をクリックして **画面のプロパティ** ウィンドウを閉じます。

デュアルディスプレイモードを無効にするには、次の手順を実行します。

- 1 **画面のプロパティ** ウィンドウの **設定** タブをクリックします。
- 2 モニタ 2 アイコンをクリックし、**Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする** オプションのチェックを外し、**適用** をクリックします。

必要に応じて、<Fn><F8> を押して画面イメージをコンピュータディスプレイに戻します。

Windows Vista®

- 1 Windows Vista スタートボタン 、**Control Panel** (コントロールパネル) の順にクリックします。
- 2 **Appearance and Personalization** (デザインとカスタマイズ) で、**Adjust screen resolution** (画面の解像度を調整) をクリックします。
- 3 **Display Settings** (表示設定) ウィンドウで **モニタ 2 アイコン**、**Extend the desktop onto this monitor** (Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする) チェックボックス、**Apply** (適用) の順にクリックします。
- 4 **OK** をクリックして **Display Settings** (画面の設定) ウィンドウを閉じます。

拡張デスクトップモードを無効にするには、次の手順を実行します。

- 1 **Display Settings** (画面の設定) ウィンドウの **Settings** (設定) タブをクリックします。
- 2 モニタ 2 アイコンをクリックし、**Extend the desktop onto this monitor** (Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする) オプションのチェックを外し、**Apply** (適用) をクリックします。

モニタをプライマリディスプレイとしての使い方

プライマリディスプレイとセカンダリディスプレイの指定を置き替えるには (たとえば、外付けモニタをドッキングした後にプライマリディスプレイとして使用する場合)、お使いのコンピュータが使用しているオペレーティングシステムに対応する、以下の項の手順を実行します。

Microsoft Windows XP

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** にある、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
- 3 **作業を選びます** で、変更したい項目をクリックします。または**コントロールパネルを選んで実行します** で、**画面** をクリックします。
- 4 **設定** タブ → **詳細設定** → **モニタ** タブとクリックします。

詳細に関しては、お使いのビデオカードに付属のマニュアルを参照してください。

Windows Vista

- 1 Windows Vista スタートボタン 、**Control Panel** (コントロールパネル) の順にクリックします。
- 2 **Appearance and Personalization** (デザインとカスタマイズ) で、**Adjust screen resolution** (画面の解像度を調整) をクリックします。
- 3 **Display Settings** (表示設定) ウィンドウでモニター 2 アイコンをクリックし、**This is my main monitor** (メインのモニターとして設定する) チェックボックスをクリックしたら、**Apply** (適用) をクリックします。
- 4 **OK** をクリックして **Display Settings** (画面の設定) ウィンドウを閉じます。

Catalyst[®] Control Center の使い方

ATI Catalyst Control Center は、ATI 製ハードウェアとソフトウェアに含まれている機能の表示に簡単にアクセスするためのグラフィカルユーザーアプリケーションです。Catalyst Control Center により、画像設定を最適化し、接続されているグラフィックスデバイスを有効または無効にしたり、お使いのデスクトップのオリエンテーションを変更することができます。ほとんどの機能は、変更を適用する前にその内容をプレビューできます。



メモ: Catalyst Control Center のすべての機能をサポートするためには、Microsoft .NET 1.1 または 2.0 がインストールされている必要があります。

Catalyst Control Center には、2 種類のソフトウェア画面があります。

- 標準画面は、初心者でもソフトウェアを使用できるように、ウィザードを含んだ平易画面です。
- 詳細画面は、使い慣れたユーザーがソフトウェアのすべての機能にアクセスして設定することができるものです。

Catalyst Control Center により、よく使用する機能に容易にアクセスできるようにカスタマイズすることができます。

Catalyst Control Center を使用して、総合的なオンラインヘルプシステムにアクセスしたり、サポートを得るために ATI ウェブサイトに接続できます。

Catalyst Control Center の起動

Catalyst Control Center は、次のいずれかのアクセスポイントから起動することができます。

- Windows スタートメニュー
- デスクトップショートカット
- 設定済みのホットキー

スタートメニューの使い方

Windows タスクバーから、**スタート** → **すべてのプログラム** → **ATI Catalyst Control Center** → **ATI Catalyst Control Center** とクリックします。

デスクトップショートカットの使い方

Catalyst Control Center をインストールする際に、デスクトップ上にショートカットを設定できるよう、セットアップウィザードにオプションが用意されていますこのオプションを選択すると、デスクトップショートカットをダブルクリックして、Catalyst Control Center をスタートすることができます。

ホットキーの使い方

設定済みのキーの組み合わせ <Ctrl><Alt><c> を押して Catalyst Control Center を起動するか、Catalyst Control Center のホットキーマネージャを使用して独自のホットキーシーケンスを定義することができます。

キーボードとタッチパッドの 使い方

テンキーパッド



テンキーパッドは、外付けキーボードのテンキーパッドの機能と同じように使用できます。キーパッドの各キーには、複数の機能があります。キーパッドの数字と記号文字は、キーパッドキーの右側に青色で記されています。数字または記号を入力するには、キーパッドを有効にし、<Fn> とご希望のキーを押します。

- キーパッドを有効にするには、<Fn><Num Lk> を押します。☑ のライトが点灯すると、キーパッドが有効であることを示しています。
- キーパッドを無効にするには、もう一度 <Fn><Num Lk> を押します。

キーの組み合わせ

システム関連

| | |
|--------------------|----------------------|
| <Ctrl><Shift><Esc> | タスクマネージャ ウィンドウを開きます。 |
|--------------------|----------------------|

バッテリー

| | |
|----------|--------------------------------|
| <Fn><F3> | Dell™ QuickSet バッテリメーターを表示します。 |
|----------|--------------------------------|

CD または DVD トレイ

| | |
|-----------|--|
| <Fn><F10> | トレイをドライブから取り出します (Dell QuickSet がインストールされている場合)。 |
|-----------|--|

ディスプレイ関連

| | |
|----------|---|
| <Fn><F8> | 現在使用可能なすべてのディスプレイオプション (例えば、ディスプレイのみ、外付けモニタまたはプロジェクタのみ、ディスプレイとプロジェクタの両方など) を示すアイコンを表示します。目的のアイコンをハイライト表示して、画面をそのオプションに切り替えます。 |
|----------|---|

| | |
|---------------|--------------------------------------|
| <Fn> キーと上矢印キー | 内蔵ディスプレイの輝度を上げます (外付けモニターには適用されません)。 |
|---------------|--------------------------------------|

| | |
|---------------|--------------------------------------|
| <Fn> キーと下矢印キー | 内蔵ディスプレイの輝度を下げます (外付けモニターには適用されません)。 |
|---------------|--------------------------------------|

電源管理

| | |
|-----------|--|
| <Fn><Esc> | 省電力モードを起動します。電源オプションのプロパティ ウィンドウの 詳細設定 タブを使って、異なる省電力モードを起動するために、ショートカットキーの設定を変更することができます。 |
|-----------|--|

| | |
|----------|---|
| <Fn><F1> | コンピュータを休止状態モードにします。Dell QuickSet を使用します (155 ページの「Dell™ QuickSet 機能」を参照)。 |
|----------|---|

スピーカ関連

| | |
|---------------|--|
| <Fn><Page Up> | 内蔵スピーカと外付けスピーカ（接続されている場合）の音量を上げます。 |
| <Fn><Page Dn> | 内蔵スピーカと外付けスピーカ（接続されている場合）の音量を下げます。 |
| <Fn><End> | 内蔵スピーカと外付けスピーカ（接続されている場合）を有効または無効にします。 |

Microsoft® Windows® ログキー関連

| | |
|--------------------------|---|
| Windows ログキーと <m> | 現在開いているすべてのウィンドウを最小化します。 |
| Windows ログキーと <Shift><m> | 最小化されたウィンドウを元に戻します。このコマンドは、Windows ログキーと <m> キーの組み合わせで最小化されたすべてのウィンドウを元に戻す（最大化する）ための切り替えとして作動します。 |
| Windows ログキーと <e> | Windows エクスプローラを開きます。 |
| Windows ログキーと <r> | ファイルを指定して実行 ダイアログボックスを開きます。 |
| Windows ログキーと <f> | 検索結果 ダイアログボックスを開きます。 |
| Windows ログキーと <Ctrl><f> | 検索結果—コンピュータ ダイアログボックスを開きます（ネットワークに接続している場合）。 |
| Windows ログキーと <Pause> | システムのプロパティ ダイアログボックスを開きます。 |

キーボード設定の調整

文字の表示間隔など、キーボードの動作を調整するには、コントロールパネルを開いて、**キーボード** をクリックします。コントロールパネルについては、**Windows ヘルプとサポートセンター**を参照してください。ヘルプとサポートセンターにアクセスする方法については、14 ページの「**Windows ヘルプとサポートセンター**」を参照してください。

タッチパッド

タッチパッドは、指の圧力と動きを検知して画面のカーソルを動かします。マウスの機能と同じように、タッチパッドとタッチパッドボタンを使うことができます。



1 タッチパッド

2 スクロールゾーン付きシルクスクリーン

- カーソルを動かすには、タッチパッド上でそっと指をスライドさせます。
- オブジェクトを選択するには、オブジェクトにカーソルを合わせて、タッチパッドの表面を軽く 1 回たたか、親指で左のタッチパッドボタンを押します。
- オブジェクトを選択して移動（またはドラッグ）するには、選択したいオブジェクトにカーソルを合わせてタッチパッドを 2 回たたきます。2 回目にたたいたときにタッチパッドから指を離さずに、そのままタッチパッドの表面で指をスライドしてオブジェクトを移動させます。
- オブジェクトをダブルクリックするには、ダブルクリックするオブジェクトにカーソルを合わせて、タッチパッド上を 2 回たたか、または親指で左のタッチパッドボタンを 2 回押します。

タッチパッドには、スクロールゾーンの端に 2 箇所のスクロールの可能範囲を示すシルクスクリーン印刷があります。スクロールはデフォルトで有効になっています。この機能を無効にするには、コントロールパネルでマウスのプロパティを変更します。



メモ: スクロールゾーンは、すべてのプログラムで機能するとは限りません。スクロールゾーンが正しく機能するには、プログラムでタッチパッドのスクロール機能を使用できることが必要です。

タッチパッドのカスタマイズ

マウスのプロパティ ウィンドウを使って、タッチパッドを無効にしたり、設定を調整することができます。

- 1 コントロールパネルを開いて **プリンタとその他のハードウェア** をクリックし、**マウス** をクリックします。コントロールパネルについては、**Windows ヘルプとサポートセンター**を参照してください。ヘルプとサポートセンターにアクセスする方法については、14 ページの「**Windows ヘルプとサポートセンター**」を参照してください。
- 2 **マウスのプロパティ** ウィンドウの **ポインタオプション** タブをクリックして、タッチパッドの設定を調整します。
- 3 **OK** をクリックし、設定を保存して、ウィンドウを閉じます。

バッテリーの使い方

バッテリーの性能

 **メモ:** デルの保証情報に関しては、『サービス & サポートのご案内』を参照してください。

コンピュータの性能を最大に保ち BIOS の設定を保持するため、Dell™ ノートブックコンピュータは、常にバッテリーを搭載した状態でお使いください。バッテリーにはバッテリーが 1 つ、標準で搭載されています。

 **メモ:** バッテリーはフル充電されていない場合がありますので、コンピュータを初めて使用するときは、AC アダプタを使って新しいコンピュータをコンセントに接続してください。十分な駆動時間を得るには、バッテリーがフル充電されるまで、AC アダプタを使ってコンピュータを動作させます。バッテリーの充電ステータスを表示するには、コントロールパネルにアクセスして **電源オプション** をクリックし、**電源メーター** タブをクリックします。

 **メモ:** バッテリー駆動時間（バッテリーが電力を供給できる時間）は、時間の経過に従って短くなります。バッテリーの使用頻度および使用状況によって駆動時間が変わるので、コンピュータの寿命がある間でも新しくバッテリーを購入する必要がある場合もあります。

バッテリーの動作時間は、使用状況によって異なります。次のような場合、バッテリーの持続時間は著しく短くなりますが、他の方法でも短くなる場合もあります。

- 光学ドライブを使用している場合
- ワイヤレス通信デバイス、ExpressCard、メディアメモ리카ード、または USB デバイスを使用している場合
- ディスプレイの輝度を高く設定したり、3D スクリーンセーバー、または複雑な 3D グラフィックスアプリケーションなどの電力を集中的に使用するプログラムを使用したりしている場合
- 最大パフォーマンスモードでコンピュータを実行している場合（55 ページの「電源管理の設定」を参照）

 **メモ:** CD または DVD に書き込みをする際は、コンピュータをコンセントに接続することをお勧めします。

コンピュータにバッテリーを挿入する前に、バッテリーの充電チェックができます（52 ページの「バッテリーの充電チェック」を参照）。バッテリーの充電量が少なくなると警告を発するように、電源管理のオプションを設定することもできます。**電源オプションのプロパティ** ウィンドウにアクセスする方法に関しては、55 ページの「電源管理の設定」を参照してください。

 **警告**：適切でないバッテリーを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。交換するバッテリーは、必ずデルが販売している適切なものをお使いください。バッテリーはお使いの Dell コンピュータで動作するように設計されています。お使いのコンピュータに別のコンピュータのバッテリーを使用しないでください。

 **警告**：バッテリーを家庭用のごみと一緒に捨てないでください。不要になったバッテリーは、貴重な資源を守るために廃棄しないで、デル担当窓口：デル PC リサイクルデスク（個人のお客様：044-556-4298、企業のお客様：044-556-3481）へお問い合わせください。『製品情報ガイド』にある「バッテリーの廃棄」を参照してください。

 **警告**：バッテリーの取り扱いを誤ると、火災や化学燃焼を引き起こす可能性があります。バッテリーに穴をあけたり、燃やしたり、分解したり、または温度が 65 °C を超える場所に置いたりしないでください。バッテリーはお子様の手の届かないところに保管してください。損傷のあるバッテリー、または漏れているバッテリーの取り扱いには、特に気を付けてください。バッテリーが損傷していると、セルから電解液が漏れ出し、けがをしたり装置を損傷したりする恐れがあります。

バッテリーの充電チェック

Dell QuickSet バッテリメーター、Microsoft® Windows® 電源メーター ウィンドウ、および  アイコン、バッテリー充電ゲージと機能ゲージ、およびバッテリーの低下を知らせる警告は、バッテリー充電の情報を提供します。

Dell™ QuickSet バッテリメーター

Dell QuickSet がインストールされている場合は、<Fn><F3> を押して QuickSet バッテリメーターを表示します。バッテリメーターには、お使いのコンピュータのバッテリーのステータス、バッテリー性能、充電レベル、および充電完了時間が表示されます。

QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある QuickSet アイコンを右クリックし、**ヘルプ** をクリックしてください。

Microsoft® Windows® 電源メーター

Windows の電源メーターは、バッテリーの充電残量を示します。電源メーターを確認するには、タスクバーの  アイコンをダブルクリックします。電源メーターの詳細情報にアクセスする手順に関しては、55 ページの「電源管理の設定」を参照してください。

コンピュータがコンセントに接続されている場合、 アイコンが表示されます。

充電ゲージ

バッテリーの充電ゲージにあるステータスポタンを一度押すかまたは押し続けると、次のことが確認できます。

- バッテリーの充電量（ステータスポタンを短く押し確認します）
- バッテリー性能（ステータスポタンを押し続けて確認します）

バッテリーの動作時間は、充電される回数によって大きく左右されます。充放電を何百回も繰り返すと、バッテリーの充電機能またはバッテリー性能は次第に低下します。つまり、バッテリーに「充電済み」のステータスが表示されても、充電容量（性能）は低下したままの場合があります。

バッテリーの充電チェック

バッテリーの充電量をチェックするには、充電ゲージにあるステータスポタンを短く押すと、充電レベルライトが点灯します。各々のライトはバッテリーの総充電量の約 20 % を表します。たとえば、バッテリーの充電残量が 80 % なら 4 つのライトが点灯します。どのライトも点灯していない場合、バッテリーの充電残量が残っていないことになります。

バッテリー性能のチェック

充電ゲージを使用してバッテリー性能をチェックするには、バッテリー充電ゲージのステータスポタンを 3 秒以上押し続けます。どのライトも点灯しない場合、バッテリーの機能は良好で、初期の充電容量の 80 % 以上を維持しています。各ライトは機能低下の割合を示します。ライトが 5 つ点灯した場合、バッテリーの充電容量は 60 % 以下になっていますので、バッテリーを交換することをお勧めします。バッテリー駆動時間の詳細に関しては、161 ページの「仕様」を参照してください。

バッテリーの低下を知らせる警告



注意：データの損失や破損を防ぐため、バッテリーの低下を知らせる警告が鳴ったら、すぐに作業中のファイルを保存して、コンピュータをコンセントに接続してください。バッテリーの充電残量が完全になくなると、自動的に休止状態モードに入ります。

デフォルトでは、ポップアップウィンドウの警告は、バッテリーの全充電量の約 90 % を消費した時点で発せられます。バッテリーアラームの設定は変更することができます。**電源オプションのプロパティ** ウィンドウにアクセスする方法に関しては、55 ページの「電源管理の設定」を参照してください。

バッテリー電力の節約

バッテリー電源を節約するには次の手順を実行してください。

- バッテリーの寿命は、使用および充電される回数によって大きく異なってきますので、コンピュータはできるだけコンセントに接続してお使いください。
- 長時間コンピュータから離れるときは、コンピュータをスタンバイモードまたは休止状態モードにしてください。スタンバイモードと休止状態モードの詳細に関しては、54 ページの「省電力モード」を参照してください。
- お使いのコンピュータの電源の使用方法を最適化するオプションを選択します。電源ボタンを押してディスプレイを閉じるか、または <Fn><Esc> を押すと、これらのオプションの設定を変更することができます。詳細に関しては、55 ページの「電源管理の設定」を参照してください。



メモ: バッテリー電力を節約する方法に関する詳細は、51 ページの「バッテリーの性能」を参照してください。

省電力モード

スタンバイモード

スタンバイモード（Microsoft Windows Vista® ではスリープモード）は、あらかじめ設定した一定の時間コンピュータを操作しないでおく（タイムアウト）、ディスプレイとハードディスクドライブの電源を切ることによって電力を節約するモードです。スタンバイモードまたはスリープモードを終了すると、コンピュータはスタンバイモードまたはスリープモードに入る前と同じ動作状態に戻ります。



注意: スタンバイモードまたはスリープモード中に AC 電源が切れたりバッテリーを使い切ってしまうと、データを損失する恐れがあります。

Windows XP でスタンバイモードに入るには、**スタート** ボタンをクリック、**終了オプション** をクリックして、さらに**スタンバイ** をクリックします。

Windows Vista でスリープモードに入るには、Windows Vista スタートボタン 、**Sleep**（スリープ）の順にクリックします。

- **Power Options Properties**（電源オプションのプロパティ）ウィンドウまたは **QuickSet** 電力の管理ウィザードで設定した電源の管理オプションに従って、次のいずれかを実行します。
 - 電源ボタンを押す。
 - ディスプレイを閉じる。
 - <Fn><Esc> を押す。

スタンバイモードから復帰するには、**詳細設定** タブのオプション設定に応じて電源ボタンを押すか、またはディスプレイを開きます。キーを押したり、タッチパッドに触れてもコンピュータはスタンバイモードから復帰しません。

休止状態モード

休止状態モードでは、システム情報をハードディスクドライブの予約領域にコピーしてから、コンピュータの電源を切ることによって電力を節約します。休止状態モードから復帰すると、コンピュータは休止状態モードに入る前と同じ動作状態に戻ります。

 **注意**：お使いのコンピュータが休止状態モードに入っている場合、コンピュータからデバイスまたはドッキングデバイスを取り外すことはできません。

バッテリーの充電レベルが極端に低くなった場合、コンピュータは休止状態モードに入ります。

Windows XP で手動により休止状態モードに入るには、**スタート** ボタン、**終了オプション** の順にクリックし、<Shift> を押したまま **休止状態** をクリックします。

Windows Vista で、手動で休止状態モードにするには、Windows Vista スタートボタン  をクリックし、**Hibernate**（休止状態）をクリックします。

Power Options Properties（電源オプションのプロパティ）ウィンドウまたは **QuickSet** 電力の管理ウィザードで設定した電源の管理オプションに従って、次のいずれかを実行して休止状態モードに入ります。

- 電源ボタンを押す。
- ディスプレイを閉じる。
- <Fn><Esc> を押す。

 **メモ**：ExpressCard によっては、休止状態モードから復帰した後、正常に動作しないものがあります。カードを取り外して取り付けなおすか（69 ページの「ExpressCard またはダミーカードの取り外し」を参照）、コンピュータを再スタート（再起動）してください。

休止状態モードから通常の動作状態に戻るには、電源ボタンを押します。コンピュータが通常の動作状態に戻るのに、若干時間がかかることがあります。キーを押したり、タッチパッドに触れてもコンピュータは休止状態モードから復帰しません。休止状態モードの詳細に関しては、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。

電源管理の設定

QuickSet 電力の管理ウィザードまたは Windows 電源オプションのプロパティを使用して、お使いのコンピュータの電力管理の設定を行うことができます。

QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある QuickSet アイコンを右クリックして、**ヘルプ** をクリックしてください。

電源オプションプロパティへのアクセス

Windows XP

スタート ボタンをクリックし、コントロールパネル → パフォーマンスとメンテナンスの順にポイントして、次に **電源のオプション** をクリックします。

Windows Vista

Windows Vista スタートボタン  をクリックし、**Control Panel** (コントロールパネル)、**System and Maintenance** (システムとメンテナンス)、**Power Options** (電源オプション) の順にクリックします。

バッテリーの充電

コンピュータをコンセントに接続したり、コンセントに接続されているコンピュータにバッテリーを取り付けたりすると、コンピュータはバッテリーの充電状態と温度をチェックします。その後、AC アダプタは必要に応じてバッテリーを充電し、その充電量を保持します。



メモ : Dell™ ExpressCharge™ を使用して、完全に切れてしまったバッテリーを充電するには、コンピュータの電源が切れている場合で 80 % の充電に約 1 時間、100 % の充電に約 2 時間かかります。コンピュータの電源が入っている場合は、充電時間は長くなります。バッテリーを充電したまま、コンピュータをそのままにしておいても問題ありません。バッテリーの内部回路によって過剰充電が防止されます。

バッテリーがコンピュータの使用中に高温になったり高温の環境に置かれたりすると、コンピュータをコンセントに接続してもバッテリーが充電されない場合があります。



のライトが緑色と橙色を交互に繰り返して点滅する場合、バッテリーが高温すぎて充電が開始できない状態です。コンピュータをコンセントから抜き、コンピュータとバッテリーを室温に戻します。次に、コンピュータをコンセントに接続し、充電を続けます。

バッテリーの問題の解決の詳細に関しては、131 ページの「電源の問題」を参照してください。

バッテリーの交換



警告 : 以下の手順を実行する前に、コンピュータの電源を切り、AC アダプタをコンセントとコンピュータから外し、モデムを壁のコネクタとコンピュータから外し、その他すべての外付けケーブルをコンピュータから取り外します。



注意 : 起こり得るコネクタの損傷を防ぐため、すべての外付けケーブルをコンピュータから取り外してください。

⚠ 警告：適切でないバッテリーを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。交換するバッテリーは、必ずデルが販売している適切なものをお使いください。バッテリーは、お使いの Dell™ コンピュータで動作するように設計されています。他のコンピュータ用のバッテリーは使用しないでください。

➡ 注意：コンピュータをスタンバイモードにしてバッテリーを交換する場合は、1分以内にバッテリーを交換してください。1分が経過するとコンピュータがシャットダウンし、保存されていないデータは失われます。

バッテリーを取り外すには次の手順を実行します。

- 1 コンピュータをドッキングデバイスに接続している場合は、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。
- 2 コンピュータの電源が切れていることを確認します。
- 3 コンピュータの底面にあるバッテリーベイリリースラッチをスライドさせた状態で、バッテリーをバッテリーベイから取り外します。



1 バッテリーベイリリースラッチ 2 バッテリー

バッテリーを取り付けるには、取り外し手順を逆の順序で実行します。

バッテリーの保管

長期間コンピュータを保管する場合は、バッテリーを取り外してください。バッテリーは、長期間保管していると放電してしまいます。長期保管後にコンピュータをお使いになる際は、完全にバッテリーを再充電して（56 ページの「バッテリーの充電」を参照）からお使いください。

マルチメディアの使い方

CD または DVD の再生

➡ **注意:** CD または DVD のトレイを開閉する場合は、トレイの上から力を掛けないでください。ドライブを使用しないときは、トレイは閉じておいてください。

📎 **メモ:** CD または DVD を再生しているときに、コンピュータを動かさないでください。ドライブの前面にある取り出しボタンを押します。

- 1 ドライブの前面にある取り出しボタンを押します。
- 2 トレイを引き出します。



1 CD/DVD トレイ

- 3 トレイの中央にラベルのある方を上にしてディスクを置き、ディスクをスピンドルにきちんとはめ込みます。



メモ：別のコンピュータに付属している CD/DVD ドライブをお使いの場合、CD または DVD の再生やデータの書き込みに必要なドライバとソフトウェアをインストールする必要があります。詳細については、『Drivers and Utilities』メディアを参照してください（『Drivers and Utilities』メディアはオプションであり、お使いのコンピュータや国によって利用できない場合があります）。

- 4 トレイをドライブに押し戻します。

データ保存のための CD フォーマット、ミュージック CD の作成、CD のコピーについては、コンピュータに付属の CD ソフトウェアを参照してください。



メモ：CD をコピーする際は、著作権法に基づいていることを確認してください。

ボリュームの調整



メモ：スピーカが無音（ミュート）に設定されている場合、CD または DVD の音声を聞くことができません。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**プログラム** → **アクセサリ** → **エンターテイメント**（または **マルチメディア**）とポイントして、**ボリュームコントロール** をクリックします。
- 2 **ボリュームコントロール** ウィンドウで、**ボリュームコントロール** の列にある音量つまみを上下にスライドさせてボリュームを調整します。

ボリュームコントロールオプションの詳細に関しては、ボリュームコントロールウィンドウの **ヘルプ** をクリックしてください。

音量を調節するにはボリュームコントロールボタンを使用するか、または以下のキーの組み合わせを押します。

- 音量を上げるには、<Fn><Page Up> を押します。
- 音量を下げるには、<Fn><Page Down> を押します。
- 音を消すには、<Fn><End> を押します。

画像の調整

現在設定している解像度と色数はメモリの使用量が多すぎて DVD を再生できません、というエラーメッセージが表示される場合、画面のプロパティで画像設定の調節をします。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** にある、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
- 3 **作業を選びます** で、**画面解像度を変更する** をクリックします。

- 4 **画面のプロパティ** ウィンドウで、**画面の解像度** のバーをクリックし、ドラッグして画面解像度を下げます。
- 5 **画面の色** にあるドロップダウンメニューをクリックして、**中 (16 ビット)** をクリックします。
- 6 **OK** をクリックし、設定を保存して、ウィンドウを閉じます。

CD および DVD のコピー

 **メモ** : CD または DVD を作成する際は、すべての著作権法に基いていることを確認してください。

本項は、CD-RW、DVD+/-RW、または CD-RW/DVD (コンボ) ドライブを備えたコンピュータにだけ適用されます。

 **メモ** : デルにより提供される CD または DVD ドライブのタイプは国により異なることがあります。

以下の手順では、**CD** または **DVD** の正確なコピーを作成する方法について説明します。お使いのコンピュータに保存したオーディオファイルから音楽 **CD** を作成したり、重要なデータをバックアップするなど、他の目的にも **Sonic DigitalMedia** を使用することができます。ヘルプを参照するには、**Sonic DigitalMedia** を開き、ウィンドウの右上にある疑問符 (?) のアイコンをクリックします。

CD または DVD のコピーの仕方

 **メモ** : CD-RW/DVD コンボドライブでは DVD メディアへの書き込みはできません。CD-RW/DVD コンボドライブがあり、コピー中に問題が生じた場合は、Sonic サポートウェブサイト www.sonicjapan.co.jp で使用可能なソフトウェアパッチを確認してください。

Dell™ コンピュータに取り付けられている DVD 書き込み可能ドライブは、DVD+/-R、DVD+/-RW および DVD+R DL (デュアルレイヤ) メディアに対して読み取りと書き込みを行います。DVD-RAM または DVD-R DL メディアに対する書き込みは行わず、読み取りも行わない可能性があります。

 **メモ** : 市販の DVD の大部分は著作権のプロテクションがかかっており、Sonic DigitalMedia を使用してコピーすることはできません。

- 1 **Start** (スタート) ボタンをクリックして **Programs** (プログラム) → **Sonic** → **DigitalMedia Projects** (DigitalMedia プロジェクト) とポイントし、**Copy** (コピー) をクリックします。
- 2 **Copy** (コピー) タブで、**Disc Copy** (ディスクコピー) をクリックします。

3 CD または DVD をコピーするには次の手順を実行します。

- CD または DVD ドライブが 1 つしかない場合、設定が正しいことを確認し、**Disc Copy**（ディスクコピー）ボタンをクリックします。コンピュータがソース CD または DVD を読み取り、コンピュータのハードディスクドライブのテンポラリフォルダにそのデータをコピーします。プロンプトが表示されたら、ドライブに空の CD または DVD を挿入し、**OK** をクリックします。
- CD または DVD ドライブが 2 つある場合、ソース CD または DVD を入れたドライブを選択し、**Disc Copy**（ディスクコピー）ボタンをクリックします。コンピュータがソース CD または DVD のデータを空の CD または DVD にコピーします。

ソース CD または DVD のコピーが終了すると、作成された CD または DVD は自動的に出てきます。

空の CD および DVD の使い方

DVD 書き込み可能ドライブは、CD 記録メディアと DVD 記録メディアの両方に書き込むことができますが、CD-RW ドライブは CD 記録メディアのみ（高速 CD-RW を含む）に書き込みができます。

音楽や永久保存データファイルを記録するには、空の CD-R を使用してください。CD-R の作成後、この CD-R を上書きすることはできません（詳細に関しては、Sonic のマニュアルを参照してください）。CD に書き込んだり、CD のデータを消去、上書き、またはアップデートするには、空の CD-RW を使用してください。

空の DVD+/-R は、大量の情報を永久保存することができます。DVD+/-R ディスクを作成した後、ディスクを作成するプロセスの最終段階でそのディスクが「ファイナライズ」または「クローズ」された場合、そのディスクに再度書き込みができないことがあるかもしれません。後でディスクにある情報を消去、再書き込み、または更新する場合、空の DVD+/-RW を使用してください。

CD 書き込み可能ドライブ

| メディアタイプ | 読み取り | 書き込み | 書換可能 |
|---------|------|------|------|
| CD-R | はい | はい | いいえ |
| CD-RW | はい | はい | はい |

DVD 書き込み可能ドライブ

| メディアタイプ | 読み取り | 書き込み | 書換可能 |
|----------|-------|------|------|
| CD-R | はい | はい | いいえ |
| CD-RW | はい | はい | はい |
| DVD+R | はい | はい | いいえ |
| DVD-R | はい | はい | いいえ |
| DVD+RW | はい | はい | はい |
| DVD-RW | はい | はい | はい |
| DVD+R DL | はい | はい | いいえ |
| DVD-R DL | 場合による | いいえ | いいえ |
| DVD-RAM | 場合による | いいえ | いいえ |

便利なヒント

- Sonic DigitalMedia を開始して DigitalMedia プロジェクトを開いた後であれば、Microsoft® Windows® エクスプローラでファイルを CD-R または CD-RW ディスクにドラッグ&ドロップすることができます。
- コピーした音楽 CD を一般的なステレオで再生させるには、CD-R を使用します。CD-RW はほとんどの家庭用ステレオおよびカーステレオでは再生できません。
- Sonic DigitalMedia を使用して、音楽 DVD を作成することはできません。
- 音楽用 MP3 ファイルは、MP3 プレーヤーでのみ、または MP3 ソフトウェアがインストールされたコンピュータでのみ再生できます。
- 市販されているホームシアターシステム用の DVD プレーヤーは、すべての DVD フォーマットをサポートするとは限りません。お使いの DVD プレーヤーが対応するフォーマットのリストに関しては、DVD プレーヤーに付属のマニュアルを参照するか、または製造元にお問い合わせください。
- 空の CD-R または CD-RW を最大容量までコピーしないでください。たとえば、650 MB のファイルを 650 MB の空の CD にコピーしないでください。CD-RW ドライブは、記録の最終段階で 1 ~ 2 MB の空きスペースがあることが必要です。

- CD への記録について操作に慣れるまで練習するには、空の CD-RW を使用してください。CD-RW なら、失敗しても CD-RW のデータを消去してやりなおすことができます。空の CD-RW ディスクを使用して、空の CD-R ディスクに永久的にプロジェクトを記録する前に、音楽ファイルプロジェクトをテストすることもできます。
- 詳細に関しては、Sonic ウェブサイト www.sonicjapan.co.jp を参照してください。

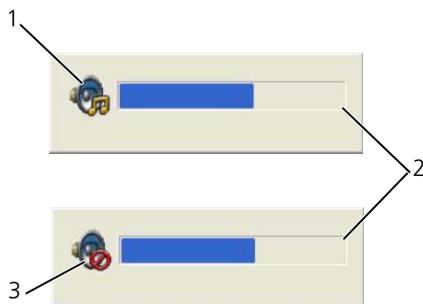
ボリュームの調整

 **メモ:** スピーカが無音（ミュート）に設定されている場合、CD または DVD の音声を聞くことができません。

- 1 **ボリュームコントロール** ウィンドウを開きます。
- 2 **ボリュームコントロール** の列にある音量つまみを上下にスライドさせてボリュームを増減します。

ボリュームコントロールオプションの詳細に関しては、ボリュームコントロールウィンドウの **ヘルプ** をクリックしてください。

音量メーターにミュートを含む現在のボリュームレベルが表示されます。タスクバーの **QuickSet** アイコンをクリックして**画面のボリュームメーターの無効** を選択、または選択解除にするか、あるいは、ボリュームコントロールボタンを押して、画面のボリュームメーターを有効または無効にします。



- | | | | |
|---|-----------|---|--------|
| 1 | ボリュームアイコン | 2 | 音量メーター |
| 3 | ミュートアイコン | | |

メーターが有効の場合、音量を調節するにはボリュームコントロールボタンを使用するか、または以下のキーを押します。

- 音量を上げるには、<Fn><Page Up> を押します。
- 音量を下げるには、<Fn><Page Down> を押します。
- 音量をミュートするには、<Fn><End> を押します。

QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにあるアイコンを右クリックして、**ヘルプ** をクリックします。

画像の調整

現在設定している解像度と色数はメモリの使用量が多すぎて DVD を再生できません、というエラーメッセージが表示される場合、画面のプロパティで画像設定の調節をします。

Microsoft Windows XP

- 1 **スタート** → **コントロールパネル** → **デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
- 2 **作業を選びます** で、**画面解像度を変更する** をクリックします。**画面の解像度** でバーをクリックしてドラッグし、解像度の設定を下げます。
- 3 **画面の色** ドロップダウンメニューで **中 (16 ビット)** をクリックし、**OK** をクリックします。

Microsoft Windows Vista® オペレーティングシステム

- 1 **Windows Vista** スタートボタン 、**Control Panel** (コントロールパネル)、**Appearance and Personalization** (デザインとカスタマイズ) の順にクリックします。
- 2 **Personalization** (カスタマイズ) で、**Adjust Screen Resolution** (画面の解像度を調整) をクリックします。
Display Properties (画面のプロパティ) ウィンドウが表示されます。
- 3 **Resolution** (解像度) でバーをクリックしてドラッグし、解像度の設定を下げます。
- 4 **Colors** (画面の色) のドロップダウンメニューで **Medium (16 bit)** (中 (16 ビット)) をクリックします。
- 5 **OK** をクリックします。

カードの使い方

ExpressCard

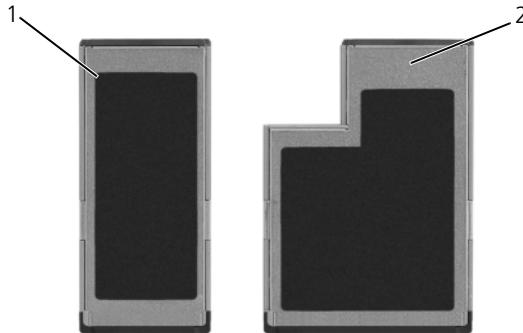
ExpressCard は追加のメモリ、有線およびワイヤレス通信、マルチメディアとセキュリティ機能を提供します。ExpressCard は 2 種類の形状をサポートしています。

- ExpressCard/34 (34 mm 幅)
- ExpressCard/54 (34 mm コネクタ付属の L 字型で 54 mm 幅)

34 mm カードは 34 mm と 54 mm の両方のカードスロットに適用しています。54 mm カードは、54 mm カードスロットのみに適用します。

サポートされる ExpressCard の情報に関しては、161 ページの「仕様」を参照してください。

 **メモ** : ExpressCard は起動可能なデバイスではありません。



1 Express Card/34

2 ExpressCard/54

ExpressCard のダミーカード

ダミーカードは、埃や他の異物から未使用のスロットを保護します。ダミーカードは、埃や他の異物から未使用のスロットを保護します。他のコンピュータのダミーカードは、お使いのコンピュータとサイズが合わないことがありますので、スロットに ExpressCard を取り付けない時のためにダミーカードを保管しておきます。

ダミーカードを取り外すには、69 ページの「ExpressCard またはダミーカードの取り外し」を参照してください。

ExpressCard の取り付け

コンピュータの実行中に ExpressCard をコンピュータに取り付けることができます。コンピュータは自動的にカードを検出します。

通常、ExpressCard は、カード上面にスロットへの挿入方向を示す矢印や三角形などが描かれているか、ラベルが付いています。カードは一方向にしか挿入できないように設計されています。カードの挿入方向がわからない場合は、カードに付属のマニュアルを参照してください。

⚠ 警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。
ExpressCard を取り付けるには、以下の手順を実行します。

- 1 カードの表を上にして持ちます。ラッチを「中に入れた」位置にしてからカードを挿入する必要がある場合があります。
- 2 PC カードコネクタにカードが完全に収まるまで、カードをスロットにスライドします。

カードがきちんと入らないときは、無理にカードを押し込まないでください。カードの向きが合っているかを確認して再度試してみてください。



1 ExpressCard

コンピュータは ExpressCard を認識して、自動的に適切なデバイスドライバをロードします。設定プログラムで製造元のドライバをロードするよう表示されたら、ExpressCard 付属のフロッピーディスクまたは CD を使用します。

ExpressCard またはダミーカードの取り外し

⚠ 警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

➡ 注意：ExpressCard 設定ユーティリティを使用して（タスクバーの  アイコンをクリック）カードを選択し、その動作を停止してコンピュータからカードを取り外します。設定ユーティリティでカードの動作を停止しないでカードを取り外すと、データを失う恐れがあります。

リリースラッチを押してカードまたはダミーカードを取り外します。ラッチによっては、ラッチを 2 回押す必要があります。1 回目でラッチが外れ、2 回目でカードが出てきます。

ExpressCard がスロットに取り付けられていないとき、ダミーカードを取っておきます。ダミーカードは、埃や他の異物から未使用のスロットを保護します。



1 リリースラッチ

2 ExpressCard

メディアメモリカード

3-in-1 メディアメモリカードリーダーを使用すると、メディアメモリカードに保存されたデジタル写真、音楽、およびビデオを素早く手軽に表示したり、共有することができます。



メモ: メディアメモリカードは起動可能なデバイスではありません。

3-in-1 メディアメモリカードリーダーは、SD カード、SDIO および MultiMediaCard (MMC) メディアメモリカードを読み取ります。

メディアメモリカードの取り付け

コンピュータは自動的にカードを検出します。コンピュータは自動的にカードを検出します。

メディアメモリカードは通常、カード上面にスロットへの挿入方向を示す記号（三角形や矢印など）またはラベルが描かれています。カードは一方向にしか挿入できないように設計されています。カードの挿入方向がわからない場合は、カードに付属のマニュアルを参照してください。

⚠ 警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。メディアメモリカードを取り付けるには、次の手順を実行します。

- 1 カードの表を上にして持ちます。
- 2 PC カードコネクタにカードが完全に収まるまで、カードをスロットにスライドします。

カードがきちんと入らないときは、無理にカードを押し込まないでください。カードの向きが合っているかを確認して再度試してみてください。



- 1 メディアメモリカードスロット 2 メディアメモリカード

コンピュータは、メディアメモリカードを認識し、適切なデバイスドライバを自動的にロードします。設定プログラムで製造元のドライバをロードするよう表示されたら、該当する場合は、メディアメモリカードに付属の CD を使用します。

メディアメモリカードの取り外し

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

 **注意**：メディアメモリカード設定ユーティリティを使用して（タスクバーの  アイコンをクリック）カードを選択し、その動作を停止してコンピュータからカードを取り外します。設定ユーティリティでカードの動作を停止しないでカードを取り外すと、データを失う恐れがあります。

カードを押し込み、カードリーダーからカードの一部が出てきたら、カードを取り出します。

ネットワークのセットアップと使い方

ネットワークまたはブロードバンドモデムへの物理的な接続

コンピュータネットワークを設定すると、お使いのコンピュータをインターネット、他のコンピュータあるいはネットワークへ接続できます。例えば、家庭または小規模オフィスで設定されたネットワークを通して共有プリンタへのプリンタ出力、他のコンピュータのドライブやファイルへのアクセス、他のネットワークの検索、またはインターネットへのアクセスなどができます。ネットワークケーブルまたはブロードバンドモデムケーブルを使用して、ローカルエリアネットワーク（LAN）またはワイヤレス LAN（ワイヤレス LAN）を設定することができます。

Microsoft® Windows® XP および Microsoft Windows Vista® オペレーティングシステムでは、コンピュータをネットワークに接続する手順を示すウィザードが用意されています。

ネットワークまたはブロードバンドモデムケーブルの接続

ワイヤレスではないコンピュータをネットワークに接続する場合は、コンピュータにネットワークアダプタを取り付け、これにネットワークケーブルを接続する必要があります。

ネットワークケーブルを接続するには次の手順を実行します。

- 1 ネットワークケーブルをコンピュータ背面のネットワークアダプタコネクタに接続します。
-  **メモ:** ケーブルコネクタをカチッと所定の位置に収まるまで差し込みます。次に、ケーブルを軽く引いて、ケーブルがしっかり取り付けられていることを確認します。
- 2 ネットワークケーブルのもう一方の端を、ネットワーク接続デバイスまたは壁のネットワークコネクタに接続します。
-  **注意:** ネットワークケーブルを電話ジャックに接続しないでください。



Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムでのネットワークの設定

- 1 スタート → すべてのプログラム → アクセサリ → 通信 → ネットワークセットアップウィザード → 次へ → ネットワーク作成のチェックリスト とクリックします。
 **メモ**：インターネットに直接接続していると表示された接続方法を選択すると、Windows XP Service Pack 2 (SP2) で提供されている内蔵ファイアウォールを使用することができます。
- 2 チェックリストを完了します。
- 3 ネットワークセットアップウィザードに戻り、ウィザードの指示に従います。

Microsoft Windows Vista® オペレーティングシステムでのネットワークの設定

- 1 Windows Vista スタートボタン  → **Connect To** (接続) → **Set up a connection or network** (接続またはネットワークのセットアップ) とクリックします。
- 2 **Choose a connection option** (接続オプションの選択) でオプションを選択します。
- 3 **Next** (次へ) をクリックし、ウィザードの指示に従います。

ワイヤレス LAN

ワイヤレス LAN は、各コンピュータに接続するネットワークケーブルを使用するのではなく、電波を介して互いに通信する一連の相互接続コンピュータです。ワイヤレス LAN では、アクセスポイントまたはワイヤレスルーターと呼ばれる無線通信デバイスがネットワークコンピュータ間を接続し、ネットワークへのアクセスを提供します。アクセスポイントまたはワイヤレスルーターとコンピュータ内のワイヤレスネットワークカードは、電波を介して各自のアンテナからデータをブロードキャストして通信します。

ワイヤレス LAN 接続の確立に必要なもの

ワイヤレス LAN をセットアップするには、次のものがが必要です。

- 高速（ブロードバンド）インターネットアクセス（ケーブルまたは DSL など）
- 接続済みで作動中のブロードバンドモデム
- ワイヤレスルーターまたはアクセスポイント
- ワイヤレスネットワークカード（ワイヤレス LAN に接続する各コンピュータに必要）
- ネットワーク（RJ-45）コネクタのあるネットワークケーブル

お使いのワイヤレスネットワークカードの確認

コンピュータの構成は、コンピュータ購入時の選択に応じて異なります。お使いのコンピュータにワイヤレスネットワークカードがあるかどうかを確認し、カードのタイプを調べるには、次のいずれかを使用します。

- **スタート** ボタンと **接続** オプション
- お使いのコンピュータの注文確認書

スタートボタンと接続オプション

Microsoft Windows XP、**スタート** → **接続** → **すべての接続の表示** とクリックします。



メモ：お使いのコンピュータが **クラシックスタート** メニューオプションに設定されている場合、**スタート** → **設定** → **ネットワーク接続** とクリックすると、ネットワーク接続が表示されます。

Microsoft Windows Vista では、**Windows Vista** スタートボタン  → **Connect To**（接続）→ **View network computers and devices**（ネットワークコンピュータとデバイスの表示）をクリックします。

ワイヤレスネットワーク接続が **LAN** または **高速インターネット** に表示されない場合は、お使いのコンピュータにワイヤレスネットワークカードがない可能性があります。

ワイヤレスネットワーク接続が表示されていれば、ワイヤレスネットワークカードが取り付けられています。ワイヤレスネットワークカードの詳細を表示するには、次の手順を実行します。

- 1 **Wireless Network Connection** (ワイヤレスネットワーク接続) を右クリックします。
- 2 **Properties** (プロパティ) をクリックします。

Wireless Network Connection Properties (ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ) ウィンドウが表示されます。ワイヤレスネットワークカードの名前とモデル番号が **General** (一般) タブに表示されます。



メモ : **Wireless Network Connection** (ワイヤレスネットワーク接続) が表示されない場合は、お使いのコンピュータにワイヤレスネットワークカードがない可能性があります。

コンピュータの注文確認書

コンピュータを注文したときに受け取られた注文確認書には、コンピュータに付属のハードウェアとソフトウェアが記載されています。

ワイヤレスルーターとブロードバンドモデムを使用した新しいワイヤレス LAN のセットアップ

- 1 インターネットサービスプロバイダ (ISP) に連絡して、お使いのブロードバンドモデムの接続要件に関する情報を入手します。
- 2 ワイヤレスインターネット接続をセットアップする前に、ブロードバンドモデムを経由して有線でインターネットにアクセスできる状態にあることを確認してください (73 ページの「ネットワークまたはブロードバンドモデムケーブルの接続」を参照)。
- 3 お使いのワイヤレスルーターに必要ないずれかのソフトウェアをインストールします。お使いのワイヤレスルーターには、インストール用の CD が付属している場合があります。インストール CD には、通常、インストールとトラブルシューティングに関する情報が含まれています。ルーターの製造元の指示に従って、必要なソフトウェアをインストールします。
- 4 **Windows XP スタート** メニューから、または **Windows Vista スタート** ボタン  メニューから、お使いのコンピュータと周辺にあるワイヤレスが有効なその他すべてのコンピュータをシャットダウンします。
- 5 ブロードバンドモデムの電源ケーブルをコンセントから外します。
- 6 ネットワークケーブルをコンピュータとモデムから外します。
- 7 AC アダプターケーブルをワイヤレスルーターから外し、ルーターに接続された電源がないことを確認します。



メモ : ブロードバンドモデムを外した後、5 分以上待ってから、ネットワークのセットアップを続行します。

- 8 ネットワークケーブルを電源の入っていないブロードバンドモデムのネットワーク (RJ-45) コネクタに接続します。
- 9 ネットワークケーブルの他の端を電源の入っていないワイヤレスルータのインターネットネットワーク (RJ-45) コネクタに接続します。
- 10 モデムとワイヤレスルータを接続しているネットワークケーブル以外に、ブロードバンドモデムにネットワークケーブルまたは USB ケーブルが接続されていないことを確認します。



メモ: 接続エラーを防ぐため、以下に記載する順番でワイヤレス機器を再起動させます。

- 11 ブロードバンドモデムにのみ電源を入れて、ブロードバンドモデムが安定するまで 2 分以上待ちます。2 分経ったら、手順 12 に進みます。
- 12 ワイヤレスルータの電源を入れ、ワイヤレスルータが安定するまで 2 分以上待ちます。2 分経ったら、手順 13 に進みます。
- 13 コンピュータを起動し、起動プロセスが完了するまで待ちます。
- 14 ワイヤレスルータに付属のマニュアルを参照し、次の操作を実行して、ワイヤレスルータをセットアップします。
 - コンピュータとワイヤレスルータ間の通信を確立します。
 - ワイヤレスルータをブロードバンドルータと通信できるように設定します。
 - ワイヤレスルータのブロードキャスト名を検索します。ルータのブロードキャスト名の専門用語は、**Service Set Identifier (SSID)** またはネットワーク名です。
- 15 必要に応じて、ワイヤレスネットワークカードを設定し、ワイヤレスネットワークに接続します (77 ページの「ワイヤレス LAN への接続」を参照)。

ワイヤレス LAN への接続



メモ: ワイヤレス LAN に接続する前に、必ず 75 ページの「ワイヤレス LAN」の手順に従ってください。



メモ: 次のネットワークへの接続手順は、Bluetooth® ワイヤレステクノロジー内蔵カードまたは携帯製品には適用されません。

本項では、ワイヤレステクノロジーによるネットワークへの接続に関する一般的な手順について説明します。特定のネットワーク名や設定の詳細は異なります。お使いのコンピュータをワイヤレス LAN へ接続するための準備の詳細に関しては、75 ページの「ワイヤレス LAN」を参照してください。

ワイヤレスネットワークカードには、ネットワークに接続するために特定のソフトウェアとドライバが必要です。ソフトウェアはすでにインストールされています。



メモ：ソフトウェアが削除されているか破損している場合は、ワイヤレスネットワークカードのユーザーマニュアルの手順に従ってください。お使いのコンピュータに取り付けられているワイヤレスネットワークカードのタイプを確認してから、Dell™ サポートサイト support.jp.dell.com でカード名を検索します。お使いのコンピュータに取り付けられているワイヤレスネットワークカードのタイプに関しては、75 ページの「お使いのワイヤレスネットワークカードの確認」を参照してください。

ワイヤレスネットワークデバイスマネージャの確認

お使いのコンピュータにインストールされているソフトウェアによって、ネットワークデバイスを管理するワイヤレス設定ユーティリティが異なる場合があります。

- お使いのワイヤレスネットワークカードのクライアントユーティリティ
- Windows XP または Windows Vista オペレーティングシステム

Windows XP で、ワイヤレスネットワークカードを管理するワイヤレス設定ユーティリティを確認するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** → **設定** → **コントロールパネル** → **ネットワーク接続** とクリックします。
- 2 **ワイヤレスネットワーク接続** アイコンを右クリックして、**利用できるワイヤレスネットワークの表示** をクリックします。

ワイヤレスネットワークの選択 ウィンドウで **Windows** ではこの接続を設定できません というメッセージが表示されたら、ワイヤレスネットワークカードのクライアントユーティリティがワイヤレスネットワークカードを管理しています。

ワイヤレスネットワークの選択 ウィンドウで **以下のリストのアイテムをクリックして、範囲内にあるワイヤレスネットワークに接続するか、詳細情報を取得します** というメッセージが表示されたら、Windows XP オペレーティングシステムがワイヤレスネットワークカードを管理しています。

Windows Vista で、ワイヤレスネットワークカードを管理するワイヤレス設定ユーティリティを確認するには、次の手順を実行します。

- 1  → **Connect To** (接続) → **Manage wireless networks** (ワイヤレスネットワークの管理) とクリックします。
- 2 プロファイルをダブルクリックしてワイヤレスネットワーク画面を開きます。

お使いのコンピュータにインストールされているワイヤレス設定ユーティリティの詳細情報に関しては、Windows ヘルプとサポートセンター (14 ページの「Windows ヘルプとサポートセンター」を参照) でお使いのワイヤレスネットワークのマニュアルを参照してください。

ワイヤレス LAN への接続の完了

コンピュータの電源投入時にその地域で（コンピュータに設定のない）ネットワークが検出されると、タスクトレイ（Windows デスクトップの右下隅）にあるネットワークアイコン付近にポップアップが表示されます。

画面に表示されるユーティリティのプロンプトの手順に従ってください。

選択したワイヤレスネットワークをコンピュータに設定すると、もう一度ポップアップが表示され、コンピュータがそのネットワークに接続されたことが通知されます。

これ以降は、選択したワイヤレスネットワークの範囲内でコンピュータにログオンすると、同じポップアップが表示され、ワイヤレスネットワークで接続されていることが通知されます。



メモ: セキュアネットワークを選択した場合、プロンプトが表示されたら WEP キーまたは WPA キーを入力する必要があります。ネットワークセキュリティ設定は、ご利用のネットワーク固有のものです。デルではこの情報をお知らせすることができません。



メモ: コンピュータがネットワークに接続するのに 1 分ほどかかる場合があります。

ワイヤレスネットワークカードの有効化および無効化



メモ: ワイヤレスネットワークに接続できない場合は、ワイヤレス LAN を設定するためのすべてのコンポーネント（75 ページの「ワイヤレス LAN 接続の確立に必要なもの」を参照）が揃っていることを確認し、<Fn><F2> を押してお使いのワイヤレスネットワークカードが有効であることを確認します。

<Fn><F2> キーの組み合わせを押すと、お使いのコンピュータのワイヤレスネットワーク機能をオンまたはオフにすることができます。

Dell QuickSet を使用したワイヤレスネットワークカードのステータスのモニタ

ワイヤレスアクティビティインジケータを使用すると、お使いのコンピュータのワイヤレスデバイスのステータスを簡単にモニタできます。ワイヤレスアクティビティインジケータをオンあるいはオフにするには、タスクバーの QuickSet アイコンをクリックして、**Hotkey Popups**（ホットキーポップアップ）を選択します。**Wireless Activity Indicator Off**（ワイヤレスアクティビティインジケータオフ）が選択されていない場合は、インジケータがオンになっています。**Wireless Activity Indicator Off**（ワイヤレスアクティビティインジケータオフ）が選択されている場合、インジケータはオフです。

ワイヤレスアクティビティインジケータには、お使いのコンピュータに搭載のワイヤレスデバイスが有効または無効のどちらの状態になっているかが表示されます。ワイヤレスネットワーク機能をオンまたはオフにすると、ワイヤレスアクティビティインジケータが変化してステータスを表示します。

Dell QuickSet ワイヤレスアクティビティインジケータの詳細に関しては、タスクバーの QuickSet アイコンを右クリックして、次に **ヘルプ** を選択します。

モバイルブロードバンド/ワイヤレスワイドエリアネットワーク (WWAN)

モバイルブロードバンドネットワークは、ワイヤレスワイドエリアネットワーク (WWAN) と呼ばれる高速デジタルセルラーネットワークで、一般に 100 から 1000 フィートまでの距離をカバーするワイヤレス LAN (ローカルエリアネットワーク) よりもはるかに広い地理的範囲にインターネットへのアクセスを提供します。お使いのコンピュータは、セルラーデータのサービスエリア内にある限り、モバイルブロードバンドネットワークへのアクセスを維持できます。高速デジタルセルラーネットワークのサービスエリアについては、ご利用のサービスプロバイダにお問い合わせください。

 **メモ:** ある場所で、お使いの携帯電話から電話をかけることができても、その場所が必ずしもセルラーデータのサービスエリアであるとは限りません。

モバイルブロードバンドネットワーク接続の設定に必要なもの

 **メモ:** お使いのコンピュータによって、モバイルブロードバンド ExpressCard またはミニカードのいずれかを使用してモバイルブロードバンドネットワーク接続を設定できます。ただし、両方のカードを同時には使用できません。

モバイルブロードバンドネットワーク接続をセットアップするには、次のものがが必要です。

- モバイルブロードバンド ExpressCard またはミニカード (お使いのコンピュータの設定によって異なります)

 **メモ:** ExpressCard の使用手順に関しては、67 ページの「カードの使い方」を参照してください。

- 有効なモバイルブロードバンド ExpressCard またはご利用のサービスプロバイダで有効になっている SIM カード
- Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティ (コンピュータの購入時にカードを購入された場合は、すでにインストール済みです。コンピュータとは別に購入された場合は、カードに付属する CD に収録されています)。このユーティリティが破損したかコンピュータから削除された場合は、Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティのユーザーズガイドで手順を参照してください。Windows ヘルプとサポートセンター (14 ページの「Windows ヘルプとサポートセンター」を参照) によりユーザーズガイドが入手できます。または、コンピュータとは別に購入された場合は、カードに付属する CD によりユーザーズガイドが入手できます。

Dell モバイルブロードバンドカードの確認

コンピュータの構成は、コンピュータ購入時の選択に応じて異なります。お使いのコンピュータの構成を確認するには、次のいずれかを参照してください。

- お使いのコンピュータの注文確認書
- Microsoft Windows ヘルプとサポートセンター

Windows ヘルプとサポートセンターでモバイルブロードバンドカードを確認するには、次の手順を実行してください。

- 1 **Start** (スタート) → **Help and Support** (ヘルプとサポート) → **Use Tools to view your computer information and diagnose problems** (ツールを使ってコンピュータ情報を表示し問題を診断する) とクリックします。**Tools** (ツール) で、**My Computer Information** (マイコンピュータの情報) → **Find information about the hardware installed on this computer** (コンピュータにインストールされているハードウェアに関する情報を検索する) をクリックします。

My Computer Information - Hardware (マイコンピュータの情報 - ハードウェア) 画面に、お使いのコンピュータに取り付けられたモバイルブロードバンドカードのタイプとその他のハードウェアコンポーネントが表示されます。

 **メモ:** モバイルブロードバンドカードは **Modems** (モデム) の下に表示されます。

Microsoft® Windows® ファイアウォール

Windows ファイアウォールでは、インターネット接続時に、許可されていないユーザーのコンピュータへのアクセスに対する基本的な保護が提供されます。ネットワークセットアップウィザードを実行すると、自動的に Windows ファイアウォールが有効になります。

ネットワーク接続に Windows ファイアウォールが有効になると、コントロールパネルの **ネットワーク接続** に赤い背景のあるファイアウォールアイコンが表示されます。

 **メモ:** Windows ファイアウォールを有効にしても、ウイルス対策ソフトウェアは必要です。

詳細に関しては、**スタート** → **コントロールパネル** → **セキュリティ** → **Windows ファイアウォール** をクリックするか、14 ページの「Windows ヘルプとサポートセンター」を参照してください。

コンピュータのセキュリティ保護

セキュリティケーブルロック

 **メモ:** お使いのコンピュータには、セキュリティケーブルロックは付属していません。

セキュリティケーブルロックは、市販の盗難防止用品です。ロックを使用するには、お使いのコンピュータのセキュリティケーブルスロットに取り付けて使用します。詳細に関しては、盗難防止用品に付属のマニュアルを参照してください。

 **注意:** 盗難防止デバイスを購入する前に、お使いのコンピュータのセキュリティケーブルスロットに対応するか確認してください。



パスワード

パスワードはコンピュータへの不正なアクセスを防止します。コンピュータを初めてスタートさせた際、プロンプトでプライマリパスワードを割り当てる必要があります。2分以内にパスワードを入力しないと、自動的に直前の状態に戻ります。

パスワードの使用に際して、次のガイドラインに注意してください。

- 覚えやすく推測されにくいパスワードを選びます。例えば、家族やペットの名前をパスワードに使用しないようにします。
- パスワードは覚え書きしないことをお勧めします。覚え書きする場合は、必ずパスワードを安全な場所に保管してください。
- パスワードは他人と共有しないようにします。
- パスワードの入力を他人に見られないようにします。



注意: パスワードは、コンピュータやハードディスクドライブのデータに対して高度なセキュリティ機能を提供します。ただし、この機能だけでは万全ではありません。データのセキュリティをより確実なものにするために、スマートカード、データ暗号化プログラム、暗号化機能の付いた ExpressCard（またはミニカード）などを使って、ユーザー自身が保護設定を追加する必要があります。

パスワードを追加または変更するには、コントロールパネルにある **ユーザーアカウント** にアクセスします。

パスワードを忘れてしまった場合は、デルにお問い合わせください（159 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。その際、使用を許可されていないユーザーによる不正使用を防ぐため、デルのテクニカルサポート担当者はお客様がコンピュータの所有者であるかどうかを確認します。

コンピュータ追跡ソフトウェア

コンピュータ追跡ソフトウェアは、コンピュータを紛失したり盗難に遭った場合に、コンピュータの位置を突き止めることができます。コンピュータ追跡ソフトウェアはオプションです。このソフトウェアはコンピュータを注文する際にご購入いただくか、このソフトウェアのセキュリティ機能に関して、営業担当者にお問い合わせください。



メモ: コンピュータ追跡ソフトウェアは、すべての国で使用できるとは限りません。



メモ: コンピュータ追跡ソフトウェアを備えたコンピュータを紛失したり盗難に遭った場合は、追跡サービスを提供する会社にコンピュータの紛失を届け出てください。

コンピュータを紛失するか盗難に遭った場合

- 警察に、コンピュータの紛失または盗難を届け出ます。コンピュータの説明をする際に、サービスタグをお知らせください。届け出番号などをもらったから控えておきます。できれば、対応した担当者の名前も尋ねておきます。



メモ：コンピュータを紛失した場所または盗難に遭った場所を覚えている場合、その地域の警察に届け出ます。覚えていない場合は、現在住んでいる地域の警察に届け出てください。

- コンピュータが会社所有の場合は、会社の担当部署へ連絡します。
- デルカスタマーサービスに、コンピュータの紛失を届け出ます。コンピュータのサービスタグ、警察への届け出番号、コンピュータの紛失を届け出た警察の名称、住所、電話番号をお知らせください。できれば、担当者名もお知らせください。

デルのカスタマーサービス担当者は、コンピュータのサービスタグをもとに、コンピュータを紛失または盗難に遭ったコンピュータとして登録します。連絡されたサービスタグを使ってデルテクニカルサポートに連絡した人物がいた場合、そのコンピュータは自動的に紛失または盗難に遭ったものと認識されます。担当者は連絡してきた人物の電話番号と住所の照会を行います。その後、デルは紛失または盗難に遭ったコンピュータについて警察に連絡を取ります。

部品の増設および交換

作業を開始する前に

本章では、コンピュータのコンポーネントの取り付けおよび取り外しの手順について説明します。特に指示がない限り、それぞれの手順では以下の条件を満たしていることを前提とします。

- 87 ページの「コンピュータの電源を切る」と 88 ページの「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順をすでに完了していること。
- Dell™ 『製品情報ガイド』の安全に関する情報をすでに読んでいること。
- コンポーネントを交換するか別途購入している場合、取り外し手順と逆の順番で取り付けができること。

奨励するツール

このドキュメントで説明する操作には、以下のようなツールが必要な場合があります。

- 細めのマイナスドライバ
- プラスドライバ
- 細めのプラスチックスクライブ
- フラッシュ BIOS のアップデート（デルサポートサイト support.jp.dell.com を参照）

コンピュータの電源を切る

➡ 注意：データの損失を避けるため、コンピュータの電源を切る前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

- 1 オペレーティングシステムをシャットダウンします。
 - a 開いているすべてのプログラムやファイルを保存して終了します。スタート ボタンをクリックして、**コンピュータの電源を切る** をクリックします。
 - b **コンピュータの電源を切る** ウィンドウで、**電源を切る** をクリックします。
オペレーティングシステムのシャットダウンプロセスが終了した後に、コンピュータの電源が切れます。
- 2 コンピュータおよび接続されているデバイスの電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンしても、コンピュータおよび接続されているデバイスの電源が自動的に切れない場合は、コンピュータの電源が切れるまで電源ボタンを数秒間押し続けてください。

コンピュータ内部の作業を始める前に

コンピュータの損傷を防ぎ、ご自身の身体の安全を守るために、以下の点にご注意ください。



警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

警告：部品やカードの取り扱いには十分注意してください。カード上の部品や接続部分には触れないでください。カードを持つ際は縁を持つか、金属製の取り付けブラケットの部分を持ってください。プロセッサのようなコンポーネントは、ピンの部分ではなく端を持つようにしてください。



注意：お使いのコンピュータの修理は、資格を持っているサービス技術者のみが行ってください。デルで認められていない修理による損傷は、保証の対象となりません。



注意：ケーブルを外すときは、コネクタまたはストレインリリーフループの部分を持ち、ケーブル自身を引っ張らないでください。ロックタブ付きのコネクタがあるケーブルもあります。このタイプのケーブルを抜く場合、ロックタブを押し入れてからケーブルを抜きます。コネクタを抜く際は、コネクタのピンを曲げないようにまっすぐに引き抜きます。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクタが正しい向きに揃っているか確認します。



注意：コンピュータの損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前に、次の手順を実行します。

- 1 コンピュータのカバーに傷がつかないように、作業台が平らであり、汚れていないことを確認します。
- 2 コンピュータの電源を切ります。87 ページの「コンピュータの電源を切る」を参照してください。



注意：ネットワークケーブルを外すには、まずネットワークケーブルをコンピュータから外し、次に壁のネットワークジャックから外します。

- 3 電話ケーブルとネットワークケーブルをすべてコンピュータから外します。



注意：システム基板への損傷を防ぐため、コンピュータを修理する前にバッテリーをバッテリーベイから取り外してください。



メモ：コンピュータへの損傷を防ぐため、本製品専用のバッテリーのみを使用してください。他の Dell コンピュータ用のバッテリーは使用しないでください。

- 4 コンピュータおよび取り付けられているデバイスをコンセントから外し、コンピュータの底面にあるバッテリーベイリリースラッチをスライドさせたまま、バッテリーをベイから持ち上げます。



1 バッテリーベイリリースラッチ 2 バッテリー

- 5 電源ボタンを押して、システム基板の静電気を除去します。
- 6 ExpressCard スロット (69 ページの「ExpressCard またはダミーカードの取り外し」を参照) および 3-in-1 メディアメモリカードリーダー (71 ページの「メディアメモリカードの取り外し」を参照) に取り付けられているカードを取り外します。
- 7 ディスプレイを閉じ、平らな作業台の上にコンピュータを裏返します。
- 8 ハードディスクドライブを取り外します (90 ページの「ハードディスクドライブ」を参照)。

光学ドライブ

⚠ 警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

- 1 コンピュータの電源を切ります。
- 2 コンピュータを裏返し、デバイス固定ネジを取り外します。
- 3 スクライブを切り込みに挿入して横に押し、ドライブをベイから取り出します。
- 4 ドライブをスライドさせてベイから取り出します。



1 光学ドライブ 2 デバイス固定ネジ 3 切り込み

ハードディスクドライブ

⚠ 警告：ドライブがまだ熱いうちにハードディスクドライブをコンピュータから取り外す場合は、ハードディスクドライブの金属製のハウジングに手を触れないでください。

⚠ 警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

➡ 注意：データの損失を防ぐため、ハードディスクドライブを取り外す前に必ずコンピュータの電源を切ってください（87 ページの「コンピュータの電源を切る」を参照）。コンピュータの電源が入っているとき、スタンバイモードのとき、または休止状態モードのときにハードディスクドライブを取り外さないでください。

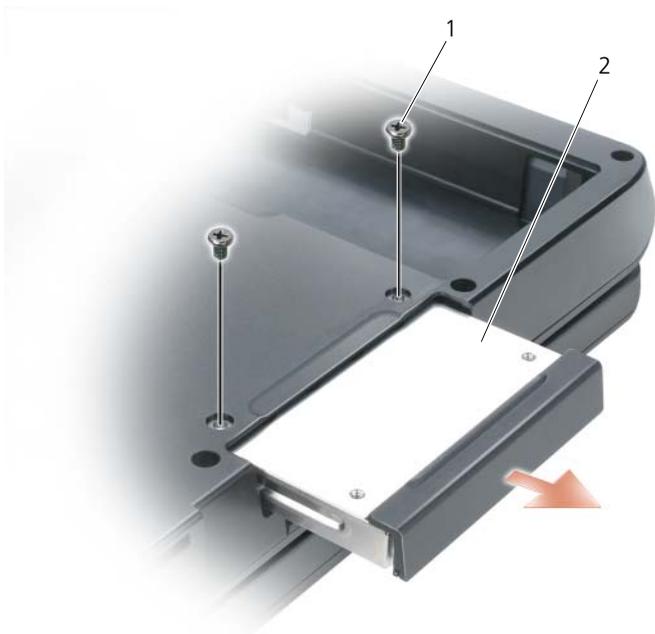
➡ 注意: ハードディスクドライブは大変壊れやすく、わずかにぶつただけでもドライブが損傷を受ける場合があります。

📎 メモ: デルではデル製品以外のハードディスクドライブに対する互換性の保証およびサポートの提供は行っておりません。

📎 メモ: デル製品以外のハードディスクドライブを取り付ける場合は、オペレーティングシステム、ドライバ、およびユーティリティを新しいハードディスクドライブにインストールする必要があります。144 ページの「Microsoft® Windows Vista® オペレーティングシステムの復元」および 140 ページの「Drivers and Utilities の再インストール」を参照してください。

ハードディスクドライブベイのハードディスクドライブを交換するには、次の手順を実行します。

- 1 87 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
- 2 コンピュータを裏返し、ハードディスクドライブのネジを外します。



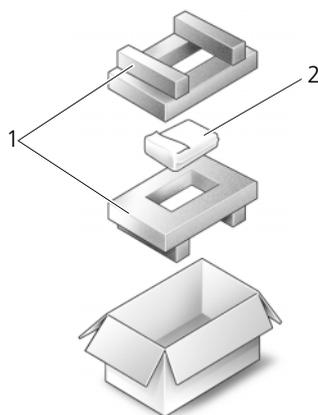
- 1 ハードディスクドライブネジ (2) 2 ハードディスクドライブ

➡ 注意: ハードディスクドライブをコンピュータに取り付けていないときは、保護用静電気防止パッケージに保管します。『製品情報ガイド』の「静電気障害への対処」を参照してください。

- 3 ハードディスクドライブをコンピュータから引き出します。
 - 4 新しいドライブを梱包から取り出します。
ハードディスクドライブを保管するためや配送のために、梱包を保管しておいてください。
- ➡ 注意：**ドライブを所定の位置に挿入するには、均等に力を加えてください。力を加えすぎると、コネクタが損傷する恐れがあります。
- 5 ハードディスクドライブが完全にベイに収まるまでスライドします。
 - 6 ハードディスクドライブネジを取り付け、締めます。
 - 7 オペレーティングシステムをコンピュータにインストールします。144 ページの「Microsoft® Windows Vista® オペレーティングシステムの復元」を参照してください。
 - 8 ドライバおよびユーティリティをコンピュータにインストールします。140 ページの「Drivers and Utilities の再インストール」を参照してください。

ハードディスクドライブをデルに返品する場合

古いハードディスクドライブは、最初にハードディスクドライブが入っていたパッケージまたは同様のエアクッションパッケージに入れてデルに返却してください。正しく梱包しないと、ハードディスクドライブが運搬中に破損する場合があります。



1 エアクッションパッケージ

2 ハードディスクドライブ

メモリ

⚠ 警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。システム基板にメモリモジュールを取り付けると、コンピュータのメモリ容量を増やすことができます。お使いのコンピュータに対応するメモリの情報については、161 ページの「仕様」を参照してください。必ずお使いのコンピュータ用のメモリモジュールのみを取り付けてください。

📎 メモ: デルから購入されたメモリモジュールは、お使いのコンピュータの保証範囲に含まれます。

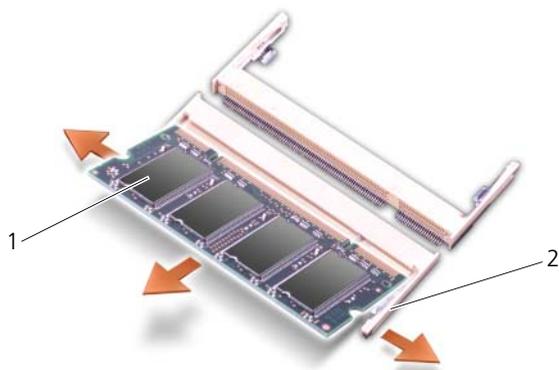
- 1 87 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
- 2 コンピュータを裏返し、メモリモジュールのネジを緩め、メモリモジュールカバーを取り外します。



👉 注意: メモリモジュールコネクタへの損傷を防ぐため、メモリモジュールの固定クリップを広げるためにツールを使用しないでください。

👉 注意: 静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面（コンピュータの背面にあるコネクタなど）に触れたりして、静電気を除去します。

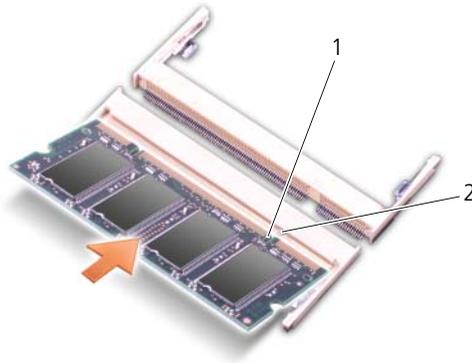
- 3 メモリモジュールを交換する場合は、既存のモジュールを取り外します。
 - a メモリモジュールコネクタの両端にあるメモリモジュール固定クリップを、モジュールが持ち上がるまで指先で慎重に広げます。
 - b モジュールをコネクタから取り外します。



- 1 メモリモジュール 2 メモリモジュール固定クリップ
(各コネクタに 2 個)

メモ：メモリモジュールが正しく取り付けられていない場合、コンピュータは正常に起動しません。この場合、エラーメッセージは表示されません。

- 4 身体の静電気を除去してから、新しいメモリモジュールを取り付けます。
 - a モジュールエッジコネクタの切り込みをコネクタスロットのタブに合わせます。
 - b モジュールを 45 度の角度でしっかりとスロットに挿入し、メモリモジュールがカチッと所定の位置に収まるまで押し下げます。カチッという感触が得られない場合、モジュールを取り外し、もう一度取り付けます。



1 切り込み 2 タブ

➡ **注意:** メモリモジュールカバーが閉まりにくい場合は、モジュールを取り外してもう一度取り付けます。無理にカバーを閉じると、コンピュータを破損する恐れがあります。

- 5 メモリモジュールカバーを取り付けます。
- 6 バッテリーをバッテリーベイに取り付けるか、または AC アダプタをコンピュータおよびコンセントに接続します。
- 7 ハードディスクドライブを取り付けなおします。90 ページの「ハードディスクドライブ」を参照してください。
- 8 コンピュータの電源を入れます。

コンピュータは起動時に、増設されたメモリを検出してシステム構成情報を自動的に更新します。

コンピュータに取り付けられたメモリの容量を確認します。

- **Microsoft® Windows® XP** オペレーティングシステムでは、デスクトップ上でマイコンピュータアイコンを右クリックします。**プロパティ** → **全般** をクリックします。
- **Microsoft Windows Vista®** オペレーティングシステムでは、Windows Vista スタートボタン  をクリックし、**Computer** (コンピュータ) → **Properties** (プロパティ) を右クリックします。

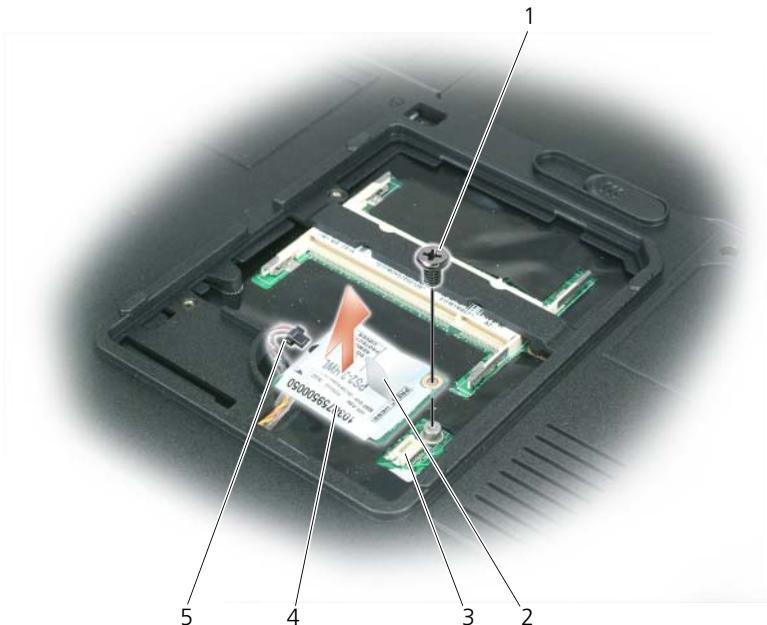
モデム

⚠ 警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。コンピュータの注文時にオプションのモデムも注文された場合、モデムは既に取り付けられています。

- 1 87 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
- 2 コンピュータを裏返し、モデムカバーのネジを緩めてモデムカバーを取り外します。



- 3 既存のモデムを取り外します。
 - a モデムネジを外します。
 - b 取り付けられているプルタブをまっすぐ持ち上げ、モデムをシステム基板上のコネクタから引き上げて、モデムケーブルを取り外します。



- | | | | | | |
|---|-------|---|---------|---|---------------------|
| 1 | モデムネジ | 2 | モデムプルタブ | 3 | システム基板上の モデムコネクタ |
| 4 | モデム | 5 | モデムケーブル | | |

4 交換用のモデムを取り付けます。

a モデムケーブルをモデムに接続します。

➡ **注意:** コネクタは、正しく取り付けられるよう設計されています。抵抗を感じる場合は、コネクタを確認し、カードを再配置してください。

b モデムとネジ穴を合わせて、モデムをシステム基板のコネクタに押し込みます。

c モデムをシステム基板に固定するネジを取り付けます。

5 モデムカバーを取り付けます。

ヒンジカバー

⚠ 警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

➡ 注意：静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面（コンピュータの背面にあるコネクタなど）に触れたりして、静電気を除去します。

➡ 注意：システム基板への損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前にバッテリーをバッテリーベイから取り外してください。

1 87 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。

2 ヒンジカバーを取り外します。

a ディ스플레이を完全に（180 度）開いて、作業面に対して平らになるようにします。

➡ 注意：ヒンジカバーへの損傷を防ぐため、カバーの両側を同時に持ち上げないでください。

b スクリップをくぼみに挿入し、ヒンジカバーの右側を持ち上げます。

c ヒンジカバーを緩めて持ち上げ、右から左に動かして取り外します。

📎 メモ：ヒンジカバーを取り付けるときには、まず左側を挿入して次に左から右に押し、カバーを所定の位置にカチッという感触が持てるまではめ込みます。



1 ヒンジカバー

2 スクリップ

キーボード



警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



注意：静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面（コンピュータの背面にあるコネクタなど）に触れたりして、静電気を除去します。



注意：システム基板への損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前にバッテリーをバッテリーベイから取り外してください。

- 1 87 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
- 2 ディスプレイを開きます。
- 3 ヒンジカバーを取り外します。98 ページの「ヒンジカバー」を参照してください。
- 4 キーボードを取り外します。

a 2 本のキーボードネジを取り外します。



注意：キーボード上のキーキャップは壊れたり、外れたりしやすく、また取り付けに時間がかかります。キーボードの取り外しや取り扱いには注意してください。

- b キーボードをコンピュータ背面に向かってわずかにスライドさせてから、キーボードを持ち上げて少し前にずらし、キーボードコネクタにアクセスできるようにします。
- c キーボードケーブルをシステム基板のキーボードコネクタから外すには、キーボードコネクタのプラスチックバーをコンピュータの正面方向に回します。



- | | | | | | |
|---|-------------|---|------------------------|---|----|
| 1 | キーボードネジ (2) | 2 | キーボード | 3 | タブ |
| 4 | キーボードケーブル | 5 | キーボードコネクタの プラスチックバー | | |

➡ 注意: キーボードを取り付ける際にパームレストを傷つけないように、2本のネジを取り付ける前に、キーボードの前側にあるタブをパームレストにはめ、上端付近の右端を押して、キーボードを所定の位置にはめ込みます。

ワイヤレスミニカード

コンピュータと一緒にミニカードを注文された場合、カードはすでに取り付けられています。

⚠ 警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

➡ 注意: システム基板への損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前にバッテリーをバッテリーベイから取り外してください。

- 1 87 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
- 2 ヒンジカバーを取り外します。98 ページの「ヒンジカバー」を参照してください。
- 3 キーボードを取り外します。99 ページの「キーボード」を参照してください。

- 4 ミニカードがまだ取り付けられていない場合、手順 5 に進みます。ミニカードを交換する場合、既存のカードを取り外します。
- a 2本のアンテナケーブルをミニカードから外します。



1 ミニカード

2 アンテナケーブルコネクタ (2)

- b カードがわずかに持ち上がるまで金属製固定タブをコンピュータの背面方向に押し、ミニカードを取り出します。
- c ミニカードを持ち上げてシステム基板コネクタから外します。



- 1 金属製の固定タブ 2 ミニカード 3 金属製の固定タブ

➡ 注意: コネクタは、正しく取り付けられるよう設計されています。抵抗を感じる場合は、カードとシステム基板のコネクタを確認し、カードを再配置してください。

5 交換用のミニカードを取り付けます。

- a** ミニカードのコネクタをシステム基板コネクタに **45 度**の角度で挿入し、カードが所定の位置にカチッと収まるまでミニカードのもう一方の端を固定タブに押し込みます。



➡ **注意:** ミニカードへの損傷を避けるため、ケーブルをカードの下に置かないください。

- b 2本のアンテナケーブルをミニカードに接続します（黒いケーブルは「aux」と表示されたコネクタに、白いケーブルは「main」と表示されたコネクタに接続します）。



- 1 システム基板コネクタ 2 アンテナケーブル (2) 3 アンテナケーブルコネクタ (2)

コイン型電池

⚠ 警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

➡ 注意：静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面（コンピュータの背面にあるコネクタなど）に触れたりして、静電気を除去します。

➡ 注意：システム基板への損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前にバッテリーをバッテリーベイから取り外してください。

- 1 87 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
- 2 ヒンジカバーを取り外します。98 ページの「ヒンジカバー」を参照してください。
- 3 キーボードを取り外します。99 ページの「キーボード」を参照してください。
- 4 プラスチックスクライブをコイン型電池実装部の側面にあるガイドに差し込み、バッテリーを押し上げます。



バッテリーを取り付けるには、クリップの下にプラス側（プラス【+】と表示されています）を上にして、30度の角度で差し込んでから押し下げて入れます。

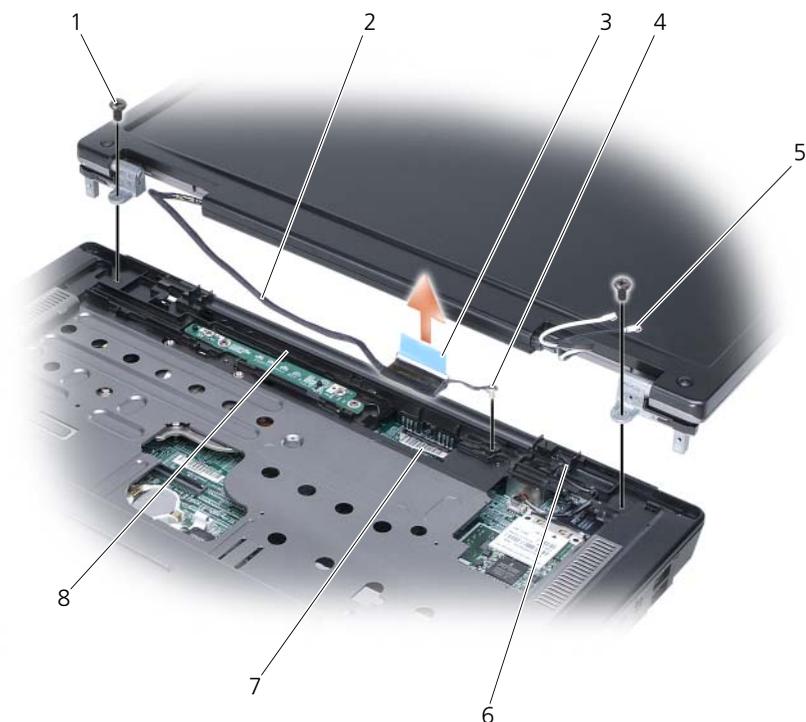
ディスプレイ

⚠ 警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

➡ 注意：静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面（コンピュータの背面にあるコネクタなど）に触れたりして、静電気を除去します。

➡ 注意：システム基板への損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前にバッテリーをバッテリーベイから取り外してください。

- 1 87 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
- 2 ヒンジカバーを取り外します。98 ページの「ヒンジカバー」を参照してください。
- 3 ディスプレイを固定している 6 本のネジ（上に 2 本、下に 2 本、背面に 2 本）を取り外します。
- 4 アンテナケーブルをミニカードから外します。
- 5 拘束アースワイヤネジを緩めます。
- 6 プルタブを使用してディスプレイケーブルを外します。
- 7 ディスプレイケーブルをディスプレイケーブルチャンネルから外します。



- | | | | | | |
|---|------------------------|---|---------------------|---|--------------------|
| 1 | ネジ (2) | 2 | ディスプレイケーブル | 3 | ディスプレイ ケーブルプルタブ |
| 4 | 拘束アースワイヤネジ | 5 | アンテナケーブル (2) | 6 | スタンバイスイッチ |
| 7 | システム基板上のディスプレイケーブルコネクタ | 8 | ディスプレイケーブル チャンネル | | |

8 ディスプレイをコンピュータから持ち上げて外します。

➡ 注意: スタンバイスイッチは壊れやすく、破損しやすいので、ディスプレイの取り外しや取り付けの際に、スイッチを倒さないようにしてください。

ディスプレイを取り付ける場合は、ディスプレイケーブルがディスプレイケーブルチャンネルの中に平らに収まっていて、タブの下にきちんと収納されていることを確認してください。

また、アンテナケーブルがよじれずに、アンテナケーブルクリップに平らに収まっていることを確認してください。

トラブルシューティング

Dell テクニカル Update Service

デルテクニカルアップデートサービスは、お使いのコンピュータに関するソフトウェアおよびハードウェアのアップデートを E-メールにて事前に通知するサービスです。このサービスは無償で提供され、内容、フォーマット、および通知を受け取る頻度をカスタマイズすることができます。

Dell テクニカル Update Service に登録するには、support.dell.com/technicalupdate（英語）にアクセスしてください。

Dell Diagnostics（診断）プログラム

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

Dell Diagnostics（診断）プログラムを使用する場合

コンピュータに問題が発生した場合、デルテクニカルサポートにお問い合わせになる前に、127 ページの「フリーズおよびソフトウェアの問題」にあるチェック事項を実行してから、Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行してください。

作業を始める前に、これらの手順を印刷しておくことをお勧めします。

 **メモ**：Dell Diagnostics（診断）プログラムは、Dell コンピュータ上でのみ動作します。

セットアップユーティリティを起動し、コンピュータの設定情報を閲覧して、テストするデバイスがセットアップユーティリティに表示され、アクティブであることを確認します（167 ページの「セットアップユーティリティの使い方」を参照）。

Dell Diagnostics（診断）プログラム（診断）プログラムをハードディスクドライブまたは『Drivers and Utilities』メディアから起動します（11 ページの「Drivers and Utilities メディア」を参照）。

Dell Diagnostics (診断) プログラムをハードディスクドライブから起動する場合

Dell Diagnostics (診断) プログラムは、ハードディスクドライブの診断ユーティリティ用隠しパーティションに格納されています。

 **メモ:** お使いのコンピュータが画面を表示できない場合、159 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

- 1 コンピュータが、正確に動作することが確認されているコンセントに接続されていることを確認します。
- 2 コンピュータの電源を入れます (または再起動します)。
- 3 Dell Diagnostics (診断) プログラムは、以下のいずれかの方法で起動します。

 **メモ:** キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータをシャットダウンして操作をやりなおします。

- DELL™ のロゴが表示されたらすぐに <F12> を押します。起動メニューから **Diagnostics (診断)** を選択し、<Enter> を押します。

 **メモ:** 次のオプションを行う前に、完全に電源を切ります。

- コンピュータが起動する間、<Fn> キーを押し続けます。

 **メモ:** 診断ユーティリティパーティションが見つからないことを知らせるメッセージが表示された場合は、『Drivers and Utilities』メディアから Dell Diagnostics (診断) プログラムを実行します。

コンピュータは起動前システムアセスメント (PSA) を実行し、お使いのシステム基板、キーボード、モニター、メモリ、およびハードディスクドライブの初期テストが続けて行われます。

- アセスメントの間、画面に表示される質問にすべて答えてください。
- 不具合が検知された場合、コンピュータは停止し、電子音を鳴らします。システムの評価を止めてオペレーティングシステムを再起動するには、<n> を押します。次のテストを続けるには <y> を押します。障害のあるコンポーネントを再テストするには、<r> を押します。
- 起動前システムアセスメントの間に不具合が検知された場合、エラーコードを書き留め、デルにお問い合わせください (159 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照)。

起動前システムアセスメントが無事に終了した場合、Booting Dell Diagnostic Utility Partition. Press any key to continue. (Dell Diagnostics (診断) ユティリティパーティションの起動中。続けるには任意のキーを押します。) というメッセージが表示されます。

- 4 いずれかのキーを押すと、ハードディスクドライブ上の診断プログラムユーティリティパーティションから Dell Diagnostics (診断) プログラムが起動します。

Dell Diagnostics（診断）プログラムを Drivers and Utilities Media から起動する場合

- 1 『Drivers and Utilities』メディアを挿入します。
- 2 コンピュータをシャットダウンして、再起動します。
DELL のロゴが表示されたらすぐに <F12> を押します。
 -  **メモ**：キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータをシャットダウンして操作をやりなおします。
 -  **メモ**：次の手順は、起動順序を 1 回だけ変更します。次回の起動時には、コンピュータはセットアップユーティリティで指定したデバイスに従って起動します。
 -  **メモ**：長時間キーボードのキーを押し続けると、キーボードエラーとなることがあります。予想されるキーボードエラーを避けるためには、起動デバイスメニューが表示されるまでの間、一定の間隔で <F12> キーを押したり離したりします。
- 3 起動デバイスメニューで上下矢印キーを使い、**CD/DVD/CD-RW** をハイライト表示して、次に <Enter> を押します。
 -  **メモ**：Quickboot 機能は、現在の起動順序だけを変更します。再起動時には、コンピュータはセットアップユーティリティで指定した起動順序に従って起動します。
- 4 表示されたメニューから **Boot from CD-ROM** オプションを選択し、次に <Enter> を押します。
- 5 1 と入力し、Drivers and Utilities メニューを開始し、次に <Enter> を押します。
- 6 番号の付いた一覧から **Run the 32 Bit Dell Diagnostics** を選択します。複数のバージョンがリストにある場合は、コンピュータに適切なバージョンを選択します。
- 7 Dell Diagnostics（診断）**Main Menu** で、実行したいテストを選択します。
 -  **メモ**：エラーコードと問題の説明を画面の表示通りに正確に記録し、指示に従います。
- 8 すべてのテストが完了後、テストウィンドウを閉じて Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Main Menu** に戻ります。
- 9 『Drivers and Utilities』メディアを取り出し、Dell Diagnostics（診断）プログラムを終了するために **Main Menu**（メインメニュー）ウィンドウを閉じてから、コンピュータを再起動します。

Dell Diagnostics（診断）プログラムのメインメニュー

Dell Diagnostics（診断）プログラムのロードが終了すると、**Main Menu** 画面が表示されるので、必要なオプションのボタンをクリックします。

 **メモ**：Test System を選択して、コンピュータを完全にテストすることを勧めます。

| オプション | 機能 |
|-------------|-----------------------------|
| Test Memory | スタンドアロンメモリテストを実行します。 |
| Test System | システム Diagnostics（診断）を実行します。 |
| Exit | Diagnostics（診断）を終了します。 |

メインメニューで Test System オプションを選択すると、次のメニューが表示されます。

 **メモ**：以下のメニューから Extended Test を選択し、コンピュータのデバイスの詳細な検証を実行することをお勧めします。

| オプション | 機能 |
|---------------|---|
| Express Test | システムデバイスのクイックテストを実行します。通常このテストは 10 ～ 20 分かかり、お客様の操作は必要ありません。最初に Express Test を実行すると、問題をさらにすばやく特定する可能性が増します。 |
| Extended Test | システムデバイスの詳しいチェックを実行します。テストは通常 1 時間以上かかり、質問に定期的に応答する必要があります。 |
| Custom Test | システムの特定のデバイスをテストします。実行したいテストをカスタマイズすることができます。 |
| Sympton Tree | 検出した最も一般的な症状を一覧表示し、問題の症状に基づいたテストを選択することができます。 |

テスト実行中に問題が検出されると、エラーコードと問題の説明を示したメッセージが表示されます。エラーコードと問題の説明を記録し、画面の指示に従います。問題が解決できない場合には、デルにお問い合わせください（159 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

 **メモ**：各テスト画面の上部には、コンピュータのサービスタグが表示されます。デルにお問い合わせになると、サービスタグを尋ねられますので、事前に確認しておいてください。

以下のタブは、**Custom Test** または **Symptom Tree** オプションからテストを実行するための追加情報を提供します。

| タブ | 機能 |
|---------------|---|
| Results | テストの結果、および発生したすべてのエラーの状態を表示します。 |
| Errors | 検出されたエラー状態、エラーコード、問題の説明が表示されます。 |
| Help | テストに関する内容とテストの実行要件を説明します。 |
| Configuration | 選択したデバイスのハードウェア構成を表示します。 Dell Diagnostics (診断) プログラムでは、セットアップユーティリティ、メモリ、および各種内部テストからすべてのデバイスの構成情報を取得して、画面左のウィンドウのデバイスリストに表示します。デバイス一覧には、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネント名、またはコンピュータに取り付けられたすべてのデバイス名が表示されるとは限りません。 |
| Parameters | テストの設定を変更して、テストをカスタマイズすることができます。 |

Dell Support Center

Dell Support Center では、サービス、サポート、およびシステム特有の情報が提供されます。Dell Support Center および利用可能なサポートツールに関する詳細は、**support.jp.dell.com** の **サービス** タブをクリックします。

2007 年 6 月 26 日以降に購入されたコンピュータには、Dell Support Center があらかじめインストールされています。

2007 年 6 月 26 日よりも前にコンピュータを購入された場合は、**support.jp.dell.com** の **サービス** ページから Dell Support Center をダウンロードできます。

デスクトップの Dell Support Center  アイコンをクリックしてアプリケーションを実行し、次の項目にアクセスします。

- [デルサポート](#)、[Dell PC TuneUp](#) (Dell PC のチューンアップ)、[Dell PC Checkup](#) (Dell PC のチェックアップ)、および [Network Assistant](#) (ネットワークアシスタント) などのセルフヘルプツール
- リモートでの、リアルタイムテクニカルサポートを行う [DellConnect](#)

- E-メールやチャットのアドレス、および電話番号などデルサポートの問い合わせ先
- **Drivers & Downloads Upgrades**（ドライバ および ダウンロードのアップグレード）、**System Information**（システム情報）などお使いのシステムに特有のリソース

Dell Support Center のホームページの上部には、お使いのシステムのモデル番号、サービスタグ、エクスプレスサービスコード、および保証期限の詳細が表示されます。サービスタグの使用をデルに許可すると、利用可能なメモリ、ディスク容量、搭載されているハードウェア、ネットワークアドレス、モデムの仕様、インストールされているセキュリティソフトウェアなどお使いのコンピュータのその他の詳細情報が提供されます。さらに、サービスタグを使用すると、保証情報、アクセサリの注文、および推奨されるドライバのインストールとダウンロードのウェブページの詳細に関して最も関連性の高い **www.dell.com** にリンクすることができます。

デルサポート

デルサポートは、お使いのコンピュータ環境にカスタマイズされます。このユーティリティは、お使いのコンピュータのセルフサポート情報、ソフトウェアのアップデート、および状況スキャンに関する情報を提供します。このユーティリティを使用して以下のことを実行できます。

- お使いのコンピュータ環境のチェック
- デルサポート設定の表示
- デルサポートヘルプファイルのアクセス
- よくあるお問い合わせ（FAQ）の表示
- デルサポートの詳細の表示
- デルサポートの終了

デルサポートの詳細に関しては、デルサポートウィンドウの上部にある疑問符(?)をクリックします。

デルサポートにアクセスするには、次の手順を実行します。

- **Windows** デスクトップのタスクトレイにあるデルサポートアイコン  をクリックします。



メモ:  アイコンの機能は、クリック、ダブルクリック、または右クリックした場合により異なります。

または

- Microsoft® Windows Vista® スタートボタン  → **All Programs** (すべてのプログラム) → **Dell Support** (デルサポート) → **Dell Support Settings** (デルサポートの設定) とクリックします。 **Show icon on the taskbar** (タスクバーのアイコンを表示する) オプションがチェックされていることを確認します。



メモ : デルサポートが Start (スタート) メニューから利用できない場合は、support.jp.dell.com からソフトウェアをダウンロードしてください。

Dell PC TuneUp (Dell PC のチューンアップ)

自動または月 1 回バージョンの **Dell PC TuneUp** (Dell PC のチューンアップ) では、お使いの PC の「チューンアップ」を行う日付と時刻を選択できます。標準のチューンアップには、ハードディスクドライブのデフラグ、不要なファイルおよび一時ファイルの削除、セキュリティ設定のアップデート、「適切な」復元ポイントの検証、PC のパフォーマンスとセキュリティの向上するようデザインされたその他のメンテナンスアクティビティが含まれます。月 1 回バージョンは 1 年分の予約が可能で、[デルサポート](http://support.jp.dell.com) の機能であり、リアルタイムの状態スキャンおよびお使いの PC のメンテナンス方法を提供する無料のアプリケーションです (112 ページの「デルサポート」を参照)。

米国およびカナダでは、両バージョンの **PC TuneUp** (PC のチューンアップ) が利用可能です。最新のアップデートおよびお使いのコンピュータを最高のパフォーマンスで使用し続ける方法に関しては、support.jp.dell.com でキーワード **PC TuneUp** (PC のチューンアップ) を検索します。

Dell PC Checkup (PC のチェックアップ)

Dell PC Checkup (PC のチェックアップ) は、お使いの Dell コンピュータにカスタマイズしたスキャンとテストを提供する、トラブルシューティングツールおよび診断ツールです。**PC Checkup** (PC のチェックアップ) はハードウェアが正常に機能しているか確認し、一般的な設定上の問題を自動修復します。弊社は、**PC Checkup** (PC のチェックアップ) を定期的に行うこと、またはサポートを受けるためにデルに問い合わせを行う前に実行することをお勧めしています。このアプリケーションで詳細なレポートが作成されるので、デルの技術者はこれを使用して問題を迅速に解決することができます。

Dell Network Assistant

Dell™ コンピュータのユーザー専用設計された **Dell Network Assistant** は、ネットワークのセットアップ、モニタリング、トラブルシューティング、および修復が簡単にできるようにします。

Dell Network Assistant (デルネットワークアシスタント) は、以下のことが可能です。

- 整備されたセットアップ、警告、およびデバイスの状態を提供します
- ネットワークステータスを視覚的に表示することで、ネットワーク化されたデバイスのトラッキングを簡素化します
- ネットワークの問題の事前的なトラブルシューティング、および修復をします
- チュートリアル、セットアップウィザード、よくあるお問い合わせ (FAQ) を提供してネットワーク設定の原則について理解を深めます

Dell Network Assistant にアクセスするには、次の手順を実行します。

- 1 デスクトップの **Dell Support Center** (デルサポートセンター) アイコン  をクリックします。
- 2 **Self Help** (セルフヘルプ) → **Network /Internet** (ネットワーク / インターネット) → **Network Management** (ネットワーク管理) とクリックします。

DellConnect

DellConnect は、インターネット接続を介してデルサービスとサポート担当者がお使いのコンピュータにアクセスできるようにするための、簡易オンラインアクセスツールで、不具合の診断や修復を行います。担当者は、お客様の立会いのもとに作業を行います。トラブルシューティングセッションでは、デルの担当者と一緒に作業を行うことができます。

このサービスを利用するには、インターネット接続があり、**Dell** コンピュータが保証期間中であることが必要です。**DellConnect** は、「**Dell On Call**」(デルオンコール) から無料で利用することもできます。

デルの担当者とのライブセッションを開始するには、次の手順を実行します。

- 1 デスクトップの **Dell Support Center** (デルサポートセンター) アイコン  をクリックします。
- 2 **Assistance From Dell** (デルからのアシスタント) → **Technical Support** (テクニカルサポート) → **DellConnect** → **Phone** (電話) とクリックし、手順に従います。

ドライブの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

MICROSOFT® WINDOWS® がドライブを認識しているか確認します —

Windows XP

- **スタート** をクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。

Windows Vista®

- Windows Vista スタートボタン  をクリックし、**Computer** (コンピュータ) をクリックします。

ドライブが表示されていない場合、アンチウイルスソフトでウイルスチェックを行い、ウイルスの除去を行います。ウイルスが原因で **Windows** がドライブを検出できないことがあります。

ドライブをテストします —

- 別のフロッピーディスク、CD、または DVD を挿入して、元のメディアに不具合がないことを確かめます。
- 起動ディスクを挿入して、コンピュータを再起動します。

ドライブやディスクをクリーニングします — 170 ページの「コンピュータのクリーニング」を参照してください。

CD、DVD または BD メディアがスピンドルにきちんとはまっていることを確認します

ケーブルの接続を確認します

ハードウェアの非互換性を確認します — 143 ページの「ソフトウェアとハードウェアの問題に関するトラブルシューティング」を参照してください。

DELL DIAGNOSTICS (診断) プログラムを実行します — 107 ページの「Dell Diagnostics (診断) プログラム」を参照してください。

光学ドライブの問題



メモ：高速光学ドライブの振動は、一般的なものでノイズを引き起こすこともありますが、ドライブやメディアの不具合ではありません。



メモ：様々なファイル形式があるため、お使いの DVD ドライブでは再生できない DVD もあります。

CD-RW、DVD+/-RW、または BD-RE ドライブへの書き込みの問題

その他のプログラムを閉じます — CD-RW および DVD+/-RW ドライブでは、書き込む際に、一定のデータの流れを必要とします。データの流れが中断されるとエラーが発生します。ドライブに書き込みを開始する前に、すべてのプログラムを終了してみます。

CD/DVD ディスクに書き込む前に WINDOWS のスリープ状態をオフにします — スリープモードに関しては、54 ページの「省電力モード」を参照してください。

書き込み処理速度を低く設定します — お使いの CD または DVD 作成ソフトウェアのヘルプファイルを参照してください。

ドライブトレイが取り出せない

- 1 コンピュータの電源が切れていることを確認します。
- 2 クリップをまっすぐに伸ばし、一方の端をドライブの前面にあるイジェクト穴に挿入します。トレイの一部が出てくるまでしっかりと押し込みます。
- 3 トレイが止まるまで慎重に引き出します。

ドライブで聞き慣れない摩擦音またはきしむ音がする場合

- 実行中のプログラムによる音ではないことを確認します。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。

ハードディスクドライブの問題

コンピュータが室温に戻るまで待ってから電源を入れます — ハードディスクドライブが高温になっているため、オペレーティングシステムが起動しないことがあります。コンピュータが室温に戻るまで待ってから電源を入れます。

Windows XP

- 1 **スタート** をクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。
- 2 **ローカルディスク C:** を右クリックします。
- 3 **プロパティ** → **ツール** → **チェックする** とクリックします。
- 4 **不良なセクタをスキャンし回復する** をクリックし、**開始** をクリックします。

Windows Vista

- 1 Windows Vista スタートボタン  をクリックし、**Computer** (コンピュータ) をクリックします。
- 2 **Local Disk C:** (ローカルディスク C:) を右クリックします。
- 3 **Properties** (プロパティ) → **Tools** (ツール) → **Check Now** (チェックする) とクリックします。

User Account Control (ユーザーアカウントの管理) ウィンドウが表示されます。コンピュータのシステム管理者の場合は、**Continue** (続行) をクリックします。システム管理者ではない場合には、システム管理者に問い合わせて、必要な処理を続けます。

- 4 画面に表示される指示に従ってください。

E-メール、モデム、およびインターネットの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



メモ：モデムは必ずアナログ電話回線に接続してください。デジタル電話回線（ISDN）に接続した場合、モデムは動作しません。

MICROSOFT OUTLOOK® EXPRESS のセキュリティ設定を確認します — E-メールの添付ファイルが開けない場合、次の手順を実行します。

- 1 Outlook Express で、**ツール** → **オプション** → **セキュリティ** とクリックします。
- 2 必要に応じて、**ウイルスの可能性のある添付ファイルを保存したり開いたりしない** をクリックして、チェックマークを外します。

電話線接続をチェックします

電話ジャックをチェックします

モデムを直接電話ジャックに接続します

別の電話線を使用します

- 電話線が、モデムのジャック（ジャックは緑色のラベルかコネクタの絵柄の横にあります）に接続されていることを確認します。
- 電話線のコネクタをモデムに接続する際に、カチッという感触が得られることを確認します。
- モデムから電話線を外し、電話機に接続して、発信音を聞きます。
- 留守番電話、FAX、サージプロテクタ、またはラインスプリッタなど、その他の電話デバイスで回線を共有している場合、これらをバイパスし、モデムを直接電話ジャックに差し込みます。3 m 以内の電話線を使用します。

MODEM HELPER 診断プログラムを実行します —

Windows XP

- 1 **スタート** → **すべてのプログラム** → **Modem Helper** とクリックします。
- 2 画面の指示に従って、モデムの問題を識別し、その問題を解決します。一部のコンピュータでは、Modem Helper を使用できません。

Windows Vista

- 1 Windows Vista スタートボタン  → **All Programs**（すべてのプログラム） → **Modem Diagnostic Tool**（モデム診断ツール）とクリックします。
- 2 画面の指示に従って、モデムの問題を識別し、その問題を解決します。すべてのコンピュータでモデム診断を使用できるとは限りません。

モデムが Windows と通信中であることを確認します —

Windows XP

- 1 スタート → コントロールパネル → プリンタとその他のハードウェア → 電話とモデムのオプション → モデム とクリックします。
- 2 Windows がモデムを検出したか確認するため、モデムの COM ポート → プロパティ → 診断 → モデムの照会 とクリックします。
すべてのコマンドに応答がある場合、モデムは正しく動作しています。

Windows Vista

- 1 Windows Vista スタートボタン  → **Control Panel** (コントロールパネル) → **Hardware and Sound** (ハードウェアとサウンド) → **Phone and Modem Options** (電話とモデムのオプション) → **Modems** (モデム) とクリックします。
- 2 モデムが Windows と通信していることを確認するため、**COM port for your modem** (モデムの COM ポート) → **Properties** (プロパティ) → **Diagnostics** (診断) → **Query Modem** (モデムの照会) をクリックします。
すべてのコマンドに応答がある場合、モデムは正しく動作しています。

インターネットに接続されていることを確認します — インターネットサービスプロバイダへの申し込みが済んでいることを確認します。E-メールプログラム Outlook Express を起動し、**ファイル** をクリックします。**オフライン作業** の横にチェックマークが付いている場合には、クリックしてチェックマークを外し、インターネットに接続します。問題がある場合、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

コンピュータでスパイウェアをスキャンします — コンピュータのパフォーマンスが遅いと感じたり、ポップアップ広告を受信したり、インターネットとの接続に問題がある場合は、スパイウェアに感染している恐れがあります。アンチスパイウェア保護を含むアンチウィルスプログラムを使用して (ご使用のプログラムをアップグレードする必要があるかもしれません)、コンピュータのスキャンを行い、スパイウェアを取り除いてください。

エラーメッセージ

⚠ 警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。メッセージが一覧にない場合、オペレーティングシステムまたはメッセージが表示された際に行っていたプログラムのマニュアルを参照してください。

補助デバイスエラー — タッチパッドまたは外付けマウスに問題がある可能性があります。外付けマウスを使用している場合、ケーブル接続を確認します。セットアップユーティリティで **Pointing Device** オプションを有効にします（167 ページの「セットアップユーティリティの使い方」を参照）。問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください（159 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

コマンド名またはファイル名が違います — 正しいコマンドを入力したか、スペースの位置は正しいか、パス名は正しいかを確認します。

障害によりキャッシュが無効になりました — マイクロプロセッサに内蔵の 1 次キャッシュに問題が発生しました。デルにお問い合わせください（159 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

CD ドライブコントローラエラー — CD ドライブにコンピュータからコマンドの応答がありません（115 ページの「ドライブの問題」を参照）。

データエラー — ハードディスクドライブがデータを読み取ることができません（115 ページの「ドライブの問題」を参照）。

使用可能メモリ減少 — メモリモジュールに問題があるか、またはメモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します（93 ページの「メモリ」を参照）。

ディスク C：初期化失敗 — ハードディスクドライブの初期化に失敗しました。Dell Diagnostics（診断）プログラムのハードディスクドライブテストを実行します（107 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

ドライブの準備ができていません — 操作を続行する前に、ベイにはハードディスクドライブが必要です。ハードディスクドライブベイにハードディスクドライブを取り付けます（90 ページの「ハードディスクドライブ」を参照）。

PCMCIA カードの読み取りエラー — コンピュータが、ExpressCard を認識できません。カードをもう一度挿入しなおすか、別のカードを挿入します（67 ページの「カードの使い方」を参照）。

拡張メモリの容量が変更されています — 不揮発性メモリ（NVRAM）に記録されているメモリ容量が、実際に取り付けられているメモリ容量と一致しません。コンピュータを再起動します。同じエラーが表示される場合、デルにお問い合わせください（159 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

コピーするファイルが大きすぎて受け側のドライブに入りません — ファイルサイズが大きすぎてコピーできないか、コピー先のディスク使用量がいっぱいまでコピーできません。他のディスクにコピーするか容量の大きなディスクを使用します。

ファイル名には次の文字は使用できません：¥/:*?"<>|— これらの記号をファイル名に使用しないでください。

GATE A20 エラー— メモリモジュールがしっかりと接続されていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します（93 ページの「メモリ」を参照）。

一般的な障害— オペレーティングシステムはコマンドを実行できません。通常、このメッセージのあとには具体的な情報（例えば、Printer out of paper [プリンタの用紙がありません]）が付きます。適切な対応策に従います。

ハードディスクドライブ設定エラー— コンピュータがドライブの種類を識別できません。コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを取り外し（90 ページの「ハードディスクドライブ」を参照）、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを再度取り付けてからコンピュータを再起動します。Dell Diagnostics（診断）プログラムの Hard Disk Drive テストを実行します（107 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

ハードディスクドライブコントローラエラー 0— ハードディスクドライブがコンピュータからのコマンドに 응답しません。コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを取り外し（90 ページの「ハードディスクドライブ」を参照）、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを再度取り付けてからコンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。Dell Diagnostics（診断）プログラムの Hard Disk Drive テストを実行します（107 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

ハードディスクドライブエラー— ハードディスクドライブがコンピュータからのコマンドに 응답しません。コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを取り外し（90 ページの「ハードディスクドライブ」を参照）、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを再度取り付けてからコンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。Dell Diagnostics（診断）プログラムの Hard Disk Drive テストを実行します（107 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

ハードディスクドライブ読み取りエラー— ハードディスクドライブに問題がある可能性があります。コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを取り外し（90 ページの「ハードディスクドライブ」を参照）、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを再度取り付けてからコンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。Dell Diagnostics（診断）プログラムの Hard Disk Drive テストを実行します（107 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

起動用メディアを挿入します — オペレーティングシステムは、起動用メディアでないフロッピーディスクや CD から起動しようとしています。起動用メディアを挿入してください。

システム情報が間違っています。セットアップユーティリティを実行してください — システム設定情報がハードウェア構成と一致しません。メモリモジュールの取り付け後などにこのメッセージが表示されることがあります。セットアップユーティリティ内の対応するオプションを修正します（167 ページの「セットアップユーティリティの使い方」を参照）。

キーボードクロックラインエラー — 外付けキーボードを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。Dell Diagnostics（診断）プログラムの KeyBoard Controller テストを実行します（107 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

キーボードコントローラエラー — 外付けキーボードを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはマウスに触れないようにします。Dell Diagnostics（診断）プログラムの KeyBoard Controller テストを実行します（107 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

キーボードデータラインエラー — 外付けキーボードを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。Dell Diagnostics（診断）プログラムの KeyBoard Controller テストを実行します（107 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

キーボードスタックキーエラー — 外付けキーボードまたはキーパッドの、ケーブル接続を確認します。コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはキーに触れないようにします。Dell Diagnostics（診断）プログラムの Stuck Key テストを実行します（107 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

MEDIA DIRECT では、ライセンスコンテンツにはアクセスできません — Dell MediaDirect™ では、ライセンスファイルに対するデジタル権限管理（DRM）制限を検証できないので、ライセンスファイルを再生できません（128 ページの「Dell MediaDirect の問題」を参照）。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリアドレスラインエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します（93 ページの「メモリ」を参照）。

メモリの割り当てエラー — 実行しようとしているソフトウェアが、オペレーティングシステム、他のアプリケーションプログラム、またはユーティリティと拮抗しています。コンピュータをシャットダウンし、30 秒待ってから再起動します。プログラムを再度実行します。エラーメッセージが依然として表示される場合、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリデータラインエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します（93 ページの「メモリ」を参照）。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリダブルワードロジックエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します（93 ページの「メモリ」を参照）。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリ奇数 / 偶数ロジックエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します（93 ページの「メモリ」を参照）。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリ読み書きエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します（93 ページの「メモリ」を参照）。

起動デバイスがありません — コンピュータがハードディスクドライブを見つけることができません。ハードディスクドライブが起動デバイスの場合、ドライブが適切に装着されており、起動デバイスとして区分（パーティション）されているか確認します。

ハードディスクドライブにブートセクターがありません — オペレーティングシステムが壊れている可能性があります。デルにお問い合わせください（159 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

タイマーチェック割り込み信号がありません — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの System Set テストを実行します（107 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

メモリまたはリソースが不足しています。いくつかのプログラムを閉じてもう一度やりなおします — 開いているプログラムの数が多すぎます。すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。

オペレーティングシステムが見つかりません — ハードディスクドライブを再インストールします（90 ページの「ハードディスクドライブ」を参照）。問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（107 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

オプション ROM のチェックサムが違います — オプション ROM のエラー。デルにお問い合わせください（107 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

必要な DLL ファイルが見つかりません — 実行しようとしているプログラムに必要なファイルがありません。プログラムを削除してから、再インストールします。

Windows XP

- 1 **スタート** → **コントロールパネル** → **プログラムの追加と削除** → **プログラムと機能** とクリックします。
- 2 削除したいプログラムを選択します。
- 3 **アンインストール** をクリックします。
- 4 インストール手順については、プログラムに付属されているマニュアルを参照してください。

Windows Vista

- 1 **Windows Vista スタートボタン**  → **Control Panel** (コントロールパネル) → **Programs** (プログラム) → **Programs and Features** (プログラムと機能) とクリックします。
- 2 削除したいプログラムを選択します。
- 3 **Uninstall** (アンインストール) をクリックします。
- 4 インストール手順については、プログラムに付属されているマニュアルを参照してください。

セクターが見つかりません — オペレーティングシステムがハードディスクドライブ上のセクターを見つけることができません。ハードディスクドライブが不良セクターを持っているか、FAT が破壊されている可能性があります。Windows のエラーチェックユーティリティを実行して、ハードディスクドライブのファイル構造を調べます。手順に関しては、**Windows ヘルプとサポート**を参照してください (**スタート** → **ヘルプとサポート** とクリックします)。多くのセクターに障害がある場合データをバックアップして、ハードディスクドライブを再フォーマットします。

シークエラー — オペレーティングシステムがハードディスクドライブ上の特定のトラックを見つけることができません。

シャットダウンが失敗しました — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics (診断) プログラムの **System Set** テストを実行します (107 ページの「Dell Diagnostics (診断) プログラム」を参照)。

内部時計の電力低下 — システム設定が破損しています。コンピュータをコンセントに接続してバッテリーを充電します。問題が解決しない場合には、セットアップユーティリティを起動してデータの復元を試み、次にすぐにプログラムを終了します (167 ページの「セットアップユーティリティの使い方」を参照)。メッセージが再表示される場合は、デルにお問い合わせください (159 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照)。

内部時計が停止しました — システム設定をサポートする予備バッテリーに、再充電が必要である可能性があります。コンピュータをコンセントに接続してバッテリーを充電します。問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください（159 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

時計が設定されていません。セットアップユーティリティを実行してください — セットアップユーティリティで設定した時刻または日付が内部時計と一致しません。

Date および **Time** オプションの設定を修正します（167 ページの「セットアップユーティリティの使い方」を参照）。

タイマーチップカウンタ 2 が失敗しました — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **System Set** テストを実行します（107 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

プロテクトモードで予期せぬ割り込みがありました — キーボードコントローラが誤動作しているか、メモリモジュールの接続に問題がある可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **System Memory** テストおよび **Keyboard Controller** テストを実行します（107 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

x¥にアクセスできません。デバイスの準備ができていません — ドライブにディスクを入れ、もう一度試してみます。

警告：バッテリーが極めて低下しています — バッテリーの充電量が不足しています。バッテリーを交換するか、コンピュータをコンセントに接続します。または、休止状態モードを有効にするか、コンピュータをシャットダウンします。

ExpressCard の問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。
EXPRESSCARD をチェックします — ExpressCard が正しくコネクタに挿入されているか確認します。

Windows でカードが認識されているかを確認します — Windows タスクバーにある **ハードウェアの安全な取り外し** アイコンをダブルクリックします。一部のカードでは、この機能がサポートされていません。カードがこの Windows 機能をサポートしている場合には、カードが一覧表示されます。

デルから購入した EXPRESSCARD に問題がある場合 — デルにお問い合わせください（159 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。また、モバイルブロードバンド（WWAN）ExpressCard に関しては、131 ページの「モバイルブロードバンド（ワイヤレスワイドエリアネットワーク [WWAN]）」を参照してください。

デル以外から購入した EXPRESSCARD に問題がある場合 — ExpressCard 製造元にお問い合わせください。

IEEE 1394 デバイスの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。
Windows が IEEE 1394 デバイスを認識しているか確認します —

- 1 **Start** (スタート) → **Control Panel** (コントロールパネル) → **System and Maintenance** (システムとメンテナンス) → **Device Manager** (デバイスマネージャ) とクリックします。

 **メモ**：User Account Control (ユーザーアカウントの管理) ウィンドウが表示されます。コンピュータのシステム管理者の場合は、**Continue** (続行) をクリックします。システム管理者ではない場合には、システム管理者に問い合わせ、必要な処理を続けます。

IEEE 1394 デバイスが一覧に表示されている場合、Windows はデバイスを認識しています。

デル製の IEEE 1394 デバイスに問題がある場合 — Dell または IEEE 1394 デバイスの製造元にお問い合わせください (159 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照)。

デル製ではない IEEE 1394 デバイスに問題がある場合 — Dell または IEEE1394 デバイスの製造元にお問い合わせください (159 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照)。

IEEE 1394 デバイスが正しくコネクタに挿入されているか確認します

キーボードの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

 **メモ**：Dell Diagnostics (診断) プログラムまたはセットアップユーティリティが起動している場合は、内蔵キーボードを使用します。外付けキーボードをコンピュータに接続しても、内蔵キーボードの機能はそのまま使用できます。

外付けキーボードの問題

 **メモ**：外付けキーボードをコンピュータに接続しても、内蔵キーボードの機能はそのまま使用できます。

キーボードケーブルを確認します — コンピュータをシャットダウンしてから、キーボードケーブルを外し、損傷していないかを確認して、再度ケーブルをしっかりと接続します。

キーボード延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを外してキーボードを直接コンピュータに接続します。

外付けキーボードを確認します —

- 1 コンピュータをシャットダウンし、1 分間待ってから再度電源を入れます。
- 2 起動ルーチン中にキーボードの Num Lock、Caps Lock、および Scroll Lock のライトが点灯していることを確認します。
- 3 Windows デスクトップから、**Start** (スタート) → **All Programs** (すべてのプログラム) → **Accessories** (アクセサリ) → **Notepad** (メモ帳) とクリックします。
- 4 外付けキーボードで何文字か入力し、画面に表示されることを確認します。これらの手順を確認ができない場合、外付けキーボードに問題がある可能性があります。

外付けキーボードによる問題であることを確認するため、内蔵キーボードを確認します —

- 1 コンピュータをシャットダウンします。
- 2 外付けキーボードを取り外します。
- 3 コンピュータの電源を入れます。
- 4 Windows デスクトップから、**Start** (スタート) → **All Programs** (すべてのプログラム) → **Accessories** (アクセサリ) → **Notepad** (メモ帳) とクリックします。
- 5 内蔵キーボードで何文字か入力し、画面に表示されることを確認します。
内蔵キーボードでは文字が表示されるが、外付けキーボードでは表示されない場合、外付けキーボードに問題がある可能性があります。デルにお問い合わせください (159 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照)。

キーボードの診断テストを実行します — Dell Diagnostics (診断) プログラムの PC-AT Compatible Keyboards テストを実行します (107 ページの「Dell Diagnostics (診断) プログラム」を参照)。 テストの結果、外付けキーボードに欠陥があると分かった場合は、デルにお問い合わせください (159 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照)。

入力時の問題

テンキーパッドを無効にします — 文字の代わりに数字が表示される場合、<Num Lock> を押して、テンキーパッドを無効にします。NumLock ライトが点灯していないことを確認します。

フリーズおよびソフトウェアの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

コンピュータが起動しない

AC アダプタを確認します — AC アダプタがコンピュータとコンセントにきちんと接続されていることを確認します。

障害があると、AC アダプタが停止します。このような現象が起きた場合、緑色のライトが消えます。元に戻すには、AC アダプタを 10 秒間電源から外した後、再度接続しなおしてください。

コンピュータの応答が停止した

 **注意**：オペレーティングシステムのシャットダウンが実行できない場合、データを消失する恐れがあります。

コンピュータの電源を切ります — キーボードを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが応答しない場合には、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押し続けてコンピュータの電源を切った後、再度起動します。

プログラムの応答が停止するか、プログラムがクラッシュを繰り返すプログラムを終了します

- 1 <Ctrl><Shift><Esc> を同時に押し、タスクマネージャにアクセスします。
- 2 **Applications** (アプリケーション) タブをクリックします。
- 3 応答しないプログラムを選択してクリックします。
- 4 **End Task** (タスクの終了) をクリックします。

 **メモ**：コンピュータを再起動したときに chkdsk プログラムが実行されることがあります。画面に表示される指示に従ってください。

プログラムのマニュアルを参照します — 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。通常、ソフトウェアのインストールの手順は、そのマニュアルまたはフロッピーディスクか CD に収録されています。

プログラムが以前の Microsoft® Windows® オペレーティングシステム向けに設計されている

プログラム互換性ウィザードを実行します —

Windows XP

Windows XP オペレーティングシステム環境とは異なるオペレーティングシステムに近い環境で、プログラムが動作するよう設定できるプログラム互換性ウィザードがあります。

- 1 **Start** (スタート) → **All Programs** (すべてのプログラム) → **Accessories** (アクセサリ) → **Program Compatibility Wizard** (プログラム互換性ウィザード) → **Next** (次へ) とクリックします。
- 2 画面に表示される指示に従ってください。

Windows Vista

Windows Vista オペレーティングシステム環境とは異なるオペレーティングシステムに近い環境で、プログラムが動作するよう設定できるプログラム互換性ウィザードがあります。

- 1 **Start** (スタート)  → **Control Panel** (コントロールパネル) → **Programs** (プログラム) → **Use an older program with this version of Windows** (Windows のこのバージョンの古いプログラムを使う) をクリックします。
- 2 プログラム互換性ウィザードの開始画面で、**Next** (次へ) をクリックします。
- 3 画面に表示される指示に従ってください。

画面が青色 (ブルースクリーン) になった

コンピュータの電源を切ります — キーボードを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが応答しない場合には、電源ボタンを 8 ~ 10 秒以上押し続けてコンピュータの電源を切った後、再度起動します。

Dell MediaDirect の問題

DELL MEDIADIRECT ヘルプファイルで情報をチェックします — ヘルプ メニューを使用して、Dell MediaDirect ヘルプにアクセスします。

DELL MEDIADIRECT で映画を再生するには、**DVD ドライブ**と **DELL DVD PLAYER** が必要です — コンピュータと一緒に DVD ドライブを購入した場合、このソフトウェアはすでにインストールされています。

ビデオの品質上の問題 — Use Hardware Acceleration (ハードウェアアクセラレーションを使う) オプションをオフにします。この機能は、DVD や特定タイプのビデオファイルを再生するときに、一部のグラフィックスカードの特別な処理を利用して、プロセッサ要件を軽減します。

一部のメディアファイルを再生できない — Dell MediaDirect では、Windows オペレーティングシステム環境外のメディアファイルへのアクセスが可能であるため、ライセンス付きコンテンツへのアクセスが制限されています。ライセンス付きコンテンツとは、デジタル権限管理 (DRM) が適用されるデジタルコンテンツです。Dell MediaDirect 環境では、DRM 制限を検証できないので、ライセンス付きファイルを再生できません。ライセンス付きのミュージックファイルやビデオファイルには、その横に錠のアイコンが付いています。Windows オペレーティングシステム環境では、ライセンス付きファイルにアクセスできます。

暗すぎるシーンや明るすぎるシーンがある映画のカラー設定の調節 — EagleVision
をクリックして、ビデオ拡張機能テクノロジーを使用します。この機能により、ビデオコンテンツが検知され、輝度、コントラスト、および彩度の比率が動的に調節されます。

 **注意:** ハードディスクドライブを自発的に再フォーマットした場合は、Dell MediaDirect 機能を再インストールできません。詳細に関しては、デルにお問い合わせください（159 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

その他のソフトウェアの問題

トラブルシューティング情報については、ソフトウェアのマニュアルを確認するかソフトウェアの製造元に問い合わせます —

- コンピュータにインストールされているオペレーティングシステムと互換性があるか確認します。
- コンピュータがソフトウェアを実行するのに必要な最小ハードウェア要件を満たしているか確認します。詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- プログラムが正しくインストールおよび設定されているか確認します。
- デバイスドライバがプログラムと拮抗していないか確認します。
- 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

すぐにお使いのファイルのバックアップを作成します

ウイルススキャンプログラムを使って、ハードディスクドライブ、フロッピーディスク、または CD を調べます

開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了して、スタートメニューからコンピュータをシャットダウンします

コンピュータでスパイウェアをスキャンします — コンピュータのパフォーマンスが遅いと感じたり、ポップアップ広告を受信したり、インターネットとの接続に問題がある場合は、スパイウェアに感染している恐れがあります。アンチスパイウェア保護を含むアンチウィルスプログラムを使用して（ご使用のプログラムをアップグレードする必要があるかもしれません）、コンピュータのスキャンを行い、スパイウェアを取り除いてください。

DELL DIAGNOSTICS (診断) プログラムを実行します — すべてのテストが正常に終了した場合、不具合はソフトウェアの問題に関連しています（107 ページの「Dell Diagnostics (診断) プログラム」を参照）。

メモリの問題

⚠ 警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

メモリ不足を示すメッセージが表示される場合 —

- 作業中のすべてのファイルを保存してから閉じ、使用していない開いているすべてのプログラムを終了して、問題が解決するか調べます。
- メモリの最小要件については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。必要に応じて、メモリを増設します（93 ページの「メモリ」を参照）。
- メモリモジュールを取り付けなおして、お使いのコンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します（93 ページの「メモリ」を参照）。
- Dell Diagnostics（診断）プログラム（107 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）を実行します。

その他の問題が発生する場合 —

- メモリモジュールを取り付けなおして、お使いのコンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します（93 ページの「メモリ」を参照）。
- メモリの取り付けガイドラインに従っているか確認します（93 ページの「メモリ」を参照）。
- 使用しているメモリがお使いのコンピュータに対応するか確認します。お使いのコンピュータでサポートされているメモリのタイプの詳細に関しては、93 ページの「メモリ」を参照してください。
- Dell Diagnostics（診断）プログラム（107 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）を実行します。

ネットワークの問題

⚠ 警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

ネットワークケーブルのコネクタを確認します — ネットワークケーブルがコンピュータ背面のネットワークコネクタおよびネットワークジャックの両方に、しっかりと差し込まれているか確認します。

ネットワークコネクタのネットワークライトを確認します — ライトが点灯しない場合、ネットワークと通信していないことを示しています。ネットワークケーブルを取り替えます。

コンピュータを再起動して、再度ネットワークにログオンしなおします

ネットワークの設定を確認します — ネットワーク管理者、またはお使いのネットワークを設定した方にお問い合わせになり、ネットワークへの接続設定が正しくて、ネットワークが正常に機能しているか確認します。

モバイルブロードバンド (ワイヤレスワイドエリアネットワーク [WWAN])

 **メモ** : Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティのユーザーズガイドと、モバイルブロードバンド ExpressCard のユーザーズガイドは、Windows ヘルプとサポートから利用できます (**Start** (スタート) → **Help and Support** (ヘルプとサポート)) とクリックします)。Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティのユーザーズガイドは、support.jp.dell.com からダウンロードできます。

 **メモ** : コンピュータに Dell WWAN デバイスが取り付けられている場合には、タスクトレイに  アイコンが表示されます。ユーティリティを始動するには、このアイコンをダブルクリックします。

モバイルブロードバンド EXPRESSCARD をアクティブにします — ネットワークに接続する前に、モバイルブロードバンド ExpressCard をアクティブにする必要があります。タスクトレイの  アイコンにマウスを合わせると、接続のステータスが確認できます。カードがアクティブでない場合、Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティにある、カードをアクティブにする手順に従ってください。このユーティリティにアクセスするには、画面右下隅のタスクバーにある  アイコンをダブルクリックします。お使いの ExpressCard がデル製のカードでない場合は、お使いのカードの製造元の手順を参照してください。

DELL MOBILE BROADBAND CARD UTILITY でネットワーク接続状態を確認します —  アイコンをダブルクリックして、Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティを始動します。メインウィンドウでステータスを確認します。

- **No card detected** (カードを検出できませんでした) — コンピュータを再起動して、もう一度 Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティを始動します。
- **Check your WWAN service** (お使いの WWAN サービスを確認してください) — お使いの携帯サービスプロバイダプロバイダにお客様のプランの適用範囲とサポートサービスを確認してください。

電源の問題

 **警告** : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

電源ライトを確認します — 電源ライトが点灯または点滅している場合は、コンピュータに電源が入っています。電源ライトが点滅している場合には、コンピュータはスリープ状態に入っています。電源ボタンを押して、Sleep state (スリープ状態) を終了します。ライトが消灯している場合、電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れます。

 **メモ** : スリープ電源状態については、54 ページの「省電力モード」を参照してください。

バッテリーを充電します — バッテリーが充電されていないことがあります。

- 1 バッテリーを取り付けなおします。
- 2 AC アダプタをコンピュータとコンセントに接続して使用します。
- 3 コンピュータの電源を入れます。



メモ: バッテリー駆動時間（バッテリーが電力を供給できる時間）は、時間の経過に従って短くなります。バッテリーの使用頻度および使用状況によって駆動時間が変わるので、コンピュータの寿命がある間でも新しくバッテリーを購入する必要がある場合もあります。

バッテリーステータスライトを確認します — バッテリーステータスライトが橙色に点滅または点灯している場合には、バッテリーの充電が不足しているか、または充電されていません。コンピュータをコンセントに接続します。

バッテリーステータスライトが青色と橙色に点滅している場合には、バッテリーが高温になっているために充電できません。コンピュータをシャットダウンし、コンピュータをコンセントから抜いて、バッテリーとコンピュータの温度を室温まで下げます。

バッテリーステータスライトが橙色に早く点滅している場合には、バッテリーが不良の可能性があります。159 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

バッテリーの温度を確認してください — バッテリーの温度が 0 °C 以下では、コンピュータは起動しません。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

AC アダプタを確認します — AC アダプタケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合、ライトが点灯しているか確認します。

コンピュータを直接コンセントへ接続します — 電源保護装置、電源タップ、および延長コードを取り外して、コンピュータの電源が入るか確認します。

電氣的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ります。

電源のプロパティを調整します — 54 ページの「省電力モード」を参照してください。

メモリモジュールを再度取り付けます — コンピュータの電源ライトは点灯しているのに、ディスプレイに何も表示されない場合、メモリモジュールを取り付けなおします（93 ページの「メモリ」を参照）。

プリンタの問題



警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

メモ：プリンタのテクニカルサポートが必要な場合、プリンタの製造元にお問い合わせください。

プリンタのマニュアルを確認します — プリンタのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細に関しては、プリンタのマニュアルを参照してください。

プリンタの電源がオンになっていることを確認します

プリンタケーブルの接続を確認します —

- ケーブル接続の情報については、プリンタのマニュアルを参照してください。
- プリンタケーブルがプリンタとコンピュータにしっかり接続されているか確認します。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

Windows がプリンタを認識しているか確認します —

Windows XP

- 1 **スタート** → **コントロールパネル** → **プリンタとその他のハードウェア** → **インストールされているプリンタまたは FAX プリンタを表示する** とクリックします。
- 2 プリンタが表示されたら、プリンタのアイコンを右クリックします。
- 3 **プロパティ** → **ポート** をクリックします。パラレルプリンタの場合、**印刷先のポート** を **LPT1 (プリンタポート)** に設定します。USB プリンタの場合、印刷先のポート が **USB** に設定されているか確認します。

Windows Vista

- 1 Windows Vista スタートボタン  → **Control Panel** (コントロールパネル) → **Hardware and Sound** (ハードウェアとサウンド) → **Printer** (プリンタ) とクリックします。
- 2 プリンタが表示されたら、プリンタのアイコンを右クリックします。
- 3 **Properties** (プロパティ) をクリックして、**Ports** (ポート) をクリックします。
- 4 必要に応じて、設定を調整します。

プリンタドライバを再インストールします — 再インストールの手順については、プリンタのマニュアルを参照してください。

スキャナの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

 **メモ**：スキャナのテクニカルサポートについては、スキャナの製造元にお問い合わせください。

スキャナのマニュアルを確認します — スキャナのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細に関しては、スキャナのマニュアルを参照してください。

スキャナのロックを解除します — お使いのスキャナのロックが解除されていることを確認します。

コンピュータを再起動して、もう一度スキャンしてみます

ケーブルの接続を確認します —

- ケーブル接続の詳細については、スキャナのマニュアルを参照してください。
- スキャナのケーブルがスキャナとコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。

MICROSOFT WINDOWS がスキャナを認識しているか確認します —

Windows XP

- 1 **スタート** → **コントロールパネル** → **プリンタとその他のハードウェア** → **スキャナとカメラ** とクリックします。
- 2 お使いのスキャナが一覧に表示されている場合、Windows はスキャナを認識しています。

Windows Vista

- 1 Windows Vista スタートボタン  → **Control Panel** (コントロールパネル) → **Hardware and Sound** (ハードウェアとサウンド) → **Scanners and Cameras** (スキャナとカメラ) とクリックします。
- 2 お使いのスキャナが一覧に表示されている場合、Windows はスキャナを認識しています。

スキャナドライバを再インストールします — 手順については、スキャナに付属しているマニュアルを参照してください。

サウンドおよびスピーカの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

内蔵スピーカから音が出ない場合

Windows で音量を調節します — 画面右下にある黄色のスピーカのアイコンをダブルクリックして、音量つまみを調節してください。音量が上げてあること、ミュートが選択されていないことを確認します。音の歪みを除去するために音量、低音または高音の調節をします。

キーボードのショートカットを使用して音量を調節します — <Fn><End> を押して内蔵スピーカを無効（ミュート）、または再び有効にします。

サウンド（オーディオ）ドライバを再インストールします — 140 ページの「Drivers and Utilities の再インストール」を参照してください。

外付けスピーカから音が出ない場合

サブウーハーおよびスピーカの電源が入っているか確認します — スピーカに付属しているセットアップ図を参照してください。スピーカにボリュームコントロールが付いている場合、音量、低音、または高音を調整して音の歪みを解消します。

WINDOWS のボリュームコントロールを調節します — 画面右下角にあるスピーカのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあること、ミュートが選択されていないことを確認します。

ヘッドフォンをヘッドフォンコネクタから取り外します — ヘッドフォンコネクタにヘッドフォンを接続すると、自動的にスピーカからの音声は聞こえなくなります。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

電気的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、またはハロゲンランプの電源を切り、干渉を調べます。

オーディオドライバを再インストールします — 140 ページの「Drivers and Utilities の再インストール」を参照してください。

DELL DIAGNOSTICS（診断）プログラムを実行します — 107 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照してください。



メモ：MP3 プレーヤーの音量調節は、Windows の音量設定より優先されることがあります。MP3 の音楽を聴いていた場合、プレーヤーの音量が十分に確認してください。

ヘッドフォンから音が出ない場合

ヘッドフォンのケーブル接続を確認します — ヘッドフォンケーブルがヘッドフォンコネクタにしっかりと接続されているか確認します（67 ページの「ExpressCard」を参照）。

WINDOWS で音量を調節します — 画面右下角にあるスピーカのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあること、ミュートが選択されていないことを確認します。

リモコンの問題

アプリケーションが、指定最大範囲内でリモコンに応答しない

- バッテリーが、「+」面を上にして正しく付けられているか確認します。また、バッテリー残量が十分であることを確認します。
- お使いのリモコンをレシーバーの方に向けます。レシーバーは、お使いのコンピュータのタッチパッドの下にあります。
- リモコンをお使いのコンピュータに近付けます。

リモコンがスロットにはまった

リモコンが Express Card 以外のスロットに誤って収められていないか確認します。リモコンの取り外しに関しては、デルテクニカルサポートにお問い合わせください。

タッチパッドまたはマウスの問題

タッチパッドの設定を確認します —

Windows XP

- 1 スタート → コントロールパネル → マウス とクリックします。
- 2 必要に応じて、設定を調整します。

Windows Vista

- 1 Windows Vista スタートボタン  → **Control Panel** (コントロールパネル) → **Hardware and Sound** (ハードウェアとサウンド) → **Mouse** (マウス) とクリックします。
- 2 必要に応じて、設定を調整します。

マウスケーブルを確認します — コンピュータをシャットダウンして、マウスケーブルを外し、障害があるかを確認してから、再度ケーブルをしっかりと接続します。マウス延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを外してマウスを直接コンピュータに接続します。

マウスによる問題であることを確認するため、タッチパッドを確認します —

- 1 コンピュータをシャットダウンします。
- 2 マウスを外します。
- 3 コンピュータの電源を入れます。
- 4 **Windows** デスクトップで、タッチパッドを使用してカーソルを動かし、アイコンを選択して開きます。
タッチパッドが正常に動作する場合、マウスが不良の可能性あります。

セットアップユーティリティの設定をチェックします — セットアップユーティリティで、ポインティングデバイスオプションに正しいデバイスが表示されていることを確認します（コンピュータは設定を調整しなくても自動的に USB マウスを認識します）。

マウスコントローラをテストします — ポインタの動きに影響を与えるマウスコントローラおよび、タッチパッドまたはマウスボタンの操作を確認するために、107 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」の **Pointing Devices** テストグループにある **Mouse test** を実行します。

タッチパッドドライバを再インストールします — 140 ページの「Drivers and Utilities の再インストール」を参照してください。

ビデオおよびディスプレイの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

画面に何も表示されない場合



メモ：お使いのコンピュータに対応する解像度よりも高い解像度を必要とするプログラムをご使用の場合は、外付けモニターをコンピュータに取り付けることをお勧めします。

バッテリーを確認します — コンピュータをバッテリーで動作している場合は、充電されたバッテリーの残量が消費されています。AC アダプタを使ってコンピュータをコンセントに接続してから、コンピュータの電源を入れます。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

AC アダプタを確認します — AC アダプタケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合、ライトが点灯しているか確認します。

コンピュータを直接コンセントへ接続します — 電源保護装置、電源タップ、および延長コードを取り外して、コンピュータの電源が入るか確認します。

電源のプロパティを調整します — Windows ヘルプとサポートで **スリープ** というキーワードを検索します。

画面モードを切り替えます — コンピュータが外付けモニターに接続されている場合は、<Fn><F8> を押して画面モードをディスプレイに切り替えます。

画面が見にくい場合

輝度を調節します — <Fn> と上下矢印キーを押します。

外付けのサブウーハーをコンピュータまたはモニターから離します — 外付けスピーカにサブウーハーが備わっている場合は、サブウーハーをコンピュータまたは外付けモニターから 60 センチ以上離します。

電氣的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ります。

コンピュータの向きを変えます — 画質低下の原因となる日光の反射を避けます。

WINDOWS の画面設定を調整します —

Windows XP

- 1 スタート → コントロールパネル → デスクトップの表示とテーマ とクリックします。
- 2 変更したいエリアをクリックするか、**画面** アイコンをクリックします。
- 3 **画面の色** と **画面の解像度** で、別の設定にしてみます。

Windows Vista

- 1 Windows Vista スタートボタン  → **Control Panel** (コントロールパネル) → **Hardware and Sound** (ハードウェアとサウンド) → **Personalization** (カスタマイズ) → **Display Settings** (表示設定) とクリックします。
- 2 必要に応じて **Resolution** (解像度) と **Colors** (画面の色) の設定を調整します。

ビデオの診断テストを実行します — エラーメッセージの表示がなく画面の問題が解決されず、画面の一部に何も表示されない場合には、107 ページの「Dell Diagnostics (診断) プログラム」の **Video** (ビデオ) デバイスグループを実行します。次にデルにお問い合わせください (159 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照)。

「エラーメッセージ」を参照してください — エラーメッセージが表示される場合、119 ページの「エラーメッセージ」を参照してください。

画面の一部しか表示されない場合

外付けモニターを接続します —

- 1 コンピュータをシャットダウンして、外付けモニターをコンピュータに取り付けます。
- 2 コンピュータおよびモニターの電源を入れて、モニターの輝度とコントラストを調整します。

外付けモニターが動作する場合、コンピュータのディスプレイまたはビデオコントローラが不良の可能性があります。デルにお問い合わせください (159 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照)。

ドライバ

ドライバとは？

ドライバは、プリンタ、マウス、キーボードなどのデバイスを制御するプログラムです。すべてのデバイスにはドライバプログラムが必要です。

ドライバは、デバイスとそのデバイスを使用するプログラム間の通訳のような役目をします。各デバイスは、そのデバイスのドライバだけが認識する専用のコマンドセットを持っています。

お使いのデルコンピュータには、出荷時に必要なドライバがすでにインストールされていますので、新たにインストールしたり設定したりする必要はありません。

 **注意：**『Drivers and Utilities』メディアには、お使いのコンピュータに搭載されていないオペレーティングシステム用のドライバが含まれていることがあります。インストールするソフトウェアがオペレーティングシステムに対応していることを確認してください。

キーボードドライバなど、ドライバの多くは **Microsoft® Windows®** オペレーティングシステムに付属しています。次の場合に、ドライバをインストールする必要があります。

- オペレーティングシステムのアップグレード
- オペレーティングシステムの再インストール
- 新しいデバイスの接続または取り付け

ドライバの識別

デバイスに問題が発生した場合、問題の原因がドライバかどうかを判断し、必要に応じてドライバをアップデートしてください。

Windows XP

- 1 **スタート** → **コントロールパネル** とクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックし、**システム** をクリックします。
- 3 **システムプロパティ** ウィンドウで、**ハードウェア** タブをクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。

Windows Vista

- 1 **Windows Vista** スタートボタン  をクリックし、**Computer** (コンピュータ) を右クリックします。
- 2 **Properties** (プロパティ) → **Device Manager** (デバイスマネージャ) をクリックします。

 **メモ：** **User Account Control** (ユーザーアカウントの管理) ウィンドウが表示されます。コンピュータのシステム管理者の場合は、**Continue** (続行) をクリックします。そうでない場合は、システム管理者に問い合わせる続行します。

一覧を下にスクロールして、デバイスアイコンに感嘆符 ([!] の付いた黄色い丸) が付いているものがないか確認します。

デバイス名の横に感嘆符がある場合、ドライバの再インストールまたは新しいドライバのインストールが必要になる場合があります (140 ページの「Drivers and Utilities の再インストール」を参照)。

Drivers and Utilities の再インストール

- ➡ **注意:** デルサポートサイト support.jp.dell.com や『Drivers and Utilities』メディアでは、Dell コンピュータ向けに承認されているドライバが提供されています。その他の媒体からのドライバをインストールした場合は、お使いのコンピュータが適切に動作しない恐れがあります。

Windows デバイスドライバのロールバックの使い方

新たにドライバをインストールまたはアップデートした後に、コンピュータに問題が発生した場合、Windows のデバイスドライバのロールバックを使用して、以前にインストールしたバージョンのドライバに置き換えることができます。

Windows XP

- 1 **スタート** → **マイコンピュータ** → **プロパティ** → **ハードウェア** → **デバイスマネージャ** とクリックします。
- 2 新しいドライバがインストールされたデバイスを右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
- 3 **ドライバ** タブ → **ドライバのロールバック** とクリックします。

Windows Vista

- 1 **Windows Vista** スタートボタン  をクリックし、**Computer** (コンピュータ) を右クリックします。
- 2 **Properties** (プロパティ) → **Device Manager** (デバイスマネージャ) をクリックします。
 **メモ:** **User Account Control** (ユーザーアカウントの管理) ウィンドウが表示されます。コンピュータのシステム管理者の場合は、**Continue** (続行) をクリックします。そうでない場合は、システム管理者に問い合わせてデバイスマネージャを起動します。
- 3 新しいドライバがインストールされたデバイスを右クリックして、**Properties** (プロパティ) をクリックします。
- 4 **Drivers** (ドライバ) タブ → **Roll Back Driver** (ドライバのロールバック) とクリックします。

デバイスドライバのロールバックで問題が解決されない場合、システムの復元 (144 ページの「Microsoft® Windows Vista® オペレーティングシステムの復元」を参照) を使用して、新しいドライバをインストールする前の動作状態にコンピュータを戻します。

Drivers and Utilities Media の使い方

デバイスドライバのロールバックまたはシステムの復元（144 ページの「Microsoft® Windows Vista® オペレーティングシステムの復元」を参照）を使用しても問題が解決されない場合、『Drivers and Utilities』メディアからドライバを再インストールします。

- 1 Windows デスクトップが表示されたら、『Drivers and Utilities』メディアを挿入します。

『Drivers and Utilities』メディアを初めて使用する場合には、手順 2 に進みます。そうでない場合には、手順 5 に進みます。

- 2 『Drivers and Utilities』インストールプログラムが起動したら、画面のプロンプトの指示に従います。



メモ：通常、『Drivers and Utilities』プログラムが自動的に実行します。実行されない場合、Windows エクスプローラを起動し、メディアドライブのディレクトリをクリックして、メディアの内容を表示し、次に **autorcd.exe** ファイルをダブルクリックします。

- 3 **InstallShield Wizard Complete**（InstallShield ウィザードの完了）ウィンドウが表示されたら、『Drivers and Utilities』ディスクを取り除き、**Finish**（終了）をクリックして、コンピュータを再起動します。
- 4 Windows デスクトップが表示されたら、『Drivers and Utilities』ディスクを再び挿入します。
- 5 **Welcome Dell System Owner**（Dell システムをお買い上げくださりありがとうございます）画面で **Next**（次へ）をクリックします。



メモ：『Drivers and Utilities』プログラムでは、出荷時にお使いのコンピュータにインストールされたハードウェアのドライバのみを表示します。追加でハードウェアを取り付けた場合には、新しいハードウェア用のドライバは表示されないことがあります。それらのドライバが表示されない場合には、『Drivers and Utilities』プログラムを終了します。ドライバの詳細に関しては、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

『Drivers and Utilities』プログラムがコンピュータのハードウェアを検出していることを示すメッセージが表示されます。

コンピュータで使用されているドライバは、自動的に **My Drivers—The ResourceCD has identified these components in your system**（マイドライバ-ResourceCD は、これらのコンポーネントをシステムで確認しました）画面に表示されます。

- 6 再インストールするドライバをクリックして、画面の指示に従います。
特定のドライバがリストにない場合、そのドライバは、お使いのオペレーティングシステムでは必要ないということです。

ドライバの手動インストール



メモ：お使いのコンピュータに Consumer IR ポートがあり、Consumer IR ドライバを再インストールしている場合には、ドライバのインストール（140 ページの「Drivers and Utilities の再インストール」を参照）を続行する前に、まずセットアップユーティリティ（167 ページの「セットアップユーティリティの使い方」を参照）で Consumer IR を有効にする必要があります。お使いのコンピュータに取り付けられているコンポーネントに関しては、17 ページの「お使いのコンピュータの構成確認」を参照してください。

前の項の手順に従ってドライバファイルをお使いのハードディスクドライブに解凍したら、次の手順を実行します。

Windows XP

- 1 **スタート** → **マイコンピュータ** → **プロパティ** → **ハードウェア** → **デバイスマネージャ** とクリックします。
- 2 インストールするドライバのデバイスのタイプをダブルクリックします（たとえば、**オーディオ** または **ビデオ**）。
- 3 インストールするドライバのデバイスの名前をダブルクリックします。
- 4 **ドライバ** タブ → **ドライバの更新** とクリックします。
- 5 **一覧または特定の場所からインストールする（詳細設定）** → **次へ** をクリックします。
- 6 **参照** をクリックして、あらかじめドライバファイルをコピーしておいた場所を参照します。
- 7 該当するドライバの名前が表示されたら、**次へ** をクリックします。
- 8 **完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。

Windows Vista

- 1 **Windows Vista** スタートボタン  をクリックし、**Computer**（コンピュータ）を右クリックします。
- 2 **Properties**（プロパティ） → **Device Manager**（デバイスマネージャ）をクリックします。
 **メモ**：User Account Control（ユーザーアカウントの管理）ウィンドウが表示されます。コンピュータのシステム管理者の場合は、**Continue**（続行）をクリックします。そうでない場合は、システム管理者に問い合わせてデバイスマネージャを起動します。
- 3 インストールするドライバのデバイスのタイプをダブルクリックします（たとえば、**Audio**（オーディオ）または **Video**（ビデオ））。
- 4 インストールするドライバのデバイスの名前をダブルクリックします。
- 5 **Driver**（ドライバ） タブ → **Update Driver**（ドライバの更新） → **Browse my computer for driver software**（マイコンピュータでドライバソフトウェアを参照）をクリックします。

- 6 **Browse** (参照) をクリックして、あらかじめドライバファイルをコピーしておいた場所を参照します。
- 7 適切なドライバの名前が表示されたら、そのドライバ名 → **OK** → **Next** (次へ) とクリックします。
- 8 **Finish** (完了) をクリックして、コンピュータを再起動します。

ソフトウェアとハードウェアの問題に関する トラブルシューティング

デバイスが OS のセットアップ中に検知されない、または、検知されても設定が正しくない場合は、非互換性の問題を解決するためにハードウェアのトラブルシューティングを使用できます。

 **メモ** : Windows Vista[®] は新しいオペレーティングシステムなので、一部のデバイスをサポートするドライバまたはアプリケーションが存在しない場合があります。お使いのデバイスの Windows Vista のサポート情報に関しては、ハードウェアの製造元にご確認ください。

ハードウェアに関するトラブルシューティングを開始するには、次の手順を実行します。

Windows XP

- 1 **スタート** → **ヘルプとサポート** とクリックします。
- 2 検索フィールドでハードウェアに関するトラブルシューティングと入力し、<Enter> を押して検索を開始します。
- 3 **問題を解決する** セクションで、**ハードウェアに関するトラブルシューティング** をクリックします。
- 4 **ハードウェアに関するトラブルシューティング** のリストで、現在の不具合に最も近いオプションを選択し、**次へ** をクリックして、残りのトラブルの解決手順に従います。

Windows Vista

- 1 Windows Vista スタートボタン  をクリックし、**Help and Support** (ヘルプとサポート) をクリックします。
- 2 **Find an answer** (回答の検索) セクションで、**Troubleshooting** (トラブルシューティング) をクリックします。
または
検索フィールドに hardware troubleshooter (ハードウェアに関するトラブルシューティング) と入力し、<Enter> を押します。
- 3 検索結果で、現在の不具合に最も近いオプションを選択し、残りのトラブルの解決手順に従います。



メモ : **Troubleshooting** (トラブルシューティング) の分類項目で回答が見つからない場合、ウィンドウの上部の **Search Help** (検索ヘルプ) フィールドに質問を入力してオンラインヘルプにアクセスすることができます。

Microsoft® Windows Vista® オペレーティングシステムの復元

次の方法で、Windows Vista オペレーティングシステムを復元することができます。

- Windows Vista には **Backup and Restore Center** (バックアップと復元センター) があり、コンピュータ上の重要なファイルのバックアップまたはハードドライブ全体のバックアップを作成できます。必要に応じてオペレーティングシステムまたはファイルを復元できます。
- **Microsoft Windows Vista** システムの復元は、データファイルに影響を与えることなく、お使いのコンピュータを以前の動作状態に戻します。データファイルを保護しながら、オペレーティングシステムを復元する最初の解決策として、システムの復元を使用してください。手順については、**149** ページの「**Microsoft Windows** システムの復元の使い方」を参照してください。
- **Dell Factory Image Restore** は、ハードドライブをコンピュータ購入時の動作状態に戻します。**Dell Factory Image Restore** は、ハードドライブのすべてのデータを永久に削除し、コンピュータを受け取られてから後にインストールされたアプリケーションもすべて削除します。システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合のみ、**Dell Factory Image Restore** を使用してください。
- お使いのコンピュータに『オペレーティングシステム』ディスクが付属している場合は、これを使ってオペレーティングシステムを復元できます。ただし、『オペレーティングシステム』ディスクを使用すると、ハードディスクドライブのデータもすべて削除されます。システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合のみ、このディスクを使用してください。

Microsoft Windows Vista システムの復元の使い方

Windows Vista オペレーティングシステムは、システムの復元を提供しています。システムの復元を使って、ハードウェア、ソフトウェア、または他のシステム設定への変更が原因でコンピュータの動作に不具合が生じた場合は、(データファイルに影響を与えずに) 以前の稼動状態に戻すことができます。システムの復元の使い方については、**Windows** ヘルプとサポートセンターを参照してください。

Windows ヘルプとサポートセンターにアクセスするには、Windows Vista スタートボタン  → **Help and Support** (ヘルプとサポート) とクリックします。

 **注意:** データファイルのバックアップを定期的に作成してください。システムの復元は、データファイルを監視したり、データファイルを復元したりしません。

 **メモ:** このマニュアルの手順は、Windows のデフォルトビュー用ですので、お使いの Dell コンピュータを Windows クラシック表示に設定した場合は動作しない場合があります。

復元ポイントの作成

復元ポイントは、Windows Vista Back Up and Restore Center (バックアップと復元センター) で自動的に、または手動で作成できます。Windows Vista Backup and Restore Center (バックアップと復元センター) にアクセスするには、次の手順に従います。

- Windows Vista スタートボタン  → **Welcome Center** (ウェルカムセンター) をクリックします。 **Get started with Windows** (Windows の開始) セクションで、**Show all 14 items...** (すべての 14 個の項目の表示 ...) → **Back Up and Restore Center** (バックアップと復元センター) とクリックします。

または

- Windows Vista スタートボタン  → **All Programs** (すべてのプログラム) → **Maintenance** (メンテナンス) → **Back Up and Restore Center** (バックアップと復元センター) とクリックします。 **Tasks** (タスク) で **Create a restore point or change settings** (復元ポイントの作成または設定の変更) をクリックします。

詳細に関しては、次の手順を実行してください。

- 1 Windows Vista スタートボタン  → **Help and Support** (ヘルプとサポート) をクリックします。
- 2 検索フィールドでシステムの復元と入力し、次に <Enter> を押します。

コンピュータの以前の動作状態への復元

デバイスドライバをインストールした後に問題が発生した場合は、まずデバイスドライバのロールバック (140 ページの「Windows デバイスドライバのロールバックの使い方」を参照) を使用して問題を解決します。それでも問題を解決しない場合は、システムの復元を使用します。

 **注意:** コンピュータを以前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

- 1 Windows Vista スタートボタン  → **Control Panel** (コントロールパネル) → **System and Maintenance** (システムとメンテナンス) → **Back Up and Restore Center** (バックアップと復元センター) とクリックします。
- 2 **Tasks** (タスク) の一覧で、**Repair Windows using System Restore** (システムの復元を使って Windows を修復) をクリックします。
- 3 アプリケーションを実行する許可を求める **User Account Control** (ユーザーアカウント制御) (**UAC**) ダイアログボックスが表示されたら、**Continue** (続行) をクリックします。
- 4 **System Restore** (システムの復元) ウィンドウで **Next** (次へ) をクリックし、年代順に最新の復元ポイントを表示します。
- 5 復元ポイントの完全な一覧を表示するには、**Show restore points older than 5 days** (経過日数が 5 日を超えている復元ポイントを表示する) チェックボックスを選択します。
- 6 復元ポイントを選択します。最新の復元ポイントで復元します。復元しても問題が解決しない場合は、2 番目に古い復元ポイントを使用します。問題が解決するまで、この手順を繰り返します。選択した復元ポイントよりも後にインストールしたソフトウェアは、すべて再インストールする必要があります。
- 7 **Next** (次へ) → **Finish** (終了) とクリックします。
- 8 プロンプトが表示されたら、**Yes** (はい) をクリックします。
- 9 システムの復元がデータの収集を終えると、コンピュータが再起動します。
- 10 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

復元ポイントを変更するには、別の復元ポイントを使って手順を繰り返すか、または復元を取り消すことができます。

復元処理中にエラーメッセージが表示された場合は、画面のプロンプトに従ってエラーを修正します。

最後のシステムの復元を元に戻す



注意：最後に行ったシステムの復元を取り消す前に、開いているファイルをすべて保存して閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してください。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

- 1 Windows Vista スタートボタン  → **Help and Support** (ヘルプとサポート) をクリックします。
- 2 検索フィールドでシステムの復元と入力し、次に <Enter> を押します。
- 3 **Undo my last restoration** (以前の復元を取り消す) を選択して、**Next** (次へ) をクリックします。

コンピュータの工場出荷時の構成への復元

Dell Factory Image Restore オプションを使用すると、お使いのハードディスクドライブをデルから購入されたときの工場出荷時の構成に復元できます。このオプションは、**Windows Vista**® オペレーティングシステムがプリインストールされている Dell コンピュータに用意されています。エクスプレスアップグレードプロモーションで購入されたコンピュータまたは以前のバージョンの **Windows**® オペレーティングシステムから **Windows Vista** にアップグレードされたコンピュータには含まれていません。

 **注意**：コンピュータをデフォルトの工場出荷時の構成に復元すると、ハードディスクドライブに保存されているすべてのデータが削除されます。この手順を実行する前に、個人用ファイルのバックアップをとってください。個人用ファイルのバックアップをとらない場合、データは失われます。

- 1 コンピュータを再起動します。再起動するには、**Windows Vista** スタートボタン  →  → **Restart** (再起動) をクリックします。
- 2 コンピュータが再起動したら、画面に **Advanced Boot Options** (詳細起動オプション) メニューが表示されるまで <F8> を押します。

 **メモ**：<F8> キーは、Windows のロゴが画面に表示される前に押す必要があります。Windows のロゴが画面に表示されてから <F8> を押しても、画面に **Advanced Boot Options** (詳細起動オプション) メニューは表示されません。**Advanced Boot Options** (詳細起動オプション) メニューが表示されない場合はコンピュータを再起動し、このメニューが画面に表示されるまでこの手順を繰り返します。

- 3 <下矢印> を押して **Advanced Boot Options** (詳細起動オプション) メニューの **Repair Your Computer** (コンピュータの修理) を選択し、次に <Enter> を押します。
- 4 使用する言語設定を指定し、**Next** (次へ) をクリックします。
- 5 管理者権限を持つユーザーとしてログインし、**OK** をクリックします。
- 6 **Dell Factory Image Restore** をクリックします。
- 7 **Dell Factory Image Restore** ウィンドウで **Next** (次へ) をクリックします。
- 8 **Yes, reformat hard drive and restore system software to factory condition** (はい。ハードドライブを再フォーマットし、システムソフトウェアを工場出荷時の状態に復元します) チェックボックスを選択します。
- 9 **Next** (次へ) をクリックします。コンピュータがデフォルトの工場出荷時の構成に復元されます。
- 10 復元の操作が終了したら、**Finish** (終了) をクリックしてコンピュータを再起動します。

オペレーティングシステムメディアの使い方

作業を開始する前に

新しくインストールしたドライバの問題を解消するためには、Windows オペレーティングシステムの再インストールを検討する前に、Windows デバイスドライバのロールバックを試してみます（140 ページの「Windows デバイスドライバのロールバックの使い方」を参照）。デバイスドライバのロールバックを実行しても問題が解決されない場合は、システムの復元（149 ページの「Microsoft Windows システムの復元の使い方」を参照）を使用して、オペレーティングシステムを新しいドライバがインストールされる前の動作状態に戻します。



注意：インストールを実行する前に、お使いのプライマリハードディスクドライブ上のすべてのデータファイルのバックアップを作成しておいてください。標準的なハードディスクドライブ構成において、プライマリハードディスクドライブはコンピュータによって 1 番目のドライブとして認識されます。

Windows を再インストールするには、以下のアイテムが必要です。

- Dell 『オペレーティングシステム』メディア
- Dell 『Drivers and Utilities』メディア



メモ：『Drivers and Utilities』メディアには、コンピュータの組立時にインストールされたドライバが入っています。『Drivers and Utilities』メディアを使って、必要なドライバをロードします。お使いのコンピュータに RAID コントローラがある場合には、そのドライバもロードします。

Windows Vista の再インストール

再インストール処理を完了するには、1 ～ 2 時間かかることがあります。オペレーティングシステムを再インストールした後、デバイスドライバ、アンチウイルスプログラム、およびその他のソフトウェアを再インストールする必要があります。



注意：『オペレーティングシステム』メディアは、Windows の再インストール用のオプションを提供しています。オプションはファイルを上書きして、ハードディスクドライブにインストールされているプログラムに影響を与える可能性があります。このような理由から、デルのテクニカルサポート担当者の指示がない限り、Windows を再インストールしないでください。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 『オペレーティングシステム』メディアを挿入します。
- 3 Install Windows (Windows のインストール) のメッセージが表示されたら、**Exit** (終了) をクリックします。
- 4 コンピュータを再起動します。
DELL のロゴが表示されたらすぐに <F12> を押します。

 **メモ:** キーを押すのが遅れてオペレーティングシステムのロゴが表示された場合には、Microsoft Windows デスクトップが表示されてから、コンピュータをシャットダウンして、再度やりなおします。

 **メモ:** 次の手順は、起動順序を 1 回だけ変更します。次回の起動時には、コンピュータはセットアップユーティリティで指定したデバイスに従って起動します。

- 5 起動デバイス一覧が表示されたら、**CD/DVD/CD-RW Drive** をハイライト表示して、次に <Enter> を押します。
- 6 いずれかのキーを押して **CD-ROM から起動します**。
- 7 画面の指示に従ってインストールを完了します。

 **メモ:** ハードディスクドライブをご自分で再フォーマットした場合には、Dell MediaDirect を再インストールすることはできません。Dell MediaDirect を再インストールするには、インストール用のソフトウェアが必要です。159 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムの復元

- システムの復元は、データファイルに影響を与えることなく、お使いのコンピュータを以前の状態に戻します。データファイルを保護しながら、オペレーティングシステムを復元する最初の解決策として、システムの復元を使用してください。
- Dell PC リストア by Symantec は、ハードディスクドライブをコンピュータ購入時の状態に戻します。ハードディスクドライブのすべてのデータを永久に削除し、コンピュータを受け取られてから後にインストールしたすべてのアプリケーションを取り除きます。システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合のみ、Dell PC リストアを使用してください。
- お使いのコンピュータに『オペレーティングシステム』ディスクが付属している場合は、これを使ってオペレーティングシステムを復元できます。ただし、『オペレーティングシステム』ディスクを使用すると、ハードディスクドライブのデータもすべて削除されます。システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合のみ、このディスクを使用してください。

Microsoft Windows システムの復元の使い方

Windows オペレーティングシステムは、システムの復元を提供しています。システムの復元を使って、ハードウェア、ソフトウェア、または他のシステム設定への変更が原因でコンピュータの動作に不具合が生じた場合は、(データファイルに影響を与えずに) 以前の稼動状態に戻すことができます。システムの復元の使い方については、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。

 **注意**：データファイルのバックアップを定期的に作成してください。システムの復元は、データファイルを監視したり、データファイルを復元したりしません。

 **メモ**：このマニュアルの手順は、Windows のデフォルトビュー用ですので、お使いの Dell コンピュータを Windows クラシック表示に設定した場合は動作しない場合があります。

システムの復元の開始

 **注意**：コンピュータを以前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

- 1 **Start** (スタート) → **All Programs** (すべてのプログラム) → **Accessories** (アクセサリ) → **System Tools** (システムツール) → **System Restore** (システムの復元) とクリックします。
- 2 **Restore my computer** (コンピュータを以前の状態に復元する) または **Create a restore point** (復元ポイントの作成) のいずれかをクリックします。
- 3 **Next** (次へ) をクリックして、表示される画面の指示に従って残りの処理を行います。

システムの復元により不具合が解決しなかった場合、最後に行ったシステムの復元を取り消すことが可能です。

最後のシステムの復元を元に戻す

 **注意**：最後に行ったシステムの復元を取り消す前に、開いているファイルをすべて保存して閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してください。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

- 1 **Start** (スタート) → **All Programs** (すべてのプログラム) → **Accessories** (アクセサリ) → **System Tools** (システムツール) → **System Restore** (システムの復元) とクリックします。
- 2 **Undo my last restoration** (以前の復元を取り消す) をクリックし、**Next** (次へ) をクリックします。

システムの復元の有効化



メモ：200 MB より空容量が少ないハードディスクに Windows XP を再インストールした場合、システムの復元は自動的に無効に設定されています。

システムの復元が有効になっているか確認するには、次の手順を実行します。

- 1 **Start** (スタート) → **Control Panel** (コントロールパネル) → **Performance and Maintenance** (パフォーマンスとメンテナンス) → **System** (システム) とクリックします。
- 2 **System Restore** (システムの復元) タブをクリックして、**Turn off System Restore** (すべてのドライブでシステムの復元を無効にする) にチェックマークが付いていないことを確認します。

Dell™ PC リストアの使い方



注意：Dell PC リストアは、ハードディスクドライブのすべてのデータを完全に削除し、コンピュータがお手元に届いてからインストールしたすべてのプログラムを削除します。これらのオプションを使用する前にデータをバックアップしてください。システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合のみ、PC リストアを使用してください。



メモ：Symantec による Dell PC リストアは、一部の国やコンピュータでは利用できない場合があります。

Dell PC リストアは、オペレーティングシステムを復元する最後の手段としてのみ使用してください。これらのオプションは、お使いのハードディスクドライブを、コンピュータを購入されたときの状態に戻します。コンピュータを受け取られてから追加されたデータファイルを含むどのようなプログラムやファイルも永久にハードディスクドライブから削除されます。データファイルには、コンピュータ上の文書、表計算、メールメッセージ、デジタル写真、ミュージックファイルなどが含まれます。PC リストアを使用する前に、データをバックアップします。

PC リストアを使用するには、次の手順を実行します。

- 1 コンピュータの電源を入れます。
起動プロセスの間に、画面の上部に青色のバーで **www.dell.com** と表示されます。
- 2 青色のバーが表示されたら、すぐに **<Ctrl><F11>** を押します。
<Ctrl><F11> を押すのが遅れた場合は、いったんコンピュータが起動（スタート）し終わるのを待って、もう一度再起動します。



注意：PC リストアをこれ以上進めたくない場合は、**Reboot** (再起動) をクリックします。

- 3 **Restore** (復元) をクリックしてから、**Confirm** (確認) をクリックします。
復元処理が完了するまでに、約 6 ~ 10 分かかります。

- 4 プロンプトが表示されたら、**Finish**（終了）をクリックしてコンピュータを再起動します。



メモ：コンピュータを手動でシャットダウンしないでください。**Finish**（終了）をクリックし、コンピュータを完全に再起動させます。

- 5 プロンプトが表示されたら、**Yes**（はい）をクリックします。
コンピュータは再起動します。コンピュータは初期の稼動状態に復元されるため、エンドユーザーライセンス契約のようにいちばん初めにコンピュータのスイッチを入れたときと同じ画面が表示されます。

- 6 **Next**（次へ）をクリックします。

System Restore（システムの復元）画面が表示され、コンピュータが再起動します。

- 7 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

ハードディスクドライブから PC リストアを削除するには、次の手順を実行します。



注意：Dell PC リストアをハードディスクドライブから永久に削除すると、PC リストアユーティリティがお使いのコンピュータから削除されます。Dell PC リストアを削除すると、Dell PC リストアを使ってお使いのコンピュータのオペレーティングシステムを復元することはできません。

PC リストアを使用すると、オペレーティングシステムを、コンピュータをご購入になった時の状態に戻すことができます。ハードディスクドライブのスペースを増やすためであっても、お使いのコンピュータから **PC リストアを削除しない**ことをお勧めします。ハードディスクドライブから PC リストアを削除すると、今後、PC リストアを呼び出すことができず、PC リストアを使用してコンピュータのオペレーティングシステムを、出荷時の状態に戻すことができなくなります。

- 1 コンピュータにローカルのシステム管理者としてログオンします。
- 2 Microsoft Windows エクスプローラで、**c:\dell\utilities\DSR** に移動します。
- 3 **DSRIRRemv2.exe** ファイルをダブルクリックします。



メモ：ローカルのシステム管理者としてログオンしない場合は、ローカルのシステム管理者としてログオンするようメッセージが表示されます。**Quit**（終了）をクリックして、ローカルのシステム管理者としてログオンします。



メモ：お使いのコンピュータのハードディスクドライブに PC リストア用パーティションがない場合、パーティションが見つからないことを知らせるメッセージが表示されます。**Quit**（終了）をクリックします。削除するパーティションがありません。

- 4 **OK** をクリックして、ハードディスクドライブの PC リストア用パーティションを取り除きます。
- 5 確認のメッセージが表示されたら、**Yes**（はい）をクリックします。

PC リストア用パーティションが削除され、新しくできた使用可能ディスクスペースが、ハードディスクドライブのフリースペースの割り当てに加えられます。

- 6 Windows エクスプローラで **Local Disk (C)** (ローカルディスク (C)) を右クリックし、**Properties** (プロパティ) をクリックして、**Free Space** (空き領域) に追加されたスペースが加えられていることを確認します。
- 7 **Finish** (終了) をクリックして、**PC Restore Removal** (PC リストアの削除) ウィンドウを閉じて、コンピュータを再起動します。

オペレーティングシステムメディアの使い方

作業を開始する前に

新しくインストールしたドライバの問題を解消するために Windows オペレーティングシステムを再インストールすることを検討する前に、Windows デバイスドライバのロールバックを試してみます (140 ページの「Windows デバイスドライバのロールバックの使い方」を参照)。デバイスドライバのロールバックを実行しても問題が解決されない場合は、システムの復元 (149 ページの「Microsoft Windows システムの復元の使い方」を参照) を使用して、オペレーティングシステムを新しいドライバがインストールされる前の動作状態に戻します。

 **注意:** インストールを実行する前に、お使いのプライマリハードディスクドライブ上のすべてのデータファイルのバックアップを作成しておいてください。標準的なハードディスクドライブ構成において、プライマリハードディスクドライブはコンピュータによって 1 番目のドライブとして認識されます。

Windows を再インストールするには、以下のアイテムが必要です。

- Dell 『オペレーティングシステム』メディア
- Dell 『Drivers and Utilities』メディア

 **メモ:** 『Drivers and Utilities』メディアには、コンピュータの組立時にインストールされたドライバが入っています。『Drivers and Utilities』メディアを使って、必要なドライバをロードします。お使いのコンピュータに RAID コントローラがある場合には、そのドライバもロードします。

Windows XP の再インストール

再インストール処理を完了するには、1 ~ 2 時間かかることがあります。オペレーティングシステムを再インストールした後、デバイスドライバ、アンチウイルスプログラム、およびその他のソフトウェアを再インストールする必要があります。



注意：『オペレーティングシステム』メディアは、Windows の再インストール用のオプションを提供しています。オプションはファイルを上書きして、ハードディスクドライブにインストールされているプログラムに影響を与える可能性があります。このような理由から、デルのテクニカルサポート担当者の指示がない限り、Windows を再インストールしないでください。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 『オペレーティングシステム』メディアを挿入します。
- 3 Windows のインストール のメッセージが表示されたら、**Exit**（終了）をクリックします。
- 4 コンピュータを再起動します。

DELL のロゴが表示されたらすぐに <F12> を押します。



メモ：キーを押すのが遅れてオペレーティングシステムのロゴが表示された場合には、Microsoft Windows デスクトップが表示されてから、コンピュータをシャットダウンして、再度やりなおします。



メモ：次の手順は、起動順序を 1 回だけ変更します。次回の起動時には、コンピュータはセットアップユーティリティで指定したデバイスに従って起動します。

- 5 起動デバイス一覧が表示されたら、**CD/DVD/CD-RW Drive** をハイライト表示して、次に <Enter> を押します。
- 6 いずれかのキーを押して **CD-ROM** から起動します。
- 7 画面の指示に従ってインストールを完了します。



メモ：ハードディスクドライブをご自分で再フォーマットした場合には、Dell MediaDirect を再インストールすることはできません。Dell MediaDirect を再インストールするには、インストール用のソフトウェアが必要です。159 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

Dell™ QuickSet 機能



メモ: この機能はお使いのコンピュータで使用できない場合があります。

Dell™ QuickSet を使用すると、次に示すタイプの設定や、その設定の表示を簡単に行うことができます。

- ネットワークの接続性
- 電力の管理
- ディスプレイ
- システム情報

QuickSet で実行する内容に応じて、Microsoft® Windows® タスクバーにある QuickSet アイコンを クリック、ダブルクリック、または 右クリック して、QuickSet を起動します。タスクバーは画面の右下隅にあります。

QuickSet の詳細に関しては、QuickSet アイコンを右クリックして、**ヘルプ** をクリックします。

ノートブックコンピュータを携帯するとき

コンピュータの識別

- コンピュータにネームタグまたはビジネスカードを取り付けます。
- サービスタグをメモして、コンピュータやキャリングケースとは別の安全な場所に保管します。
- コンピュータを紛失したり盗難に遭ったりした場合、警察等の公的機関およびデルに連絡する際に、このサービスタグをお知らせください。
- Microsoft® Windows® デスクトップに、**PC の所有者** というファイルを作成します。名前、住所、および電話番号などの情報をこのファイルに記入しておきます。
- クレジットカード会社に問い合わせ、ID タグコードを発行しているかを確認します。

コンピュータの梱包

- コンピュータに取り付けられているすべての外付けデバイスを取り外して、安全な場所に保管します。PC カードに接続されているすべてのケーブルを取り外し、すべての拡張型 PC カードを取り外します。67 ページの「カードの使い方」を参照してください。
 - メインバッテリーおよび携帯するすべての予備バッテリーをフル充電します。
 - コンピュータをシャットダウンします。
 - AC アダプタを取り外します。
- ➡ 注意：**ディスプレイを閉じる際に、キーボードまたはパームレスト上に物が残っているとディスプレイに損傷を与える恐れがあります。
- ペーパークリップ、ペン、および紙などの物をキーボードまたはパームレスト上から取り除いた後、ディスプレイを閉じます。
 - コンピュータとアクセサリを一緒に入れる場合は、オプションの Dell™ キャリングケースをご利用ください。
 - 荷造りの際、コンピュータをシェービングクリームやコロン、香水、食べ物などと一緒に入れないでください。

- ➡ **注意**：低温の環境から暖かいところに、または高温の環境から涼しいところにコンピュータを移動する場合は、1時間程室温にならしてから電源を入れてください。
- コンピュータ、バッテリー、およびハードディスクドライブは、直射日光、汚れ、ほこり、液体などから保護し、極端に高温や低温になる場所を避けてください。
- コンピュータは、車のトランクまたは飛行機の手荷物入れの中で動かないように梱包してください。

携帯中のヒントとアドバイス

- ➡ **注意**：データ損失を防ぐために光学ドライブを使用している間は、コンピュータを動かさないでください。
- ➡ **注意**：コンピュータを荷物として預けないでください。
- バッテリーの時間を最大にするために、ワイヤレスアクティビティを無効にします。ワイヤレスアクティビティを無効にするには、<Fn><F2> を押します。
- バッテリー駆動時間を最大にするために、電源管理のオプションの設定を変更してみます（55 ページの「電源管理の設定」を参照）。
- 海外にコンピュータを携帯する場合は、通関で所有や使用权を証明する書類（会社所有のコンピュータの場合）が必要な場合があります。訪問予定国の通関規則を調べた上で、自国政府から国際通行許可証（商品パスポートとも呼ばれます）を取得するようお勧めします。
- 渡航先の国ではコンセントの形状がどのタイプなのか確認しておいて下さい。また、それに合ったパワーアダプターを携帯してください。
- クレジットカード会社の多くは、困ったときに便利なサービスをノートブックコンピュータユーザーに提供していますのでご確認ください。

飛行機内での利用

- ➡ **注意**：コンピュータは、金属探知機には絶対に通さないでください。X線探知機に通すか、手検査を依頼してください。
- 手荷物チェックの際に、コンピュータに電源を入れてチェックする場合もあるので、必ず充電されたバッテリーか、ACアダプタと電源ケーブルを携帯してください。
- 飛行機に搭乗する前に、コンピュータの使用が許可されていることを確認してください。航空会社によっては、飛行中の電子機器の使用を禁止している場合があります。すべての航空会社が離着陸の際の使用を禁止しています。

デルへのお問い合わせ

 **メモ**：有効なインターネット接続が利用できない場合、お問い合わせ先の情報はお買い上げ明細書、梱包内容明細書、請求書、または Dell 製品カタログでご参照いただけます。

デルでは、各種のオンラインとお電話によるサポートおよびサービスのオプションを提供しています。国および製品によって、対応範囲に違いがあり、サービスによってはお客様の地域でご利用いただけない場合があります。営業、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスの問題に関するデルへのお問い合わせは次の手順を実行します。

- 1 **support.jp.dell.com** へアクセスします。
- 2 ページの下部にある **国 / 地域** ドロップダウンメニューで、お客様の国または地域を確認します。
- 3 ページの左側にある **お問い合わせ** をクリックします。
- 4 必要に応じて、適切なサービスまたはサポートのリンクを選択します。
- 5 ご都合に合ったデルへのお問い合わせ方法をお選びください。

仕様

プロセッサ

| | |
|-----------------|---------------------------------|
| プロセッサの種類 | AMD Turion™ 64 または AMD Sempron™ |
| L1 キャッシュ | 128 KB |
| L2 キャッシュ | 256 KB、512 KB、1 MB |
| 外付けバスの周波数 (FSB) | 533 MHz |

システム情報

| | |
|--------------|-----------------------|
| システムチップセット | ATI RS485M/SB600 |
| データバス幅 | 64 ビット |
| DRAM バス幅 | デュアルチャネル (2) 64 ビットバス |
| プロセッサアドレスバス幅 | 40 ビット |
| フラッシュ EPROM | 1 MB |
| グラフィックスバス | 内蔵 |
| PCI バス | 32 ビット |

ExpressCard

| | |
|---------------------|---|
| ExpressCard コントローラ | ATI SB600 |
| ExpressCard コネクタ | ExpressCard スロット (54 mm) X 1 |
| サポートするカード | ExpressCard/54 (54 mm) 3.3 V および 1.5 V |
| ExpressCard コネクタサイズ | 26 ピン |

3-in-1 メディアメモリカードリーダー

| | |
|---------------------------|------------------------------|
| 3-in-1 メディアメモリカードコントローラ | Ricoh R5C832 |
| 3-in-1 メディアメモリカードコネクタ | 3-in-1 コンボカードコネクタ |
| サポートするカード | SD/SDIO/MMC |
| 3-in-1 メディアメモリカードコネクタのサイズ | 30.55 mm x 28.9 mm x 4.55 mm |

メモリ

| | |
|--------------|--------------------|
| メモリモジュールコネクタ | SODIMM コネクタ× 2 |
| メモリモジュールの容量 | 256 MB、512 MB、1 GB |
| メモリのタイプ | 1.8 V SODIMM DDR 2 |
| 最小メモリ | 256 MB |
| 最大搭載メモリ | 2 GB |

ポートとコネクタ

| | |
|------------|-------------------------------|
| オーディオ | マイクコネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカコネクタ |
| Mini カード | タイプ IIIA ミニカードスロット |
| モデム | RJ-11 ポート |
| ネットワークアダプタ | RJ-45 ポート |
| USB | 4 ピン USB 2.0 対応コネクタ X 4 |
| ビデオ | 15 ピンコネクタ (メス) |

通信

| | |
|------------|------------------------------|
| モデム : | |
| タイプ | v.92 データ /Fax MDC モデム |
| コントローラ | ソフトモデム |
| インタフェース | HAD バス |
| ネットワークアダプタ | システム基板搭載 10/100 Ethernet LAN |
| ワイヤレス | 内蔵 PCI-e ミニカード WLAN |

ビデオ

| | |
|-------------|--|
| ビデオタイプ : | システム基板内蔵 |
| ビデオコントローラ | ATI R485M |
| ビデオメモリ | 最大 128 MB の共有メモリ (システムメモリが 256 MB の場合) または 224 MB の共有メモリ (システムメモリが 512 MB 以上の場合) |
| LCD インタフェース | LVDS |

オーディオ

| | |
|-------------|---------------------------------|
| オーディオタイプ | 2チャンネルハイ・デフィニッション・オーディオコーデック |
| オーディオコントローラ | Sigmatel STAC9200 コーデック |
| ステレオ変換 | 24ビット（デジタル変換、アナログ変換） |
| インタフェース： | |
| 内蔵 | Azalia ハイ・デフィニッション・オーディオ |
| 外付け | マイク入力コネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカコネクタ |
| スピーカ | 8Ω スピーカ × 2 |
| 内蔵スピーカアンプ | 1W チャンネル（8Ω） |
| ボリュームコントロール | ショートカットキー、プログラムメニュー |

ディスプレイ

| | |
|----------------------|--|
| タイプ（アクティブマトリックス TFT） | 15.4 インチ WXGA |
| ディスプレイエリア（15.4 インチ）： | |
| 縦幅 | 207 mm |
| 横幅 | 331.2 mm |
| 対角線 | 391.2 mm |
| 最大解像度 | 262,144 色で 1280 × 800 |
| リフレッシュレート | 60 Hz |
| 動作角度 | 0（閉じた状態）～ 180° |
| 可視角度： | |
| 水平方向 | 最低限で ±40° |
| 垂直方向 | 最低限で +10°/-30° |
| ピクセルピッチ： | |
| 15.4 インチ | 0.259 mm |
| コントロール | 輝度はショートカットキーによって調節可能（46 ページの「ディスプレイ関連」を参照） |

キーボード

| | |
|-------|-------------------------------|
| キー数 | 87（米国およびカナダ）、88（ヨーロッパ）、91（日本） |
| レイアウト | QWERTY / AZERTY / 漢字 |

タッチパッド

X/Y 位置解像度 (グラフィックステープルモード) 240 cpi

寸法:

横幅 73.0 mm (センサー感知領域)
縦幅 42.9 mm の長方形

バッテリー

タイプ 9 セル「スマート」リチウムイオン
6 セル「スマート」リチウムイオン
4 セル「スマート」リチウムイオン (利用可能な場合)

寸法:

長さ 60.1 mm (9 セル)
49 mm (6 セル)
49 mm (4 セル、利用可能な場合)
縦幅 24 mm
横幅 206.8 mm

重量 0.48 kg (9 セル)
0.32 kg (6 セル)
0.25 kg (4 セル、利用可能な場合)

電圧 11.1 VDC (6 セルと 9 セル)
14.8 VDC (4 セル、利用可能な場合)

充電時間 (概算):

電源が切れている場合 3.5 時間 (9 セル)
2.5 時間 (6 セル)
2.5 時間 (4 セル、利用可能な場合)

動作時間

バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費するような状況ではかなり短くなる可能性があります。131 ページの「電源の問題」を参照してください。

寿命 (概算)

バッテリーの寿命の詳細については、51 ページの「バッテリーの使い方」を参照してください。
300 回 (充電 / 放電)

バッテリー (続き)

温度範囲：

| | |
|-----|-------------|
| 動作時 | 0 ~ 35 °C |
| 保管時 | -40 ~ 60 °C |

コイン型電池 CR-2032

AC アダプタ

| | |
|---------------|--------------------------------------|
| 入力電圧 | 100 ~ 240 VAC |
| 入力電流 (最大) | 1.5 A |
| 入力周波数 | 50 ~ 60 Hz |
| 出力電流 | 4.34 A (4 秒パルスのとき最大)、3.34 A (継続) |
| 出力電力 | 65 W |
| 定格出力電圧 | 19.5 +/-1.0 VDC |
| 寸法： | |
| 縦幅 | 28.2 mm |
| 横幅 | 57.9 mm |
| 長さ | 137.2 mm |
| 重量 (ケーブル含む) | 0.36 kg |
| 温度範囲： | |
| 動作時 | 0 ~ 35 °C |
| 保管時 | -40 ~ 65 °C |

サイズと重量

| | |
|------------------------|----------|
| 縦幅 | 36 mm |
| 横幅 | 356 mm |
| 長さ | 265.5 mm |
| 重量 (6 セルバッテリー装着の場合)： | |
| 構成可能な最大重量 | 2.9 kg |

環境

温度範囲：

| | |
|-----|-------------|
| 動作時 | 0 ~ 35 °C |
| 保管時 | -40 ~ 65 °C |

相対湿度（最大）：

| | |
|-----|--------------------|
| 動作時 | 10 ~ 90 %（結露しないこと） |
| 保管時 | 5 ~ 95 %（結露しないこと） |

最大振動（ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用時）：

| | |
|-----|----------|
| 動作時 | 0.9 GRMS |
| 保管時 | 1.3 GRMS |

最大衝撃

メモ：最大衝撃は、動作時にヘッド停止位置にあるハードディスクドライブと 2 ミリ秒のハーフサインパルスで測定され、保管時にヘッド停止位置にあるハードディスクドライブと 2 ミリ秒のハーフサインパルスで測定されます。

| | |
|-----|-------|
| 動作時 | 122 G |
| 保管時 | 163 G |

高度（最大）：

| | |
|-----|------------------|
| 動作時 | -15.2 ~ 3,048 m |
| 保管時 | -15.2 ~ 10,668 m |

空気中のほこりなどのレベル

G2 または ISA-S71.04-1985 により規定されたレベルより低いこと

付録

セットアップユーティリティの使い方

 **メモ:** セットアップユーティリティで使用可能なオプションのほとんどは、オペレーティングシステムによって自動的に設定され、ご自身がセットアップユーティリティで設定したオプションを無効にします。 **External Hot Key** オプションは例外で、セットアップユーティリティからのみ有効または無効に設定できます。オペレーティングシステムの設定機能の詳細に関しては、ヘルプとサポートセンターにアクセスしてください。Windows XP でヘルプとサポートセンターにアクセスするには、**スタート → ヘルプとサポート** とクリックします。Windows Vista™ では、Windows Vista スタートボタン  → **Help and Support** (ヘルプとサポート) とクリックします。

以下のような場合に、セットアップユーティリティを使用します。

- ユーザーが選択可能な機能、たとえばコンピュータのパスワードを設定または変更する場合
- システムのメモリ容量など現在の設定情報を確認する場合

コンピュータをセットアップしたら、セットアップユーティリティを起動して、システム設定情報とオプション設定を確認します。後で参照できるように、画面の情報を控えておいてください。

セットアップユーティリティ画面では、以下のような現在のコンピュータのセットアップ情報や設定が表示されます。

- システム設定
- 起動順序
- 起動設定およびドッキングデバイス構成の設定
- 基本デバイス構成の設定
- システムセキュリティおよびハードディスクドライブのパスワード設定

 **メモ:** 熟練したコンピュータのユーザーであるか、またはデルテクニカルサポートから指示された場合を除き、セットアップユーティリティプログラムの設定を変更しないでください。設定を間違えるとコンピュータが正常に動作しなくなる可能性があります。

セットアップユーティリティ画面の表示

- 1 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
- 2 DELL™ のロゴが表示されたらすぐに <F2> を押します。ここで入力が遅れて、Microsoft® Windows® ロゴが表示された場合、Windows デスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やりなおします。

セットアップユーティリティ画面



メモ：セットアップユーティリティ画面上の特定のオプションの情報を参照するには、そのオプションをハイライト表示して、画面の **Help** 領域を参照してください。

各画面で、セットアップユーティリティのオプションは左側に表示されます。各オプションの右側には、オプションの設定またはオプションの数値が表示されています。画面の明るい色で表示されているオプションの設定は、変更することができます。コンピュータで自動設定され、変更できないオプションは、明るさを抑えた色で表示されています。

画面の右上角には、現在ハイライト表示されているオプションについての説明が表示されています。画面の右下角には、コンピュータのシステム情報が表示されています。画面の下部には、セットアップユーティリティで使用できるキーの機能が表示されています。

Menu bar — メニューバーは、セットアップユーティリティで使用可能な設定の主要カテゴリのリストです。メニューを移動するには、左右の矢印キーを使用します。

Options List — このフィールドは、セットアップユーティリティウィンドウの左側に表示されます。フィールドは、お使いのコンピュータの設定を定義する機能が含まれたスクロール可能なリストです。

Item Specific Help — このフィールドには、各オプションおよび設定を変更する際に使用するキーに関する情報が含まれます。

上下矢印キーを使って、一覧を上下にスクロールします。オプションをハイライト表示にすると、**Item Specific Help** ウィンドウにそのオプションの詳細、現在の設定、および利用可能な設定が表示されます。オプションが設定可能な場合、<Enter> を押してその設定のオプションを表示または変更することができます。

Key Functions — このフィールドは **Option Field** の下に表示され、アクティブなセットアップユーティリティフィールド内に、キーとその機能が一覧表示されます。

通常使用するオプション

特定のオプションでは、新しい設定を有効にするためにコンピュータを再起動する必要があります。

起動順序の変更

起動順序は、オペレーティングシステムを起動するのに必要なソフトウェアがどこにあるかをコンピュータに知らせます。セットアップユーティリティの **Boot Order** ページを使って、起動順序を管理し、デバイスを有効または無効にできます。

 **メモ**：一回のみ起動順序を変更するには、170 ページの「一回のみの起動の実行」を参照してください。

Boot Order ページでは、お使いのコンピュータに搭載されている起動可能なデバイスの全般的なリストが表示されます。以下のような項目がありますが、これ以外の項目が表示されることもあります。

- **Diskette Drive**
- **Internal HDD**
- **USB Storage Device**
- **CD/DVD/CD-RW drive**
- **Modular bay HDD**

 **メモ**：前に番号が付いているデバイスだけが起動可能です。

起動ルーチン中に、コンピュータは有効なデバイスをリストの先頭からスキャンし、オペレーティングシステムのスタートアップファイルを検索します。コンピュータがファイルを検出すると、検索を終了してオペレーティングシステムを起動します。

起動デバイスを制御するには、上矢印キーまたは下矢印キーを押してデバイスを選び（ハイライト表示）ます。これでデバイスを有効または無効にしたり、一覧の順序を変更したりできます。

- デバイスを有効または無効にするには、アイテムをハイライト表示して、スペースキーを押します。有効なアイテムは前に番号が付いており、無効にされたアイテムは前に番号が付いていません。
- リスト内のデバイスの順序を変更するには、デバイスをハイライト表示し、<u> を押してデバイスをリストの上部に移動するか、または <d> を押してリストの下部に移動します。

新しい起動順序は、変更を保存し、セットアップユーティリティを終了するとすぐに有効になります。

一回のみの起動の実行

セットアップユーティリティを起動せずに一回だけの起動順序が設定できます。(ハードディスクドライブ上の診断ユーティリティパーティションにある **Dell Diagnostics** (診断) プログラムを起動するためにこの手順を使うこともできます。)

- 1 **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします。
- 2 コンピュータをコンセントに接続します。
- 3 コンピュータの電源を入れます。**DELL** のロゴが表示されたらすぐに **<F12>** を押します。ここで時間をおきすぎて **Windows** のロゴが表示されたら、**Windows** のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やりなおします。
- 4 起動デバイス一覧が表示された場合は、起動したいデバイスをハイライト表示して、**<Enter>** を押します。

コンピュータは選択されたデバイスを起動します。

次回コンピュータを再起動するときは、以前の起動順序に戻ります。

コンピュータのクリーニング

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』にある安全にお使いいただくための注意に従ってください。

コンピュータ、キーボード、およびディスプレイ

 **警告**：コンピュータのクリーニングを行う前に、コンピュータをコンセントから外し、取り付けられているバッテリーを外します。コンピュータのクリーニングには、水で湿らせた柔らかい布をお使いください。液体クリーナーやエアゾールクリーナーは使用しないでください。可燃性物質を含んでいる場合があります。

- 圧縮エアースプレーを使って、キーボード上のキーの間などにあるゴミを取り除き、ディスプレイの埃や糸くずを取り除きます。

 **注意**：コンピュータやディスプレイへの損傷を防ぐため、ディスプレイに直接クリーナーをスプレーしないでください。ディスプレイ専用のクリーニング用品のみお使いいただき、その製品に付属している手順書に従ってください。

- 糸くずでない柔らかい布を水またはディスプレイ専用クリーナーで湿らせます。アルコールやアンモニアベースのクリーナーは使用しないでください。ディスプレイの中心から端に向かって丁寧に拭き取り、ディスプレイの汚れや指紋を取り除きます。力を入れ過ぎないでください。

 **注意**：反射防止コーティングへの損傷を防ぐため、ディスプレイは洗剤やアルコール液で拭かないでください。

- 水で湿らせた柔らかく糸くずの出ない布で、コンピュータとキーボードを拭きます。布から水がにじみ出てタッチパッドやパームレストにしみ込まないようにしてください。
- モニタの画面をクリーニングする場合は、柔らかくきれいな布を水でわずかに湿らせてください。モニターの静電気防止コーティング用の画面クリーニングティッシュや溶液を使用することもできます。
- キーボード、コンピュータ、モニターのプラスチックは、水 3 に対し食器用洗剤 1 を混ぜ合わせた溶液で湿らせたクリーニング用の柔らかい布を使用して拭きます。

この溶液に布を浸さないでください。また、コンピュータやキーボードの内部に溶液が入らないようにしてください。

タッチパッド

- 1 シャットダウンして、コンピュータの電源を切ります。87 ページの「コンピュータの電源を切る」を参照してください。
- 2 コンピュータに取り付けられているすべてのデバイスを取り外して、コンセントから抜きます。
- 3 取り付けられているすべてのバッテリーを取り外します。51 ページの「バッテリーの使い方」を参照してください。

水で湿らせた柔らかく糸くずの出ない布で、タッチパッドの表面をそっと拭きます。布から水がにじみ出てタッチパッドやパームレストにしみ込まないようにしてください。

マウス



注意: マウスは、コンピュータから外してからクリーニングしてください。

画面のカーソルが飛んだり、異常な動きをする場合、マウスをクリーニングします。

非光学式マウスのクリーニング

- 1 低刺激性の清浄液で湿らせた布でマウスの外側のケースを拭きます。
- 2 マウスの底の固定リングを反時計回りに回し、次にボールを取り出します。
- 3 清潔で糸くずのでない布でボールを拭きます。
- 4 ボールケースの中に慎重に風を送るか、または圧縮空気の缶スプレーを使用して、ほこりやくずを取り除きます。
- 5 ボールケースの中にあるローラーが汚れている場合、消毒用アルコール（イソプロピルアルコール）を軽く浸した綿棒を使って、ローラーの汚れを拭き取ります。

- 6 ローラーが溝からずれてしまった場合、中央になおします。綿棒の綿毛がローラーに残っていないか確認します。
- 7 ボールと固定リングをマウスに取り付けて、固定リングを時計回りに回して元の位置にはめ込みます。

光学式マウスのクリーニング

低刺激性の清浄液で湿らせた布でマウスの外側のケースを拭きます。

フロッピードライブ

- ➡ **注意**：ドライブヘッドを綿棒でクリーニングしないでください。ヘッドの位置がずれてドライブが動作しなくなることがあります。

市販のクリーニングキットを使ってフロッピードライブをクリーニングします。これらのキットには、通常の使用によって付いたドライブヘッドの汚れを落とすように前処理されたフロッピーが入っています。

CD および DVD

- ➡ **注意**：CD/DVD ドライブのレンズの手入れには、必ず圧縮空気を使用して、圧縮空気に付属しているマニュアルに従ってください。ドライブのレンズには絶対に触れないでください。

CD や DVD がスキップしたり、音質や画質が低下したりする場合、ディスクを掃除します。

- 1 ディスクの外側の縁を持ちます。中心の穴の縁にも触ることができます。

- ➡ **注意**：円を描くようにディスクを拭くと、ディスク表面に傷をつける恐れがあります。

- 2 柔らかく、糸くずの出ない布でディスクの裏側（ラベルのない側）を中央からまっすぐ外側の縁に向かってそっと拭きます。

頑固な汚れは、水または刺激性の少ない石鹼の希釈溶液を使用します。ディスクの汚れを落とし、ほこりや指紋、ひっかき傷などからディスクを保護する市販のディスククリーナーもあります。CD 用のクリーナーは DVD にも使用できます。

FCC の通達（アメリカ合衆国のみ）

FCC クラス B

この装置は、ラジオ周波数のエネルギーを発生、使用、放射する可能性があります。製造元のマニュアルに従わずに取り付けて使用した場合、ラジオやテレビに受信障害を生じさせる場合があります。本装置は、試験の結果、FCC 規則パート 15 に準拠するクラス B デジタル装置の規制に適合しています。

この装置は FCC（米国連邦通信委員会）規定の第 15 項に適合しています。次の 2 つの条件にしたがって使用してください。

- 本装置が有害な障害を引き起こさないこと。
- 本装置は、受信障害を起こすと、望ましくない操作が必要になる場合もあります。



注意: FCC 規則では、デルによって明確に許可されていない変更修正を行った場合、その装置を使用する権限が無効になることがあると規定されています。

この規制は、個人の家に取り付けられた場合に、有害な障害に対する適正な保護を提供するよう設計されています。ただし、特定の設定で電波障害が発生しないという保証はありません。本装置のスイッチをオンオフすることにより、本装置がラジオやテレビに受信障害を引き起こしていることが確認された場合は、次の方法をお試しになるようお勧めします。

- 受信アンテナの方向を変えてください。
- 受信機に対してシステムを再配置してください。
- 受信機からシステムを遠ざけてください。
- システムを別のコンセントにつないで、システムと受信機を別々の分岐回路上に置いてください。

詳細については、デルの担当者またはラジオ / テレビの技術者にご相談ください。次の情報は、FCC 規則に準拠する本書で取り扱う装置に関するものです。

| | |
|---------|---|
| 製品名 : | Dell™ Vostro™ 1000 |
| モデル番号 : | PP23LB |
| 会社名 : | Dell Inc. Worldwide Regulatory Compliance & Environmental Affairs One Dell Way Round Rock, TX 78682 USA 512-338-4400 |

Macrovision 製品通知

この製品はコピー防止テクノロジーを組み込んでおり、特許番号 5,315,448 と 6,836,549 および他の知的所有権を含む、米国および外国特許により保護されています。製品の Macrovision のコピー防止テクノロジーの使用は、Macrovision により許可を得る必要があります。リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

用語集

この用語集に収録されている用語は、情報の目的として提供されています。お使いのコンピュータに搭載されている機能についての記載がない場合もあります。

A

AC — alternating current (交流) — コンピュータの AC アダプタ電源ケーブルをコンセントに差し込むと流れる電気の方式のことです。

ACPI — advanced configuration and power interface — Microsoft® Windows® オペレーティングシステムがコンピュータをスタンバイモードや休止状態モードにして、コンピュータに接続されている各デバイスに供給される電力量を節約できる電源管理規格です。

AGP — accelerated graphics port — システムメモリをビデオ関連の処理に使用できるようにする専用のグラフィックスポートです。AGP を使うとビデオ回路とコンピュータメモリ間のインタフェースが高速化され、True-Color のスムーズなビデオイメージを伝送できます。

AHCI — Advanced Host Controller Interface — SATA ハードディスクドライブ対応のホストコントローラです。AHCI を使用することにより、ストレージドライバでネイティブコマンドキューイング (NCQ) やホットプラグなどのテクノロジーが使用可能になります。

ALS — 環境照明センサー — ディスプレイの輝度を調整する機能です。

ASF — alert standards format — ハードウェアおよびソフトウェアの警告を管理コンソールに報告する方式を定義する標準です。ASF は、どのプラットフォームやオペレーティングシステムにも対応できるように設計されています。

B

BIOS — basic input/output system (基本入出力システム) — コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェース機能を持つプログラム (またはユーティリティ) です。設定がコンピュータにどのような影響を与えるのか理解できていない場合は、このプログラムの設定を変更しないでください。セッアップユーティリティとも呼ばれています。

Blu-ray Disc™ (BD) — 50 GB の記憶容量、1080 ピクセルのフルビデオ解像度 (HDTV 仕様)、また ネイティブの 7.1 チャネルや非圧縮サラウンドサウンドにも対応するオプティカルストレージテクノロジーです。

Bluetooth® ワイヤレステクノロジー — 短距離 (9 メートル) 内にある複数のネットワークデバイスが、お互いを自動的に認識できるようにするワイヤレステクノロジー標準です。

bps — ビット / 秒 — データの転送速度を計測する標準単位です。

BTU — British thermal unit (英国熱量単位) — 熱量の単位です。

C

C — セルシウス (摂氏) — 温度の単位で、水の氷点を 0 度、沸点を 100 度としています。

CD-R — CD recordable — 書き込み可能な CD です。CD-R にはデータを一度だけ記録できます。一度記録したデータは消去したり、上書きしたりすることはできません。

CD-RW — CD rewritable — 書き換え可能な CD です。データを CD-RW ディスクに書き込んだ後、削除したり上書きしたりできます (再書き込み)。

CD-RW ドライブ — CD のデータを読み取ったり、CD-RW (書き換え可能な CD) ディスクや CD-R (書き込み可能な CD) ディスクにデータを書き込むことができるドライブです。CD-RW ディスクには、繰り返し書き込むことが可能ですが、CD-R ディスクには一度しか書き込むことができません。

CD-RW/DVD ドライブ — コンボドライブとも呼ばれます。CD および DVD のデータを読み取ったり、CD-RW (書き換え可能な CD) ディスクや CD-R (書き込み可能な CD) ディスクにデータを書き込んだりすることができるドライブです。CD-RW ディスクには、繰り返し書き込むことが可能ですが、CD-R ディスクには一度しか書き込むことができません。

CMOS — 電子回路の一種です。コンピュータでは、日付や時刻、セットアップオプションを保持するために、少量のバッテリー電源を使用する CMOS メモリを使用します。

COA — Certificate of Authenticity (実物証明書) — Windows の英数文字のコードで、コンピュータのラベルに印刷されています。**Product Key** (プロダクトキー) や **Product ID** (プロダクト ID) とも呼ばれます。

Consumer IR ポート — コンピュータ前面にあるポートで、システムによっては、特定のソフトウェアアプリケーションを Dell Travel Remote でコントロールできます。他のシステムでは、このポートを使用して、ケーブルを接続しなくてもコンピュータと赤外線対応デバイス間でのデータ転送が可能です。

CRIMM — continuity rambus in-line memory module (連続式 RIMM) — メモリチップの搭載されていない特殊なモジュールで、使用されていない RIMM スロットに装着するために使用されます。

D

DDR SDRAM — double-data-rate SDRAM (ダブルデータ速度 SDRAM) — データのバーストサイクルを二倍にする SDRAM の一種です。シ

ステム性能が向上します。

DDR2 SDRAM — double-data-rate 2 SDRAM (ダブルデータ速度 2 SDRAM) — 4 ビットのプリフェッチおよびその他のアーキテクチャの変更を使用して、メモリスピードを 400 MHz 以上に向上させる、DDR SDRAM の一種です。

Dell Travel Remote — マルチメディアの内容を楽しむための単純機能を提供するノートブックコンピュータの ExpressCard スロットに格納された小さなリモートコントロールです。

DIMM — dual in-line memory module (デュアルインラインメモリモジュール) — システム基板上のメモリモジュールに接続する、メモリチップ搭載の回路基板です。

DIN コネクタ — 丸い、6 ピンのコネクタで、DIN (ドイツ工業規格) に準拠しています。通常は、PS/2 キーボードまたはマウスケーブルのコネクタに使用されます。

DMA — direct memory access — DMA チャンネルを使うと、ある種の RAM とデバイス間でのデータ転送がプロセッサを介さずに行えるようになります。

DMTF — Distributed Management Task Force — 分散型デスクトップ、ネットワーク、企業、およびインターネット環境における管理基準を開発するハードウェアおよびソフトウェア会社の団体です。

DRAM — dynamic random-access memory — コンデンサを含む集積回路内に情報を保存するメモリです。

DSL — Digital Subscriber Line (デジタル加入者回線) — アナログ電話回線を介して、安定した高速インターネット接続を提供するテクノロジーです。

DVD-R — DVD recordable — 記録可能な DVD です。DVD-R にはデータを一度だけ記録できます。一度記録したデータは消去したり、上書きしたりすることはできません。

DVD+RW — DVD rewritable — 書き換え可能な DVD です。データを DVD+RW ディスクに書き込んだ後、削除したり上書きしたりできます (再書き込み)。(DVD+RW テクノロジーは DVD-RW テクノロジーとは異なります。)

DVD+RW ドライブ — DVD やほとんどの CD メディアを読み込んだり、DVD+RW (書き換え可能 DVD) に書き込んだりすることができるドライブです。

DVI — digital video interface (デジタルビデオインタフェース) — コンピュータとデジタルビデオディスプレイ間のデジタル送信の標準です。

E

ECC — error checking and correction (エラーチェックおよび訂正) — メモリにデータを書き込んだり、メモリからデータを読み取る際に、データの正

確さを検査する特別な回路を搭載しているメモリです。

ECP — extended capabilities port — 改良された双方向のデータ転送を提供するパラレルコネクタの拡張仕様の 1 つです。EPP に似て、ECP はデータ転送にダイレクトメモリアクセスを使用して性能を向上させます。

EIDE — enhanced integrated device electronics — ハードディスクドライブと CD ドライブ用の IDE インタフェースの改良バージョンです。

EMI — electromagnetic interference (電磁波障害) — 電磁放射線によって引き起こされる電気障害です。

ENERGY STAR[®] — Environmental Protection Agency (米国環境保護局) が規定する、全体的な電力の消費量を減らす要件です。

EPP — enhanced parallel port — 双方向のデータ転送を提供するパラレルコネクタのデザインです。

ESD — electrostatic discharge (静電気放出) — 静電気の急速な放電のことです。ESD は、コンピュータや通信機器に使われている集積回路を損傷することがあります。

ExpressCard — PCMCIA 規格に準拠している取り外し可能な I/O カードです。ExpressCard の一般的なものに、モデムやネットワークアダプタがあります。ExpressCard は、PCI Express と USB 2.0 の両規格をサポートします。

F

FBD — fully-buffered DIMM — DDR2 DRAM チップ、および DDR2 SDRAM チップとシステム間の通信を高速化するアドバンスドメモリバッファ (AMB) を搭載した DIMM です。

FCC — Federal Communications Commission (米国連邦通信委員会) — コンピュータやその他の電子機器が放出する放射線の量を規制する通信関連の条例を執行するアメリカの機関です。

FSB — front side bus — マイクロプロセッサと RAM 間のデータ経路と物理的なインタフェースです。

FTP — file transfer protocol (ファイル転送プロトコル) — インターネットに接続されたコンピュータ間で、ファイルを交換するための標準インターネットプロトコルです。

G

G — グラビティ — 重力の計測単位です。

GB — ギガバイト — データの単位です。1 GB は 1024 MB (1,073,741,824 バイト) です。ハードディスクドライブの記憶領域容量を示す場合に、

1,000,000,000 バイトに切り捨てられることもあります。

GHz — ギガヘルツ — 周波数の計測単位です。1 GHz は 10 億 Hz または 1,000 MHz です。通常、コンピュータのプロセッサ、バス、インタフェースの処理速度は GHz 単位で計測されます。

GUI — graphical user interface — メニュー、ウィンドウ、およびアイコンでユーザーと相互にやり取りするソフトウェアです。Windows オペレーティングシステムで動作するほとんどのプログラムは GUI です。

H

HTTP — hypertext transfer protocol — インターネットに接続されたコンピュータ間でファイルを交換するためのプロトコルです。

Hz — ヘルツ — 周波数の単位です。1 秒間 1 サイクルで周波数 1 Hz です。コンピュータや電子機器では、キロヘルツ (kHz)、メガヘルツ (MHz)、ギガヘルツ (GHz)、またはテラヘルツ (THz) 単位で計測される場合もあります。

I

iAMT — Intel[®] Active Management Technology — コンピュータの電源がオンオフに関わらず、またはオペレーティングシステムの反応があるなしに関わらず、よりセキュアなシステム管理機能を提供します。

IC — integrated circuit (集積回路) — コンピュータ、オーディオ、およびビデオ装置用に製造された、何百万もの小電子コンポーネントが搭載されている半導体基板、またはチップです。

IDE — integrated device electronics — ハードディスクドライブまたは CD ドライブにコントローラが内蔵されている大容量ストレージデバイス用のインタフェースです。

IEEE 1394 — Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. — コンピュータにデジタルカメラや DVD プレーヤーなどの、IEEE 1394 互換デバイスを接続するのに使用される高性能シリアルバスです。

I/O — input/output (入出力) — コンピュータにデータを入力したり、コンピュータからデータを出力する動作、またはデバイスです。キーボードやプリンタは I/O デバイスです。

I/O アドレス — 特定のデバイス (シリアルコネクタ、パラレルコネクタ、または拡張スロットなど) に関連する RAM のアドレスで、プロセッサがデバイスと通信できるようにします。

IrDA — Infrared Data Association — 赤外線通信の国際規格を標準化する団体です。

IRQ — interrupt request (割り込み要求) — デバイスがプロセッサと通信

できるように、特定のデバイスに割り当てられた電子的経路です。すべてのデバイス接続に IRQ を割り当てる必要があります。2 つのデバイスに同じ IRQ を割り当てることはできますが、両方のデバイスを同時に動作させることはできません。

ISP — Internet service provider (インターネットサービスプロバイダ) — ホストサーバーへのアクセスを可能にし、インターネットへの直接接続、E-メールの送受信、およびウェブサイトへのアクセスなどのサービスを提供する会社です。通常、ISP はソフトウェアのパッケージ、ユーザー名、およびアクセス用の電話番号を有料 (月払い) で提供します。

K

Kb — キロビット — データの単位です。1 Kb は、1,024 ビットです。メモリ集積回路の容量の単位です。

KB — キロバイト — データの単位です。1 KB は 1,024 バイトです。または、1,000 バイトとすることもあります。

KHz — キロヘルツ — 1,000 Hz に相当する周波数の単位です。

L

LAN — local area network (ローカルエリアネットワーク) — 狭い範囲にわたるコンピュータネットワークです。LAN は通常、1 棟の建物内や隣接する 2、3 棟の建物内に限定されます。LAN は電話回線や電波を使って他の離れた LAN と接続し、WAN (ワイドエリアネットワーク) を構成できます。

LCD — liquid crystal display (液晶ディスプレイ) — ノートブックコンピュータのディスプレイやフラットパネルディスプレイに用いられる技術です。

LED — light-emitting diode (発光ダイオード) — コンピュータの状態を示す光を発する電子部品です。

LPT — line print terminal — プリンタや他のパラレルデバイスへのパラレル接続のためのポートです。

M

Mb — メガビット — メモリチップ容量の単位です。1 Mb は 1,024 Kb です。

Mbps — メガビット / 秒 — 1,000,000 ビット / 秒です。通常、ネットワークやモデムなどのデータ転送速度の計測単位に使用します。

MB — メガバイト — 1,048,576 バイトに相当するデータストレージの単位です。または 1,024 KB を表します。ハードディスクドライブの記憶領域容量を示す場合に、1,000,000 バイトに切り捨てられて表示されることもあります。

MB/sec — メガバイト / 秒 — 1,000,000 バイト / 秒です。通常、データの転送速度の計測単位に使用します。

MHz — メガヘルツ — 周波数の単位です。1 秒間に 1,000,000 サイクルで 1 MHz です。通常、コンピュータのマイクロプロセッサ、バス、インタフェースの処理速度は MHz 単位で計測されます。

MP — メガピクセル — デジタルカメラで使用される画像の解像度の単位です。

ms — ミリ秒 — 1,000 分の 1 秒に相当する時間の単位です。ストレージデバイスなどのアクセス速度の計測に使用します。

N

NIC — ネットワークアダプタを参照してください。

ns — ナノ秒 — 10 億分の 1 秒に相当する時間の単位です。

NVRAM — nonvolatile random access memory (不揮発性ランダムアクセスメモリ) — コンピュータの電源が切られたり、外部電源が停止した場合にデータを保存するメモリの一種です。NVRAM は、現在の日付、時刻、およびお客様が設定できるその他のセットアップオプションなどのコンピュータ設定情報を維持するのに利用されます。

P

PC カード — PCMCIA 規格に準拠している取り外し可能な I/O カードです。PC カードの一般的なものに、モデムやネットワークアダプタがあります。

PCI — peripheral component interconnect — PCI は、32 ビットおよび 64 ビットのデータ経路をサポートするローカルバスで、プロセッサとビデオ、各種ドライブ、ネットワークなどのデバイス間に高速データ経路を提供します。

PCI Express — プロセッサとそれに取り付けられたデバイスとのデータ転送速度を向上させる、PCI インタフェースの修正版です。PCI Express は、250 MB/秒 ~ 4 GB/秒の速度でデータを転送できます。PCI Express チップセットおよびデバイスが異なる速度で使用できる場合は、動作速度が遅くなります。

PCMCIA — Personal Computer Memory Card International Association — PC カードの規格を協議する国際的組織です。

PIO — programmed input/output — データバスの一部としてプロセッサを経由した、2 つのデバイス間のデータ転送方法です。

POST — power-on self-test (電源投入時の自己診断) — BIOS が自動的にロードする診断プログラムです。メモリ、ハードディスクドライブ、およびビデオなどのコンピュータの主要コンポーネントに基本的なテストを実行します。

POST で問題が検出されなかった場合、コンピュータは起動を続行します。

PS/2 — personal system/2 — PS/2 互換のキーボード、マウス、またはキーパッドを接続するコネクタの一種です。

PXE — pre-boot execution environment — WfM (Wired for Management) 標準で、オペレーティングシステムのないネットワークコンピュータを設定して、リモートで起動できるようにします。

R

RAID — redundant array of independent disks — データの冗長性を提供する方法です。一般的に実装される RAID には RAID 0、RAID 1、RAID 5、RAID 10、および RAID 50 があります。

RAM — random-access memory (ランダムアクセスメモリ) — プログラムの命令やデータを保存するコンピュータの主要な一時記憶領域です。RAM に保存されている情報は、コンピュータをシャットダウンすると失われます。

readme ファイル — ソフトウェアのパッケージまたはハードウェア製品に添付されているテキストファイルです。通常、readme ファイルには、インストール手順、新しく付け加えられた機能の説明、マニュアルに記載されていない修正などが記載されています。

RFI — radio frequency interference (無線電波障害) — 10 kHz から 100,000 MHz までの範囲の通常の無線周波数で発生する障害です。無線周波は電磁周波数帯域の低域に属し、赤外線や光などの高周波よりも障害を起こしやすい傾向があります。

ROM — read-only memory (読み取り専用メモリ) — コンピュータが削除したり書き込みできないデータやプログラムを保存するメモリです。RAM と異なり、ROM はコンピュータの電源が切れても内容を保持します。コンピュータの動作に不可欠のプログラムで ROM に常駐しているものがいくつかあります。

RPM — revolutions per minute — 1 分間に発生する回転数です。ハードディスクドライブ速度の計測に使用します。

RTC — real time clock (リアルタイムクロック) — システム基板上にあるバッテリーで動く時計で、コンピュータの電源を切った後も、日付と時刻を保持します。

RTCST — real-time clock reset (リアルタイムクロックリセット) — いくつかのコンピュータに搭載されているシステム基板上のジャンパで、問題が発生した場合のトラブルシューティングに利用できます。

S

SAS — serial attached SCSI — 原型の SCSI パラレルアーキテクチャとは対照的に、より高速のシリアルバージョンの SCSI インタフェースです。

SATA — serial ATA (シリアル ATA) — より高速のシリアルバージョンの ATA (IDE) インタフェースです。

SCSI — small computer system interface — ハードディスクドライブ、CD ドライブ、プリンタ、スキャナなどのデバイスをコンピュータに接続するための高速インタフェースです。SCSI では、単一のコントローラを使って多数のデバイスを接続できます。SCSI コントローラバスでは、個々の識別番号を使って各デバイスにアクセスします。

SDRAM — synchronous dynamic random-access memory (同期ダイナミックランダムアクセスメモリ) — DRAM のタイプで、プロセッサの最適クロック速度と同期化されています。

SIM — サブスライバ識別モジュール — SIM カードには、音声通信およびデータ通信を暗号化するマイクロチップが内蔵されています。SIM カードは電話やノートブックコンピュータに使用できます。

S/PDIF — Sony/Philips Digital Interface — ファイルの質が低下する可能性があるアナログ形式に変換せずに、1 つのファイルから別のファイルにオーディオを転送できるオーディオ転送用ファイルフォーマットです。

Strike Zone™ — (コンピュータの電源がオンまたはオフに関わらず) コンピュータが共振ショックを受けた場合、または落下した場合に制動装置として機能し、ハードディスクドライブを保護するプラットフォームベースの強化領域です。

SVGA — super-video graphics array — ビデオカードとコントローラ用のビデオ標準です。SVGA の通常の解像度は 800 X 600 および 1024 X 768 です。

プログラムが表示する色数と解像度は、コンピュータに取り付けられているモニター、ビデオコントローラとドライバ、およびビデオメモリの容量によって異なります。

S ビデオ TV 出力 — テレビまたはデジタルオーディオデバイスをコンピュータに接続するために使われるコネクタです。

SXGA — super-extended graphics array — 1280 × 1024 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

SXGA+ — super-extended graphics array plus — 1400 × 1050 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

T

TAPI — telephony application programming interface — 音声、データ、ファックス、ビデオなどの各種テレフォニーデバイスが Windows のプログラムで使用できるようになります。

TPM — trusted platform module — ハードウェアベースのセキュリティ機能です。セキュリティソフトウェアと併用して、ファイル保護や E-メール保護などの機能を有効にすることにより、ネットワークおよびコンピュータのセキュリティを強化します。

U

UAC — user account control (ユーザーアカウントコントロール) — Microsoft Windows Vista[®] のセキュリティ機能です。有効に設定すると、ユーザーアカウントとオペレーティングシステム設定へのアクセス間のセキュリティに追加レイヤが提供されます。

UMA — unified memory allocation (統合メモリ振り分け) — ビデオに動的に振り分けられるシステムメモリです。

UPS — uninterruptible power supply (無停電電源装置) — 電気的な障害が起きた場合や、電圧レベルが低下した場合に使用されるバックアップ電源です。UPS を設置すると、電源が切れた場合でも限られた時間コンピュータは動作することができます。通常、UPS システムは、過電流を抑え電圧を調整します。小型の UPS システムで数分間電力を供給するので、コンピュータをシャットダウンすることが可能です。

USB — universal serial bus (ユニバーサルシリアルバス) — USB 互換キーボード、マウス、ジョイスティック、スキャナ、スピーカ、プリンタ、ブロードバンドデバイス (DSL およびケーブルモデム)、撮像装置、またはストレージデバイスなどの低速デバイス用ハードウェアインタフェースです。コンピュータの 4 ピンソケットがコンピュータに接続されたマルチポートハブに直接デバイスを接続します。USB デバイスは、コンピュータの電源が入っていても接続したり取り外したりすることができます。また、デイジーチェーン型に接続することもできます。

UTP — unshielded twisted pair (シールドなしツイストペア) — ほとんどの電話回線利用のネットワークやその他の一部のネットワークで利用されているケーブルの種類です。電磁波障害から保護するためにワイヤのペアに金属製の被覆をほどこす代わりに、シールドなしのワイヤのペアがねじられています。

UXGA — ultra extended graphics array — 1600 × 1200 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

V

V — ボルト — 電位または起電力の計測単位です。1 ボルトは、1 アンペアの電流を通ずる抵抗 1 オームの導線の両端の電位の差です。

W

W — ワット — 電力の計測単位です。1 ワットは 1 ボルトで流れる 1 アンペアの電流を指します。

Whr — ワット時 — バッテリーのおおよその充電容量を表すのに通常使われる単位です。たとえば、**66 Whr** のバッテリーは **66 W** の電力を 1 時間、**33 W** を 2 時間供給できます。

WWAN — Wireless Wide Area Network (ワイヤレスワイドエリアネットワーク) の略です。セルラーテクノロジーを使用した、ワイヤレスの高速データネットワークで、ワイヤレス LAN よりもはるかに広い地域に対応します。

WXGA — wide-aspect extended graphics array (ワイドアスペクト拡張グラフィックスアレイ) — **1280 × 800** までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

X

XGA — extended graphics array — **1024 × 768** までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

Z

ZIF — zero insertion force — コンピュータチップまたはソケットのどちらにもまったく力を加えないで、チップを取り付けまたは取り外しできるソケットやコネクタの一種です。

Zip — 一般的なデータの圧縮フォーマットです。**Zip** フォーマットで圧縮されているファイルを **Zip** ファイルといい、通常、ファイル名の拡張子は **.zip** です。特別な **Zip** ファイルに自己解凍型ファイルがあり、ファイル名の拡張子は **.exe** です。自己解凍型ファイルは、ファイルをダブルクリックするだけで自動的に解凍できます。

Zip ドライブ — Iomega Corporation によって開発された大容量のフロッピードライブで、**Zip** ディスクと呼ばれる 3.5 インチのリムーバブルディスクを使用します。**Zip** ディスクは標準のフロッピーディスクよりもやや大きく約 2 倍の厚みがあり、**100 MB** のデータを保持できます。

あ

アンチウイルスソフトウェア — お使いのコンピュータからウイルスを見つけ出して隔離し、検疫して、除去するように設計されたプログラムです。

ウイルス — 嫌がらせ、またはコンピュータのデータを破壊する目的で作られたプログラムです。ウイルスプログラムは、ウイルス感染したディスク、インターネットからダウンロードしたソフトウェア、または E-メールの添付ファイルを経由してコンピュータから別のコンピュータへ感染します。ウイルス感染したプログラムを起動すると、プログラムに潜伏したウイルスも起動します。

一般的なウイルスに、フロッピーディスクのブートセクターに潜伏するブートウイルスがあります。フロッピーディスクを挿入したままコンピュータをシャットダウンすると、次の起動時に、コンピュータはオペレーティングシステムを探すためフロッピーディスクのブートセクターにアクセスします。このアクセスでコンピュータがウイルスに感染します。一度コンピュータがウイルスに感染すると、ブートウイルスは除去されるまで、読み書きされるすべてのフロッピーディスクにウイルスをコピーします。

エクスプレスサービスコード — Dell™ コンピュータのラベルに付いている数字のコードです。デルにお問い合わせの際は、エクスプレスサービスコードをお伝えください。

オンボード — 通常、コンピュータのシステム基板上に物理的に搭載されているコンポーネントを指します。ビルトインとも呼ばれます。

か

カーソル — キーボード、タッチパッド、またはマウスが次にどこで動作するかを示すディスプレイや画面上の目印です。通常は点滅する棒線かアンダーライン、または小さな矢印で表示されます。

解像度 — プリンタで印刷される画像や、またはモニターに表示される画像がどのくらい鮮明かという具合です。解像度を高い数値に設定しているほど鮮明です。

書き込み保護 — ファイルやメディアのデータ内容を変更不可に設定することです。書き込み保護を設定しデータを変更または破壊されることのないように保護します。3.5 インチのフロッピーディスクに書き込み保護を設定する場合、書き込み保護設定タブをスライドさせて書き込み不可の位置にします。

拡張カード — コンピュータのシステム基板上の拡張スロットに装着する電子回路基板で、コンピュータの性能を向上させます。ビデオカード、モデムカード、サウンドカードなどがあります。

拡張型 PC カード — 拡張型 PC カードは、取り付け際に PC カードスロットからカードの端が突き出しています。

拡張スロット — 拡張カードを挿入してシステムバスに接続する、システム基板上のコネクタです（コンピュータによって異なる場合もあります）。

拡張ディスプレイモード — お使いのディスプレイの拡張として、2 台目のモニターを使えるようにするディスプレイの設定です。デュアルディスプレイモードとも呼ばれます。

壁紙 — Windows デスクトップの背景となる模様や絵柄です。壁紙を変更するには Windows コントロールパネルから変更します。また、気に入った絵柄を読み込んで壁紙を作成することができます。

キーの組み合わせ — 複数のキーを同時に押して実行するコマンドです。

起動順序 — コンピュータが起動を試みるデバイスの順序を指定します。

起動メディア — CD、DVD、またはフロッピーディスクなど、コンピュータを起動するのに使用するディスクです。ハードディスクドライブが損傷した場合や、コンピュータがウィルスに感染した場合など、起動 CD、DVD、またはフロッピーディスクが必要になりますので、常備しておきます。『Drivers and Utilities』メディアは、起動メディアの一つです。

キャッシュ — 特殊な高速ストレージ機構で、メインメモリの予約領域、または独立した高速ストレージデバイスです。キャッシュは、プロセッサのオペレーションスピードを向上させます。

L1 キャッシュ — プロセッサの内部に設置されているプライマリキャッシュ。

L2 キャッシュ — プロセッサに外付けされた、またはプロセッサアーキテクチャに組み込まれたセカンダリキャッシュ。

休止状態モード — メモリ内のすべてをハードディスクドライブ上の予約領域に保存してからコンピュータの電源を切る、省電力モードです。コンピュータを再起動すると、ハードディスクドライブに保存されているメモリ情報が自動的に復元されます。

クロックスピード — システムバスに接続されているコンピュータコンポーネントがどのくらいの速さで動作するかを示す、MHz で示される速度です。

グラフィックスモード — x 水平ピクセル数 \times y 垂直ピクセル数 \times z 色数で表されるビデオモードです。グラフィックスモードは、どんな形やフォントも表現できます。

光学ドライブ — CD、DVD、または DVD+RW から、光学技術を使用してデータを読み書きするドライブです。光学ドライブには、CD ドライブ、DVD ドライブ、CD-RW ドライブ、および CD-RW/DVD コンボドライブが含まれます。

コントローラ — プロセッサとメモリ間、またはプロセッサとデバイス間のデータ転送を制御するチップです。

コントロールパネル — 画面設定などのオペレーティングシステムやハード

ウェアの設定を変更するための Windows コーティリティです。

さ

サージプロテクタ — コンセントを介してコンピュータに影響を与える電圧変動（雷などの原因で）から、コンピュータを保護します。サージプロテクタは、落雷や通常の AC ライン電圧レベルが 20 % 以上低下する電圧変動による停電からはコンピュータを保護することはできません。

ネットワーク接続はサージプロテクタでは保護できません。雷雨時は、必ずネットワークケーブルをネットワークコネクタから外してください。

サービスタグ — コンピュータに貼ってあるバーコードラベルのことで、デルサポートの **support.jp.dell.com** にアクセスしたり、デルのカスタマーサービスやテクニカルサポートに電話で問い合わせたりする場合に必要な識別番号が書いてあります。

システム基板 — コンピュータのメイン回路基板です。マザーボードとも呼ばれます。

指紋リーダー — 固有の指紋を使ってユーザーの身元証明を行う読み取りセンサーで、コンピュータのセキュリティ保護をサポートします。

ショートカット — 頻繁に使用するプログラム、ファイル、フォルダ、およびドライブにすばやくアクセスできるようにするアイコンです。ショートカットを Windows デスクトップ上に作成し、ショートカットアイコンをダブルクリックすると、それに対応するフォルダやファイルを検索せずに開くことができます。ショートカットアイコンは、ファイルが置かれている場所を変更するわけではありません。ショートカットアイコンを削除しても、元のファイルには何の影響もありません。また、ショートカットのアイコン名を変更することもできます。

シリアルコネクタ — I/O ポートは、コンピュータにハンドヘルドデジタルデバイスやデジタルカメラなどのデバイスを接続するためによく使用されます。

スキャンディスク — Microsoft のユーティリティで、ファイル、フォルダ、ハードディスクの表面のエラーをチェックします。コンピュータの反応が止まって、コンピュータを再起動した際にスキャンディスクが実行されることがあります。

スタンバイモード — コンピュータの不必要な動作をシャットダウンして節電する、省電力モードです。

スマートカード — プロセッサとメモリチップに内蔵されているカードです。スマートカードは、スマートカード搭載のコンピュータでのユーザー認証に利用できます。

赤外線センサー — ケーブルを利用しなくても、コンピュータと赤外線互換デ

バイス間のデータ転送ができるポートです。

セットアッププログラム — ハードウェアやソフトウェアをインストールしたり設定するために使うプログラムです。 **setup.exe** または **install.exe** というプログラムが Windows 用ソフトウェアに付属しています。 セットアッププログラム は セットアップユーティリティ とは異なります。

セットアップユーティリティ — コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェース機能を持つユーティリティです。セットアップユーティリティは BIOS で日時やシステムパスワードなどのようなユーザーが選択可能なオプションの設定ができます。設定がコンピュータにどのような影響を与えるのか理解できていない場合は、このプログラムの設定を変更しないでください。

た

タスクトレイ — コンピュータの時計、音量調節、およびプリンタの状況など、プログラムやコンピュータの機能に素早くアクセスできるアイコンが表示されている Windows タスクバーの領域です。 システムトレイ とも呼ばれます。

通行許可証 — 物品を外国へ一時的に持ち込む場合、一時輸入通関ができる通関手帳です。 商品パスポート とも呼ばれます。

テキストエディタ — たとえば Windows のメモ帳など、テキストファイルを作成および編集するためのアプリケーションプログラムです。テキストエディタには通常、ワードラップやフォーマット（アンダーラインのオプションやフォントの変換など）の機能はありません。

ディスクストライピング — 複数のディスクドライブにまたがってデータを分散させる技術です。ディスクのストライピングは、ディスクストレージからデータを取り出す動作を高速化します。通常、ディスクのストライピングを利用しているコンピュータではユーザーがデータユニットサイズまたはストライプ幅を選ぶことができます。

デバイスドライバ — ドライバ を参照してください。

デュアルコア — 1 つのプロセッサパッケージに 2 つの物理計算ユニットを累積し、それによって計算効率とマルチタスク機能を向上させたテクノロジーです。

デュアルディスプレイモード — お使いのディスプレイの拡張として、2 台目のモニターを使えるようにするディスプレイの設定です。 デュアルモニタ とも呼ばれます。

トラベルモジュール — ノートブックコンピュータの重量を減らすために、モジュールベイの中に設置できるよう設計されているプラスチック製のデバイスです。

ドッキングデバイス — お使いのノートブックをデスクトップの作業環境に合

寄せたポートの複製、ケーブル管理、またはセキュリティ機能を提供します。

ドメイン — ネットワーク上のコンピュータ、プログラム、およびデバイスのグループで、特定のユーザーグループによって使用される共通のルールと手順のある単位として管理されます。ユーザーは、ドメインにログオンしてリソースへのアクセスを取得します。

ドライバ — プリンタなどのデバイスが、オペレーティングシステムに制御されるようにするためのソフトウェアです。多くのデバイスは、コンピュータに正しいドライバがインストールされていない場合、正常に動作しません。

な

ネットワークアダプタ — ネットワーク機能を提供するチップです。コンピュータのシステム基板にネットワークアダプタが内蔵されていたり、アダプタが内蔵されている PC カードもあります。ネットワークアダプタは、**NIC** (ネットワークインタフェースコントローラ) とも呼ばれます。

は

ハードディスクドライブ — ハードディスクのデータを読み書きするドライブです。ハードディスクドライブとハードディスクは同じ意味としてどちらかが使われています。

ハイパースレッディング — 1 つの物理プロセッサを 2 つの論理プロセッサとして機能させ、特定のタスクを同時に実行できるようにすることで、コンピュータのパフォーマンス全般を強化する Intel テクノロジーです。

バイト — コンピュータで使われる基本的なデータ単位です。1 バイトは 8 ビットです。

バス — コンピュータのコンポーネント間で情報を通信する経路です。

バス速度 — バスがどのくらいの速さで情報を転送できるかを示す、MHz で示される速度です。

バッテリー駆動時間 — ノートブックコンピュータのバッテリーでコンピュータを駆動できる持続時間 (分または時間) です。

バッテリーの寿命 — ノートブックコンピュータのバッテリーが、消耗と再充電を繰り返すことのできる期間 (年数) です。

パーティション — ハードディスクドライブ上の物理ストレージ領域です。1 つ以上の論理ストレージ領域 (論理ドライブ) に割り当てられます。それぞれのパーティションは複数の論理ドライブを持つことができます。

パラレルコネクタ — I/O ポートは、コンピュータにパラレルプリンタを接続する場合などに使用されます。LPT ポートとも呼ばれます。

ヒートシンク — 放熱を助けるプロセッサに付属する金属板です。

ビット — コンピュータが認識するデータの最小単位です。

ビデオ解像度 — 解像度を参照してください。

ビデオコントローラ — お使いのコンピュータに（モニターの組み合わせにおいて）ビデオ機能を提供する、ビデオカードまたは（オンボードビデオコントローラ搭載のコンピュータの）システム基板の回路です。

ビデオメモリ — ビデオ機能専用のメモリチップで構成されるメモリです。通常、ビデオメモリはシステムメモリよりも高速です。取り付けられているビデオメモリの量は、主にプログラムが表示できる色数に影響を与えます。

ビデオモード — テキストやグラフィックスをモニターに表示する際のモードです。グラフィックスをベースにしたソフトウェア（Windows オペレーティングシステムなど）は、 x 水平ピクセル数 \times y 垂直ピクセル数 \times z 色数で表されるビデオモードで表示されます。文字をベースにしたソフトウェア（テキストエディタなど）は、 x 列 \times y 行の文字数で表されるビデオモードで表示されます。

ピクセル — ディスプレイ画面の構成単位である点です。ピクセルが縦と横に並び、イメージを作ります。ビデオの解像度（800 X 600 など）は、上下左右に並ぶピクセルの数で表します。

ファーレンハイト（華氏） — 温度の単位で、水の氷点を 32 度、沸点を 212 度としています。

フォーマット — ファイルを保存するためにドライブやディスクを準備することです。ドライブまたはディスクをフォーマットするとデータはすべて消失します。

フォルダ — ディスクやドライブ上のファイルを整頓したりグループ化したりする入れ物です。フォルダ中のファイルは、名前や日付やサイズなどの順番で表示できます。

プラグアンドプレイ — デバイスを自動的に設定するコンピュータの機能です。BIOS、オペレーティングシステム、およびすべてのデバイスがプラグアンドプレイ対応の場合、プラグアンドプレイは、自動インストール、設定、既存のハードウェアとの互換性を提供します。

プロセッサ — コンピュータ内部で中心的に演算を行うコンピュータチップです。プロセッサは、CPU（中央演算処理装置）とも呼ばれます。

ま

ミニカード — 通信用 NIC などの内蔵周辺機器用に設計された小型のカードです。ミニカードの機能は、標準の PCI 拡張カードと同等です。

ミニ PCI — モデムや NIC など通信機能を主とする内蔵周辺機器の規格です。

ミニ PCI カードは、標準の PCI 拡張カードと同等の機能を持つ小型の外付けカードです。

メモリ — コンピュータ内部にある、一時的にデータを保存する領域です。メモリにあるデータは一時的に格納されているだけなので、作業中は時々ファイルを保存するようお勧めします。また、コンピュータをシャットダウンするときもファイルを保存してください。コンピュータのメモリには、RAM、ROM、およびビデオメモリなど何種類かあります。通常、メモリというと RAM メモリを指します。

メモリアドレス — データを一時的に RAM に保存する特定の場所です。

メモリマッピング — スタートアップ時に、コンピュータが物理的な場所にメモリアドレスを割り当てる処理です。デバイスとソフトウェアが、プロセッサによりアクセスできる情報を識別できるようになります。

メモリモジュール — システム基板に接続されている、メモリチップを搭載した小型回路基板です。

モジュールベイ — 光学ドライブ、セカンドバッテリー、または Dell TravelLite™ モジュールのようなデバイスをサポートするベイです。ㄨ ディアベイも参照してください。

モデム — アナログ電話回線を介して他のコンピュータと通信するためのデバイスです。モデムには 外付けモデム、PC カード、および内蔵モデムの 3 種類があります。通常、モデムはインターネットへの接続や E-メールの交換に使用されます。

や

読み取り専用 — 表示することはできますが、編集したり削除したりすることができないデータやファイルです。次のような場合にファイルを読み取り専用に設定できます。

- フロッピーディスク、CD、または DVD を書き込み防止に設定している場合
- ファイルがネットワーク上のディレクトリにあり、システム管理者がアクセス権限に特定の個人だけを許可している場合

ら

リフレッシュレート — 画面上のビデオイメージが再描画される周波数です。単位は Hz で、このリフレッシュレートの周波数で画面の水平走査線（垂直周波数とも呼ばれます）が再描画されます。リフレッシュレートが高いほど、ビデオのちらつきが少なく見えます。

ローカルバス — デバイスにプロセッサへ的高速スループットを提供するデータバスです。

わ

ワイヤレス LAN — Wireless Local Area Network（ワイヤレスローカルエリアネットワーク）の略です。インターネットアクセスを可能にするアクセスポイントやワイヤレスルーターを使用し、電波を介して互いに通信する一連の相互接続コンピュータを指します。

索引

番号

3-in-1 メディアメモ리카ード
リーダー, 70

C

CD, 61

CD-RW ドライブの問題, 115
オペレーティングシステム, 15
再生, 59
説明, 61
ドライブの問題, 115

CD のコピー

手順, 61
便利なヒント, 63

CD の再生, 59

CD のコピー

一般情報, 61

D

Dell Diagnostics (診断)
プログラム

Drivers and Utilities メディアか
らの起動, 109
ハードディスクドライブから起動
する場合, 108

Dell Diagnostics (診断)
説明, 107

Dell MediaDirect
問題, 128

Dell Network Assistant, 114

Dell Support Center, 111

DellConnect, 114

Diagnostics (診断) プログラム
Dell, 107

Drivers and Utilities メディア
Dell Diagnostics (診断),
107
説明, 141

DVD, 61

再生, 59
説明, 61
ドライブの問題, 115

DVD のコピー

手順, 61
便利なヒント, 63
一般情報, 61

DVD の再生, 59

E

ExpressCard

WWAN, 67
カードバステクノロジー, 67
スロット, 67
タイプ, 67
ダミーカード, 67, 69
取り付け, 68
取り外し, 69
モバイルブロードバンド, 67
拡張, 67

ExpressCard スロット

説明, 24

I

IEEE 1394 コネクタ

- 説明, 24
- 問題, 125

M

Microsoft Windows ラベル,

13

P

PC リストア, 151

R

RAM ※メモリを参照

U

UPS, 37

USB コネクタ

- 説明, 24
- 解説, 26

W

Windows Vista

- システムの復元, 144, 149
- デバイスドライバのロールバック, 140
- プログラム互換性ウィザード, 127
- 再インストール, 149

Windows XP

- PC リストア, 151
- インターネット接続ファイアウォール, 81
- 再インストール, 15
- スタンバイモード, 54
- デバイスドライバのロールバック, 140
- ファイルと設定の転送ウィザード, 31
- ヘルプとサポートセンター, 14
- 休止状態モード, 55

WWAN ※モバイルブロード

バンドを参照

あ

新しいコンピュータへの情報の転送, 31

安全にお使いいただくための注意, 12

い

インターネット接続

- オプション, 29
- セットアップ, 29
- 説明, 29

インターネット接続ファイア

ウォール, 81

う

- ウィザード
 - ファイルと設定の転送ウィザード, 31
 - プログラム互換性ウィザード, 127

え

- エラーメッセージ, 119
- エンドユーザーライセンス契約, 12

お

- オーディオコネクタ, 24
- オーディオ ※サウンドを参照
- オペレーティングシステム CD, 15
 - Windows Vista の再インストール, 149
 - 再インストール, 15
- 音量調節, 135

か

- カードバステクノロジ ExpressCard, 67
 - メディアメモリカード, 70
- 画面 ※ディスプレイを参照

き

- キーパッド
 - テンキーパッド, 45
 - 数字, 45
- キーボード
 - ショートカット, 46
 - 説明, 20
 - 取り外し, 99
 - 問題, 125
- キーボードステータスライト
 - 説明, 21
- 輝度調節, 39
- 起動順序, 169
- 休止状態モード, 55

く

- クリーニング
 - タッチパッド, 171
- タッチパッド
 - クリーニング, 171

こ

- コイン型電池
 - 交換, 104
- 光学ドライブ
 - 解説, 23
- 光学ドライブトレイ取り出しボタン
 - 説明, 23

コンピュータ
クラッシュ, 127-128
仕様, 161
パフォーマンスの低下, 118, 129
保護, 84
以前の動作状態への復元, 149
応答が停止した, 127

コンピュータの盗難, 85

コンピュータの保護, 83

コンピュータの紛失, 85

コンピュータを携帯するときは
ID タグ, 157
ヒント, 158
梱包, 157
飛行機, 158

さ

サービスタグ, 13

再インストール
Windows Vista, 149

サウンド
音量, 134
問題, 134

作業姿勢に関する情報, 12

サポート
デルへのお問い合わせ, 159

サポートウェブサイト, 13

し

システムの復元, 144, 149
仕様, 161

す

スキャナ
問題, 134

スタンバイモード
情報, 54

スパイウェア, 118, 129

スピーカ
説明, 20
音量, 134
問題, 134

せ

製品情報ガイド, 12

セキュリティアケイブルスロット
説明, 22

接続
モバイルブロードバンドネット
ワーク, 80
ワイヤレス LAN, 75

セットアップユーティリティ
画面, 168
通常使用するオプション, 169

そ

ソフトウェア
問題, 127, 129

ソフトウェアとハードウェアの
非互換性, 143

た

タスクバー

- Dell モバイルブロードバンド
カードユーティリティ, 131
- ハードウェアの安全な取り外し,
124

タッチパッド

- カスタマイズ, 49
- クリーニング, 171
- 説明, 20

ダミーカード

- ExpressCard, 67
- 取り外し, 69, 71

つ

追跡ソフトウェア

- コンピュータの保護, 84

通行許可証, 158

て

ディスクのチェック, 116

ディスプレイ

- 輝度の調節, 39
- 説明, 19
- デュアルディスプレイの操作, 41
- 取り外し, 105
- ビデオイメージの切り替え, 39
- プライマリおよびセカンダリ, 42

ディスプレイラッチ, 19

デバイスステータスライト, 19

デル

- お問い合わせ, 159
- サポートサイト, 13

デルサポート 3, 112

デルへのお問い合わせ, 159

電源

UPS, 37

- サージプロテクタ, 37
- ラインコンディショナ, 37
- スタンバイモード, 54
- 電源使用方法を管理するモード,
52
- 保護装置, 37
- 休止状態モード, 55
- 問題, 131

電源ライト

- 状態, 131

電力の管理

- バッテリー電力の節約, 54

電話番号, 159

と

トラブルシューティング

- コンピュータの以前の動作状態
への復元, 144, 149
- ハードウェアに関するトラブル
シューティング, 143
- ヘルプとサポートセンター, 14

トラブルの解決

- Dell Diagnostics (診断)
プログラム, 107

ドライバ

- 再インストール, 140
- 識別, 139
- 説明, 139

ドライブ

- ※ハードディスクドライブも参照
- ※光学ドライブも参照
- 問題, 115

に

認可機関の情報, 12

ね

ネットワーク

ファイアウォール, 81

モバイルブロードバンド
(WWAN), 130

ワイヤレス LAN ミニカードの
取り付け, 100

問題, 130

ネットワークコネクタ

解説, 26

は

ハードウェア

Dell Diagnostics (診断),
107

ハードウェアに関するトラブル
シューティング, 143

ハードウェアの安全な取り外し
アイコン, 124

ハードディスクドライブ

説明, 24, 28

デルに返品, 92

交換, 90

問題, 116

バッテリー

コイン型電池の交換, 104

充電, 56

充電ゲージ, 27, 53

充電チェック, 52

性能, 51

説明, 27

電源メーター, 52

電力の節約, 54

取り外し, 56

バッテリーベイリリースラッチ, 27

パスワード

説明, 84

忘れてしまった, 84

ひ

ヒンジカバー

取り外し, 98

ビデオ

問題, 137

ビデオコネクタ

解説, 26

ビデオコントローラ

構成の確認, 17

ビデオコントローラ構成

取り付けられているコントローラ
の確認, 17

ふ

ファイアウォール

Windows XP, 81

ファイルと設定の転送ウィザード,
31

ファン

説明, 28

解説, 23
フロッピードライブ
 USB コネクタへの接続, 24, 26
プリンタ
 USB, 35
 ケーブル, 35
 プリンタの接続
 セットアップ, 35
 問題, 133

へ

ヘルプとサポートセンター, 14
ヘルプファイル
 Windows ヘルプとサポートセン
 ター, 14

ま

マニュアル
 安全性, 12
 エンドユーザーライセンス契約
 , 12
 オンライン, 13
 規制, 12
 製品情報ガイド, 12

み

ミニカード
 取り付け, 100

む

無停電電源装置, 37

め

メッセージ
 エラー, 119
メディアメモリカード
 カードバステクノロジー, 70
 スロット, 70
 タイプ, 70
 ダミーカード, 71
 取り付け, 70
 取り外し, 71
メモリ
 取り外し, 94
 取り付け, 93
メモリモジュールカバー, 28

も

モデム
 取り付け, 96
モデムコネクタ
 解説, 26
モニタ
 ビデオイメージの切り替え, 39
モニター ※ディスプレイを参照
モバイルブロードバンド
 ネットワーク接続, 80
 ※ワイヤレススイッチも参照
モバイルブロードバンド
 (WWAN)
 問題, 130
問題
 CD ドライブ, 115
 DVD ドライブ, 115
 CD-RW ドライブ, 115
 Dell Diagnostics (診断)
 プログラム, 107
 Dell MediaDirect, 128

DVD ドライブ, 115
IEEE 1394 コネクタ, 125
エラーメッセージ, 119
オペレーティングシステムの以前の
状態への復元, 144, 149
キーボード, 125
コンピュータが起動しない, 127
コンピュータのクラッシュ,
127-128
ブルースクリーン, 128
コンピュータの以前の動作状態
への復元, 149
コンピュータの応答が停止した,
127
スパイウェア, 118, 129
コンピュータパフォーマンスの
低下, 118, 129
サウンドおよびスピーカ, 134
スキャナ, 134
スパイウェア, 118, 129
スピーカ, 134
ソフトウェア, 127, 129
電源, 131
電源ライトの状態, 131
ドライブ, 115
ネットワーク, 130
ハードディスクドライブ, 116
ソフトウェア, 127
フリーズ, 127
プリンタ, 133
ブルースクリーン, 128
ソフトウェア, 127
プログラムがクラッシュを
繰り返す場合, 127
プログラムと Windows の
互換性, 127
ソフトウェア, 127
プログラムの応答が停止する,
127

ら

ラベル

Microsoft Windows, 13

サービスタグ, 13

わ

ワイヤレス LAN, 73

ミニカードの取り付け, 100